

公共交通アンケート調査分析業務委託
調査結果報告書

令和7年3月

目次

1. 調査の概要	1
2. 市内企業・高校生向けアンケート調査結果	2
3. 市民向けアンケート調査結果	25
4. ふれあいバスの見直しにあたり検討すべき課題及び対策	76
5. ふれあいバスにおける通勤・通学対応の必要性の検証	79
【参考】アンケート調査票	80

1. 調査の概要

1 調査目的

ふれあいバスは、公共施設利用の利便の向上及び高齢者や子どもなどの移動制約者の通院、買い物等の日常生活支援のために運行している。そこで、通勤・通学に対応する必要性についての検討及びふれあいバス全般に対する意見の集約を行い、今後の見直しの基礎資料とすることを目的とし、令和6年度に、ふれあいバスに関するアンケート調査を実施した。

本業務では、調査結果の集計・分析等を行い、ふれあいバスの見直しにあたり検討すべき課題、有効だと考えられる対策、ふれあいバスにおける通勤・通学対応の必要性の有無等を検証した。

2 調査設計

	ふれあいバスに関する調査 (一般市民)	ふれあいバスに関する調査	
		市内企業	市内高校生
調査地域	津島市全域	津島市内の企業	津島市内の公立高校
調査対象	17歳以上の市民	就業者	高校生
対象者数	2,000件	-	-
抽出方法	無作為抽出	無作為抽出	1学年全員
調査方法	郵送配付・郵送回収・WEB回収	WEB回収	WEB回収
調査時期	令和6年11月～12月		

3 回収結果

	ふれあいバスに関する調査 (一般市民)	ふれあいバスに関する調査	
		市内企業	市内高校生
配付数	2,000件	-	-
有効回収数	666件	54件	207件
有効回収率	33.3%	-	-

※有効回収数は、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数。

4 報告書の見方

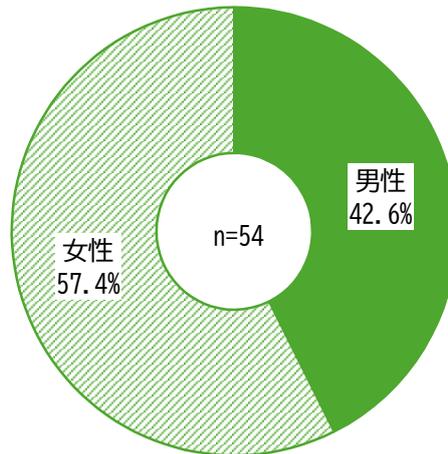
- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのためパーセントの合計が100%にならない場合もある。
- (2) 基数となるべき実数は、件数または調査数として掲載した。比率は、この件数を100%として算出している。
- (3) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合がある。

2. 市内企業・高校生向けアンケート調査結果

1. あなた自身についてお聞きします。

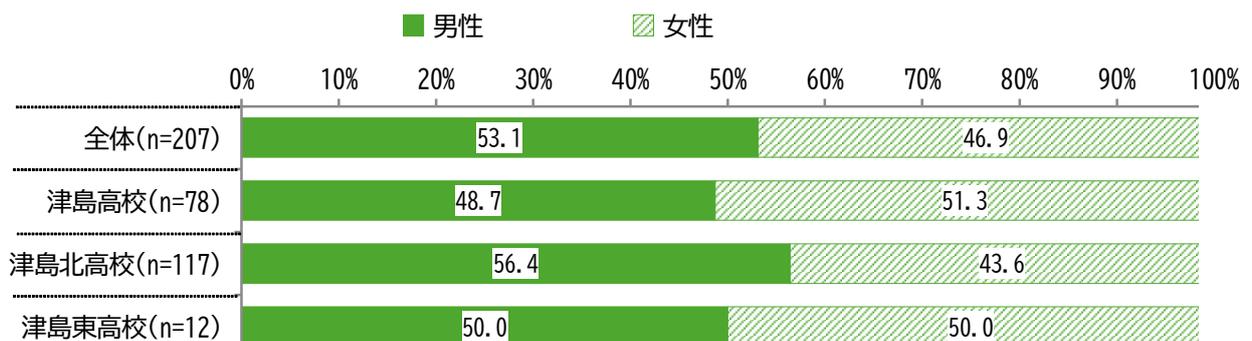
問 | ①性別

図 性別(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「男性」が42.6%、「女性」が57.4%となっている。

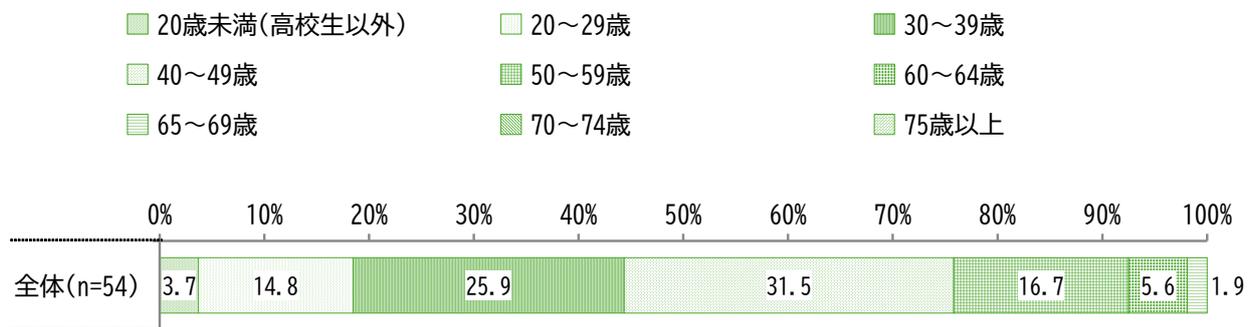
図 性別(高校生)



➤ 高校生全体では、「男性」が53.1%、「女性」が46.9%となっている。

問1 ②年齢

図 年齢(市内企業)

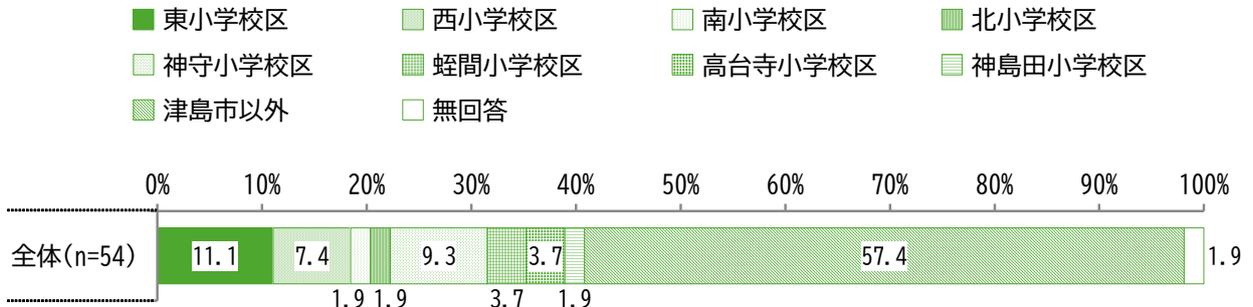


➤ 市内企業全体では、「40~49歳」が31.5%で最も多く、次いで「30~39歳」が25.9%、「50~59歳」が16.7%となっている。

※高校生は「高校生」100%のため表示しない。

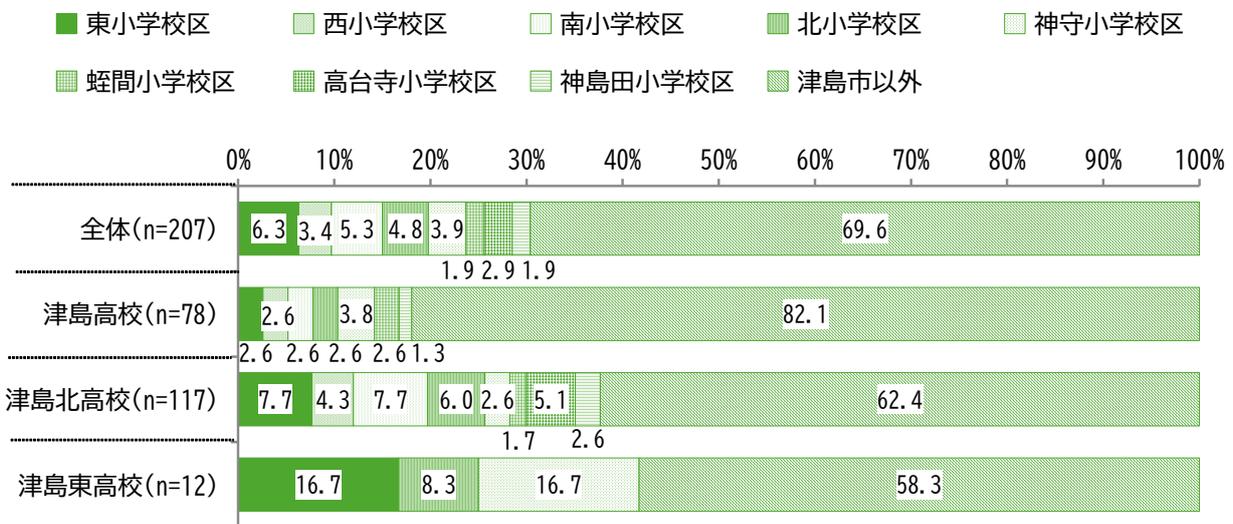
◆市内企業の従業者、市内の高校への通学者の住所は「津島市以外」が半数を超える。

図 小学校区(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「津島市以外」が 57.4%で最も多く、次いで「東小学校区」が 11.1%、「神守小学校区」が 9.3%となっている。

図 小学校区(高校生)



➤ 高校生全体では、「津島市以外」が 69.6%で最も多く、次いで「東小学校区」が 6.3%、「南小学校区」が 5.3%となっている。

2. あなたの通勤・通学状況等についてお聞きします。

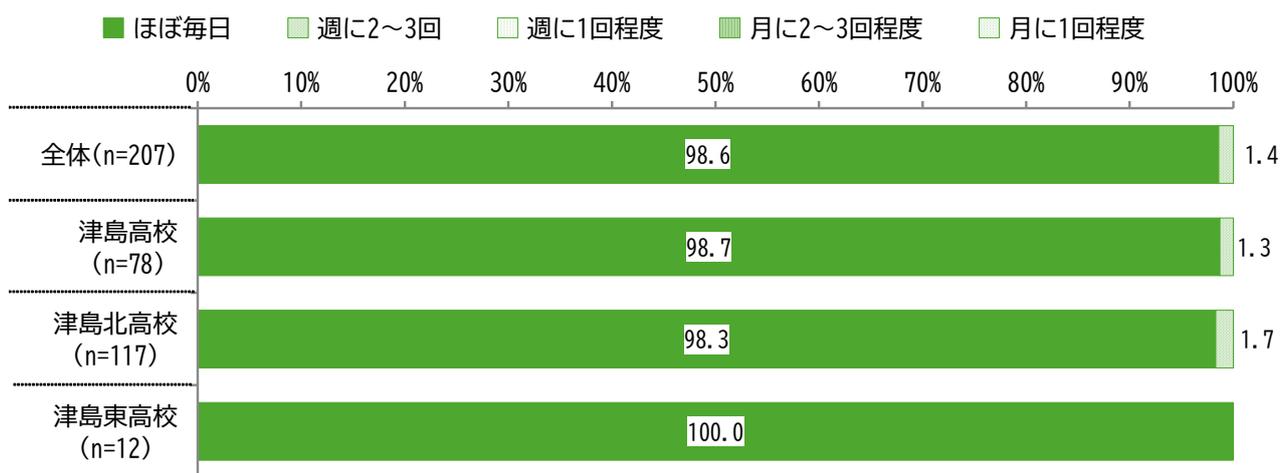
問 2-1 「通勤・通学」で外出する頻度を教えてください。(1つ選択)

図 「通勤・通学」での外出頻度(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「ほぼ毎日」が 92.6%で最も多く、次いで「週に 2~3 回」が 5.6%、「月に 2~3 回程度」が 1.9%となっている。

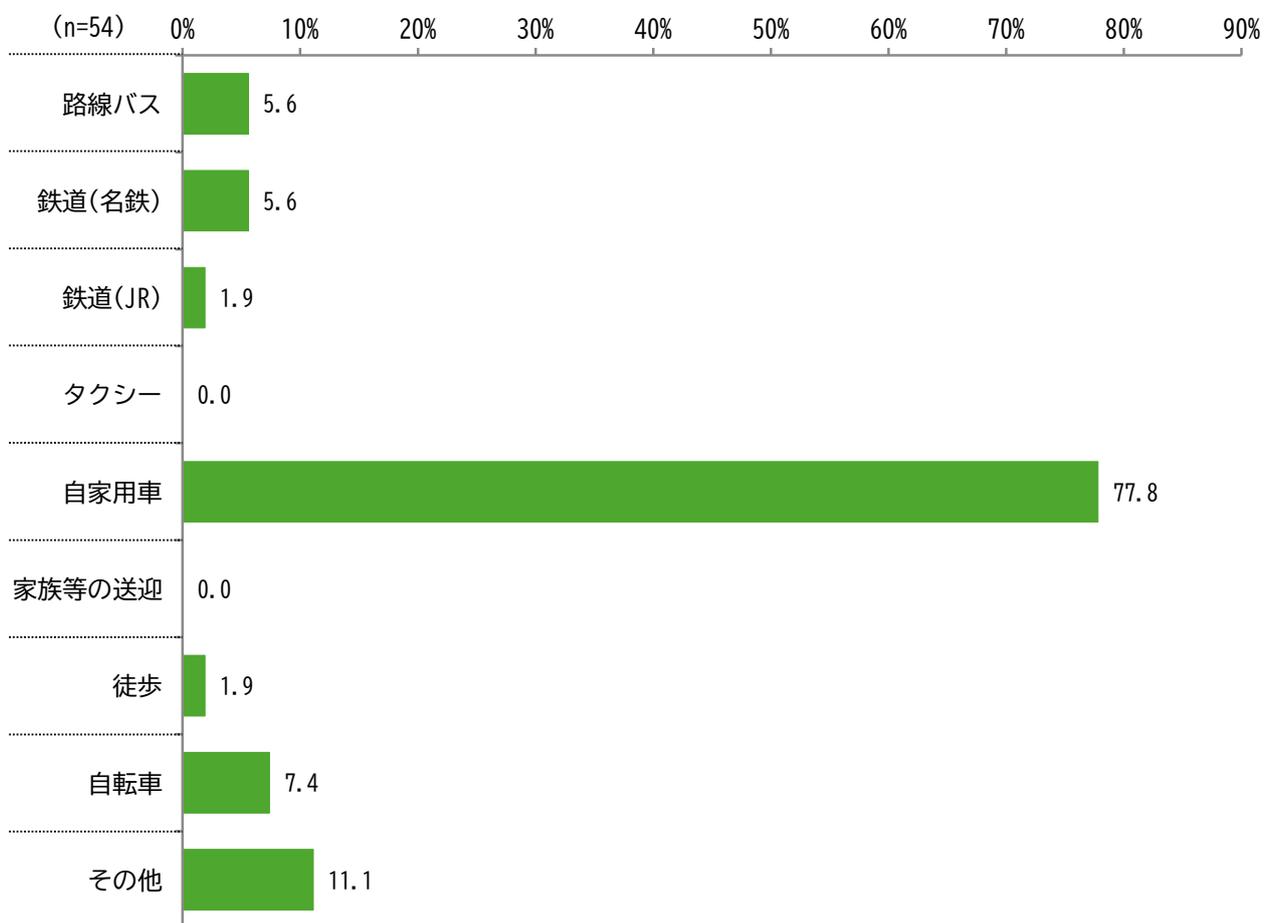
図 「通勤・通学」での外出頻度(高校生)



➤ 高校生全体では、「ほぼ毎日」が 98.6%で最も多く、次いで「週に 2~3 回」が 1.4%となっている。

問 2-2 現在、「通勤・通学」で利用している移動手段は何ですか。(複数選択可)

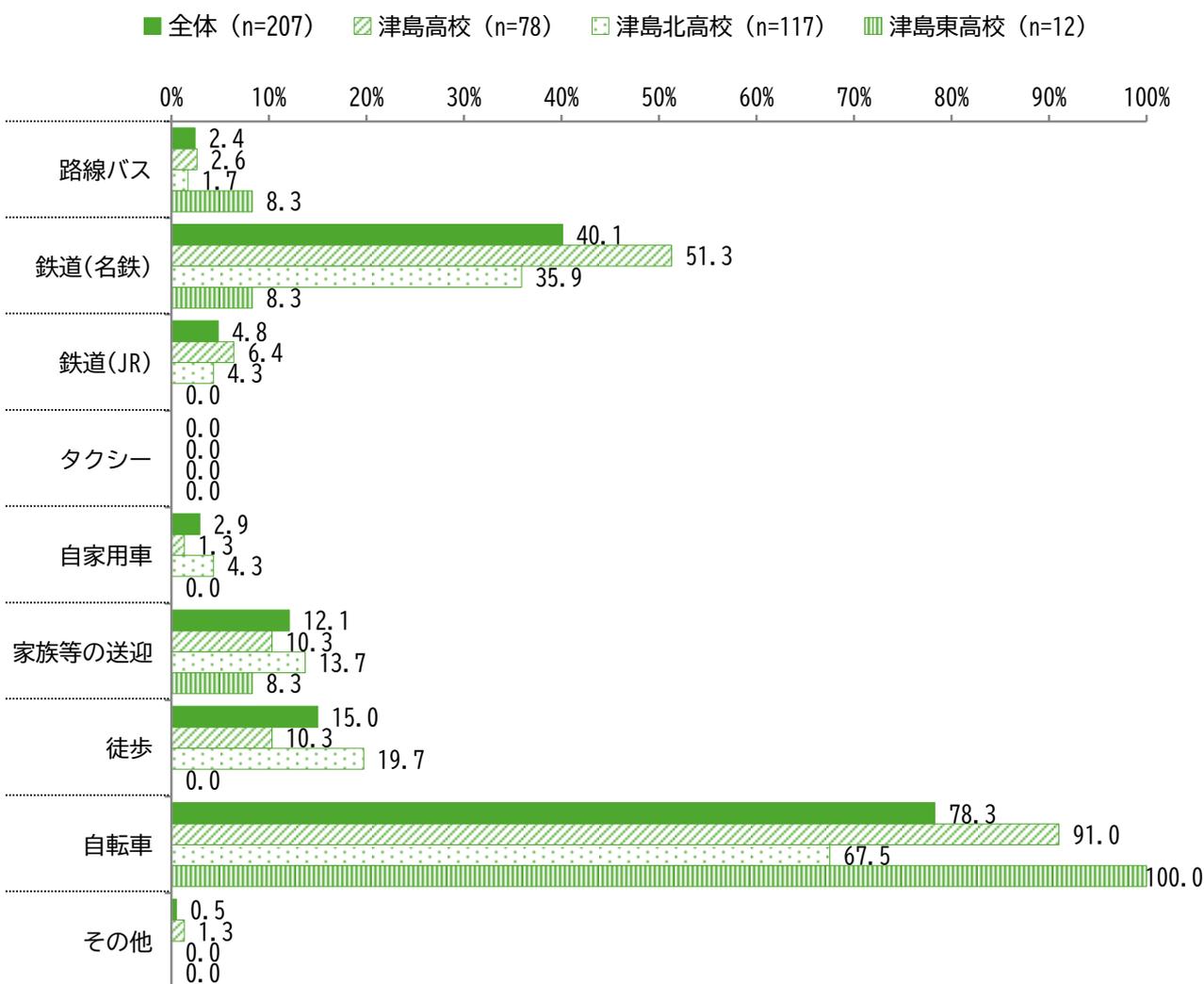
図 「通勤・通学」での移動手段(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「自家用車」が 77.8%で最も多く、次いで「自転車」が 7.4%、「路線バス」「鉄道(名鉄)」が 5.6%となっている。

問 2-2 現在、「通勤・通学」で利用している移動手段は何ですか。(複数選択可)

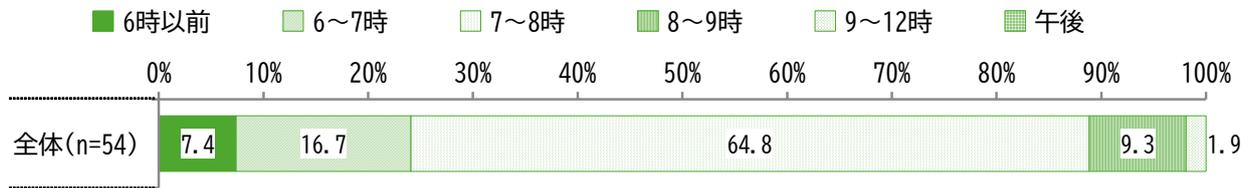
図 「通勤・通学」での移動手段(高校生)



➤ 高校生全体では、「自転車」が78.3%で最も多く、次いで「鉄道(名鉄)」が40.1%となっている。

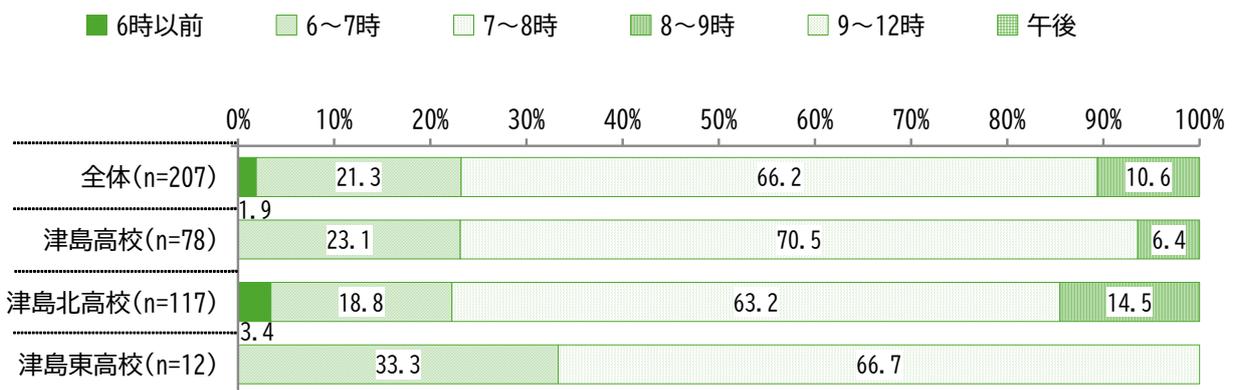
問 2-3 現在、「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。(1つ選択)

図 自宅を出発する時間帯(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「7~8時」が64.8%で最も多く、次いで「6~7時」が16.7%、「8~9時」が9.3%となっている。

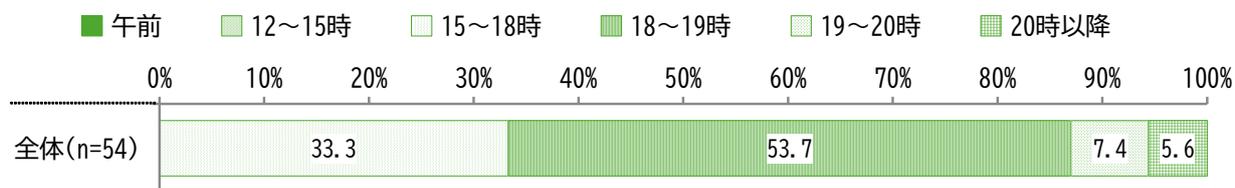
図 自宅を出発する時間帯(高校生)



➤ 高校生全体では、「7~8時」が66.2%で最も多く、次いで「6~7時」が21.3%、「8~9時」が10.6%となっている。

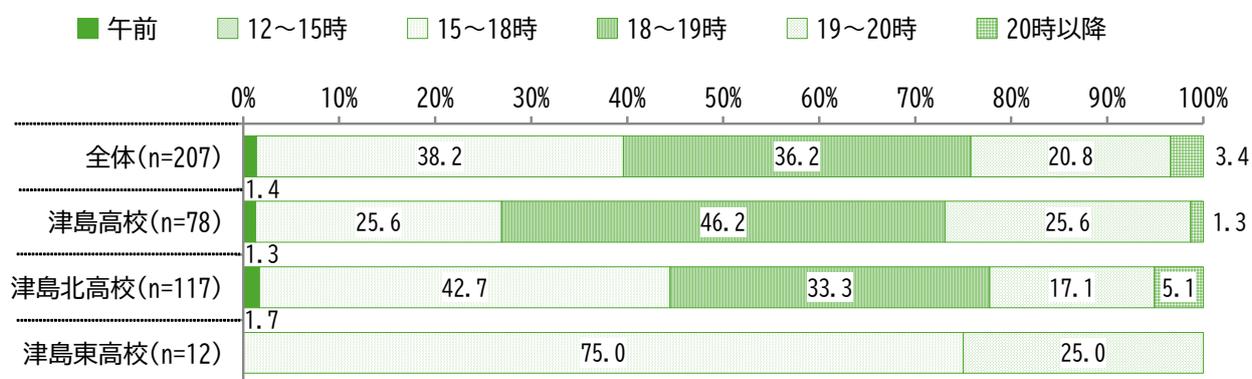
問 2-4 現在、「通勤・通学」で帰宅する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。(1つ選択)

図 帰宅する時間帯(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「18~19 時」が 53.7%で最も多く、次いで「15~18 時」が 33.3%、「19~20 時」が 7.4%となっている。

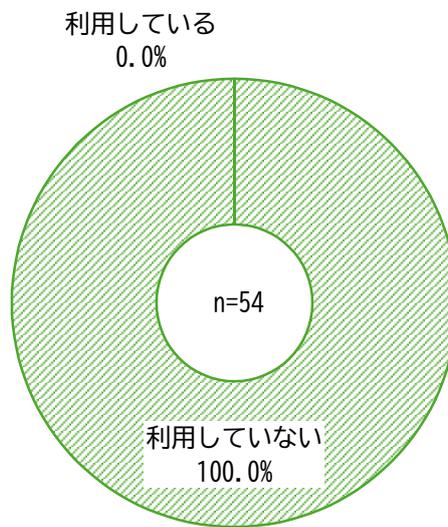
図 帰宅する時間帯(高校生)



➤ 高校生全体では、「15~18 時」が 38.2%で最も多く、次いで「18~19 時」が 36.2%、「19~20 時」が 20.8%となっている。

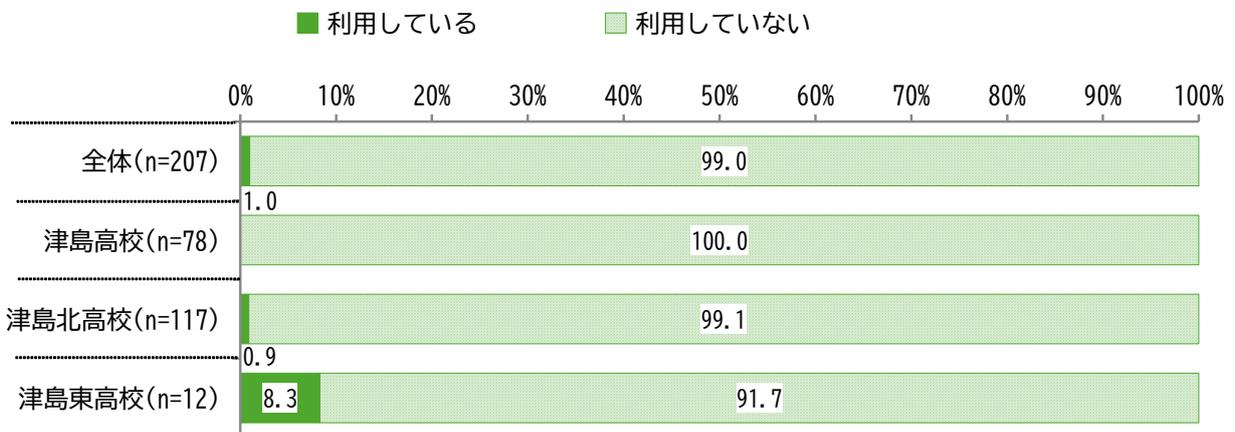
問 2-5 現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。(1つ選択)

図 ふれあいバスの利用(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「利用していない」が100.0%となっている。

図 ふれあいバスの利用(高校生)

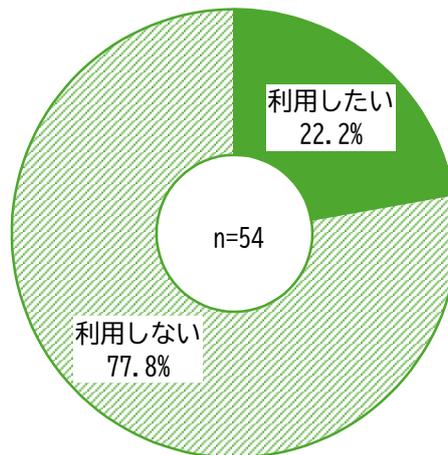


➤ 高校生全体では、「利用していない」が99.0%、「利用している」が1.0%となっている。

問 2-6 「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。(1つ選択)

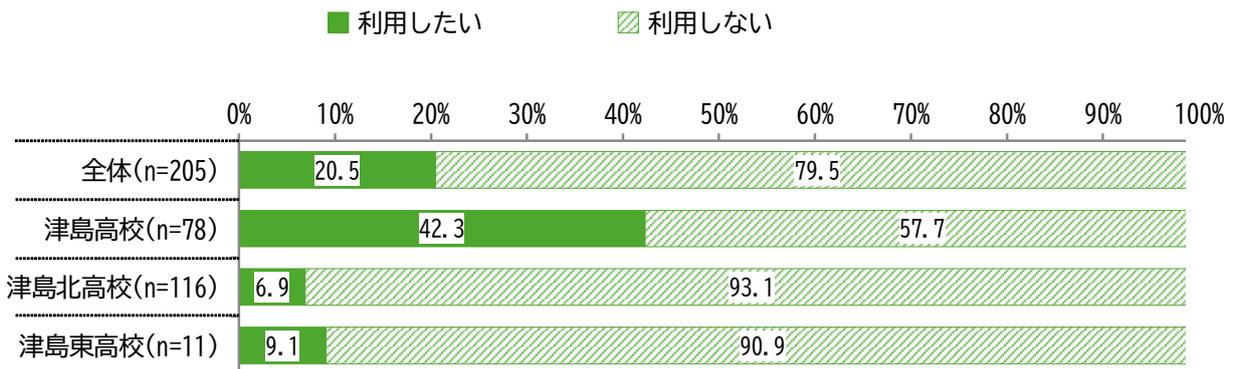
◆ 「通勤・通学」先付近で運行していたら利用したいは、全体の約2割。

図 現在利用していないが「通勤・通学」時間帯での運行について利用意向(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「利用したい」が22.2%、「利用しない」が77.8%となっている。

図 現在利用していないが「通勤・通学」時間帯での運行について利用意向(高校生)

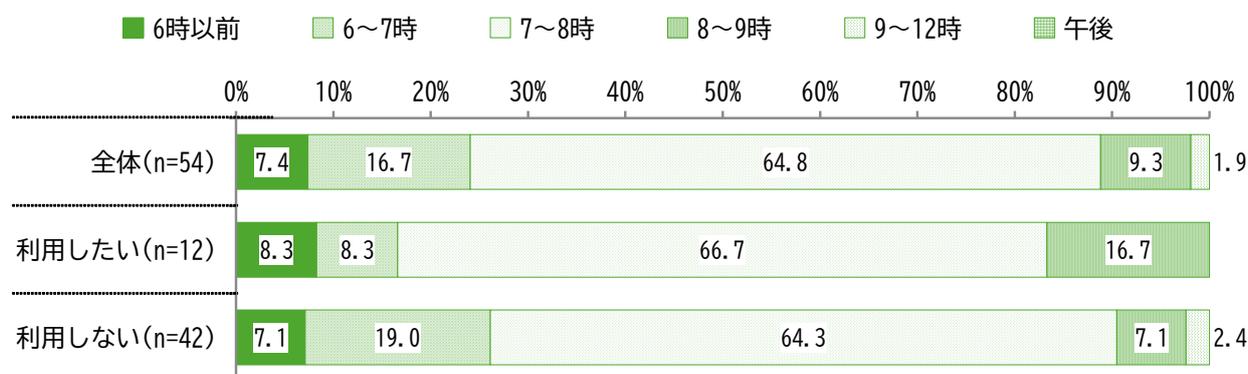


➤ 高校生全体では、「利用したい」が20.5%、「利用しない」が79.5%となっている。津島高校は約4割が「利用したい」となっている。

利用意向×問 2-3 現在、「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。(1つ選択)

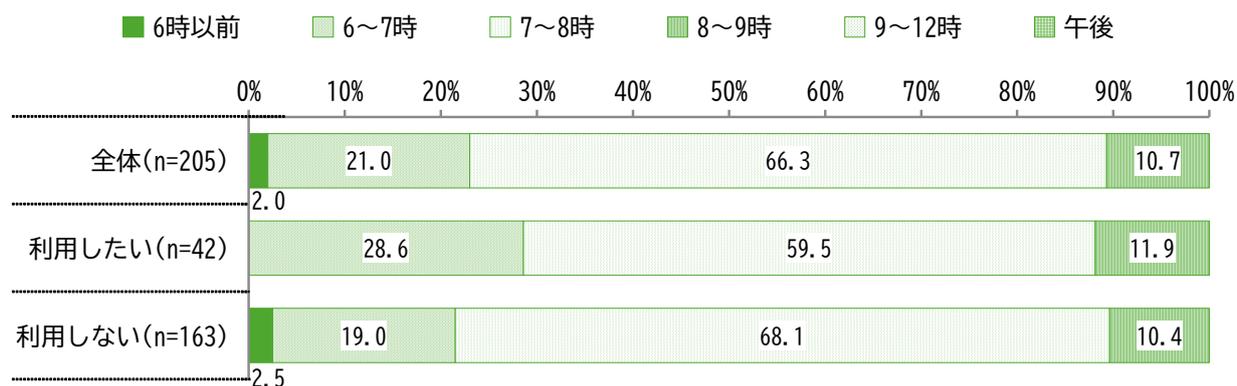
◆利用したい人の出発する時間帯は、7～8時が最も多い。

図 利用意向×出発時間帯(市内企業)



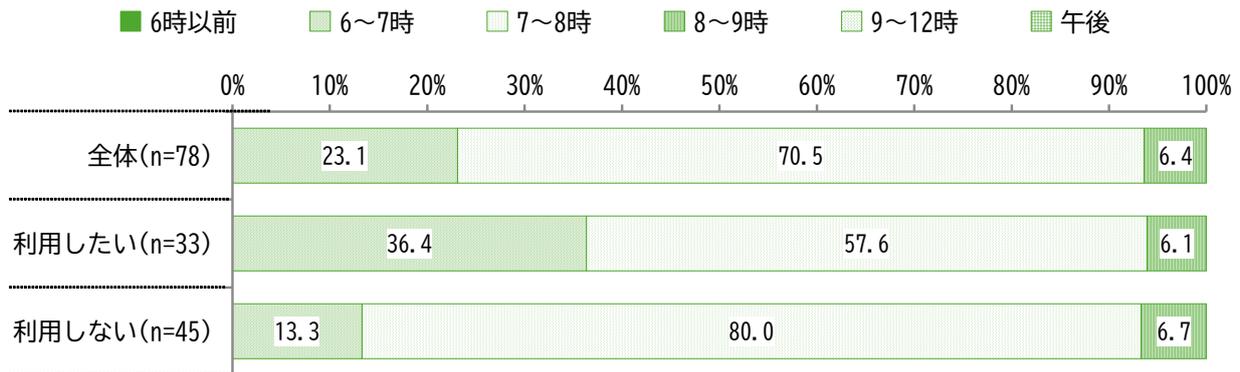
- ▶ 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した人(市内企業))では、「7～8時」が64.8%で最も多く、次いで「6～7時」が16.7%、「8～9時」が9.3%となっている。
- ▶ 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の自宅を出発する時間帯は、「7～8時」が66.7%、「8～9時」が16.7%となっている。「利用しない」と回答した人では、「7～8時」が64.3%で最も多く、次いで「6～7時」が19.0%、「6時以前」「8～9時」が7.1%となっている。

図 利用意向×出発時間帯(高校生)



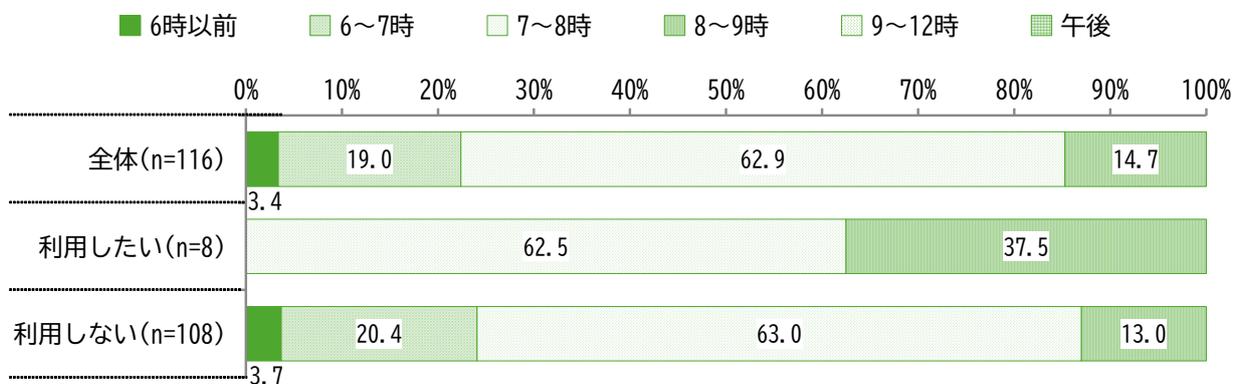
- ▶ 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生)では、「7～8時」が66.3%で最も多く、次いで「6～7時」が21.0%、「8～9時」が10.7%となっている。
- ▶ 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の自宅を出発する時間帯は、「7～8時」が59.5%、「6～7時」が28.6%となっている。

図 利用意向×出発時間帯(津島高校)



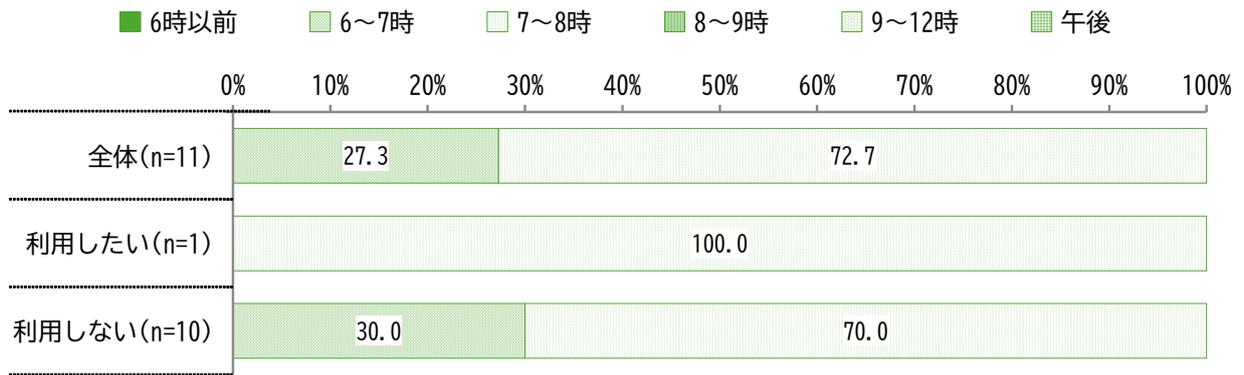
- 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生(津島高校))では、「7~8時」が70.5%で最も多く、次いで「6~7時」が23.1%、「8~9時」が6.4%となっている。
- 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の自宅を出発する時間帯は、「7~8時」が57.6%、「6~7時」が36.4%となっている。「利用しない」と回答した人では「7~8時」が80.0%、「6~7時」が13.3%となっている。

図 利用意向×出発時間帯(津島北高校)



- 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生(津島北高校))では、「7~8時」が62.9%で最も多く、次いで「6~7時」が19.0%、「8~9時」が14.7%となっている。
- 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の自宅を出発する時間帯は、「7~8時」が62.5%、「8~9時」が37.5%となっている。

図 利用意向×出発時間帯(津島東高校)

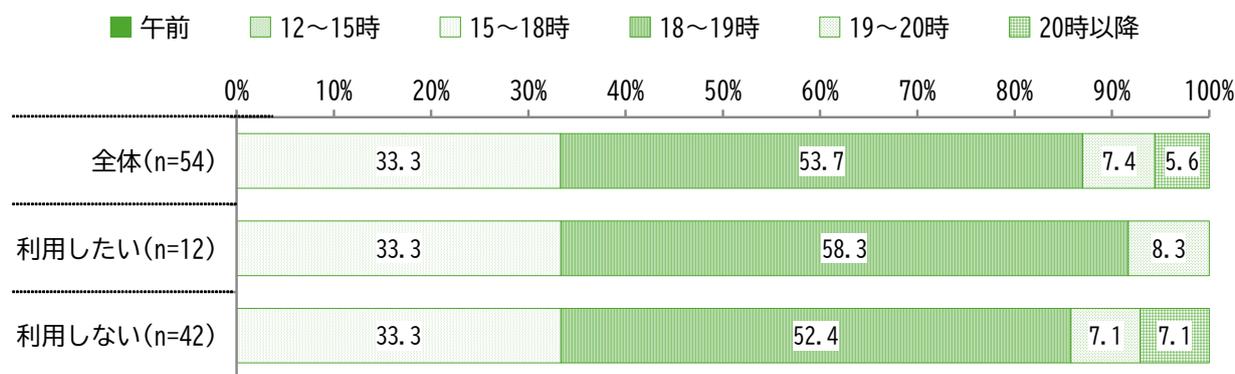


- 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生(津島東高校))では、「7~8時」が72.7%で最も多く、次いで「6~7時」が27.3%となっている。
- 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の自宅を出発する時間帯は、「7~8時」が100.0%となっている。

利用意向×問 2-4 現在、「通勤・通学」で帰宅する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。
(1つ選択)

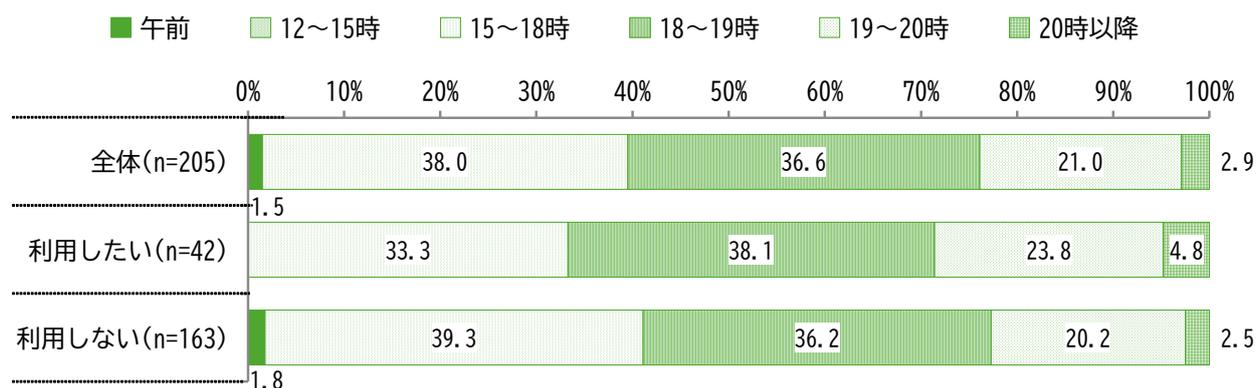
◆利用したい人の帰宅する時間帯は、18～19時が最も多い。

図 利用意向×帰宅時間帯(市内企業)



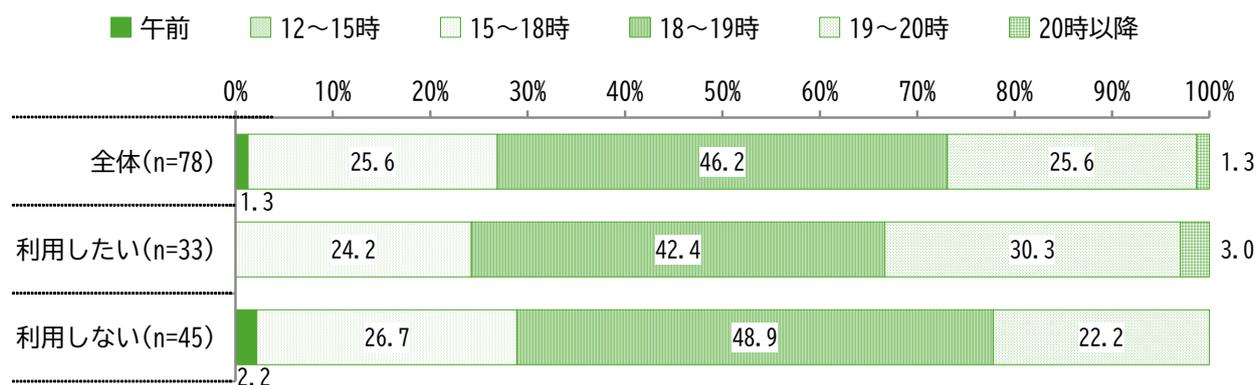
- ▶ 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した人(市内企業))では、「18～19時」が53.7%で最も多く、次いで「15～18時」が33.3%、「19～20時」が7.4%となっている。
- ▶ 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の帰宅する時間帯は、「18～19時」が58.3%、「15～18時」が33.3%となっている。

図 利用意向×帰宅時間帯(高校生全体)



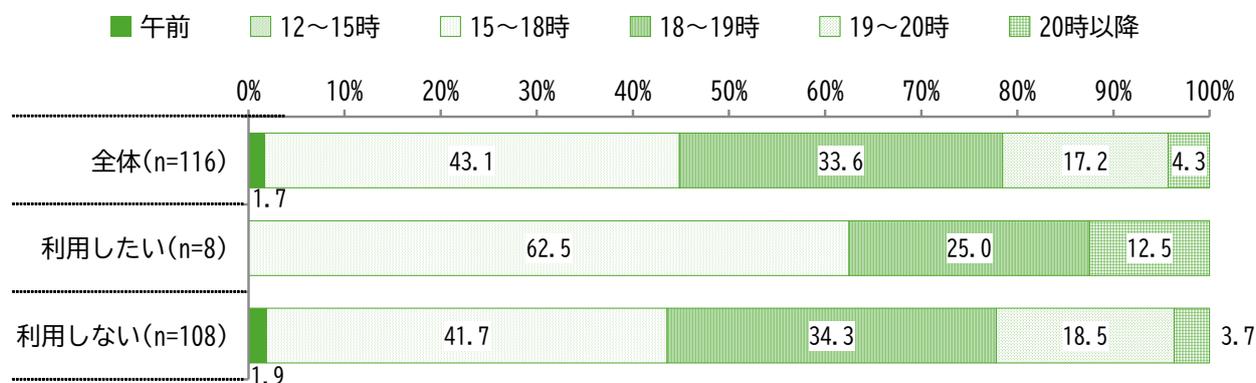
- ▶ 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生)では、「15～18時」が38.0%で最も多く、次いで「18～19時」が36.6%、「19～20時」が21.0%となっている。
- ▶ 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の帰宅する時間帯は、「18～19時」が38.1%、「15～18時」が33.3%となっている。

図 利用意向×帰宅時間帯(津島高校)



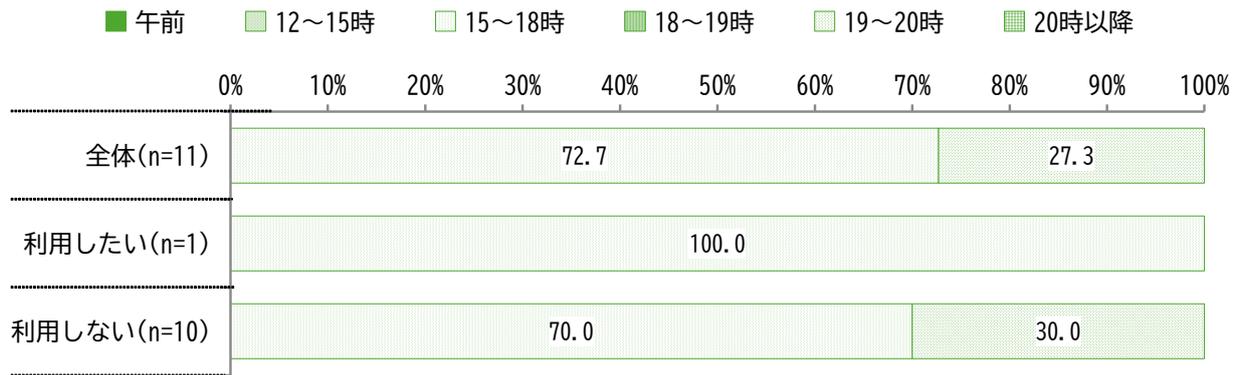
- 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生(津島高校))では、「18~19 時」が 46.2%で最も多く、次いで「15~18 時」「19~20 時」が 25.6%、「午前」「20 時以降」が 1.3%となっている。
- 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の帰宅する時間帯は、「18~19 時」が 42.4%、「19~20 時」が 30.3%となっている。

図 利用意向×帰宅時間帯(津島北高校)



- 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生(津島北高校))では、「15~18 時」が 43.1%で最も多く、次いで「18~19 時」が 33.6%、「19~20 時」が 17.2%となっている。
- 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の帰宅する時間帯は、「15~18 時」が 62.5%、「18~19 時」が 25.0%となっている。

図 利用意向×帰宅時間帯(津島東高校)

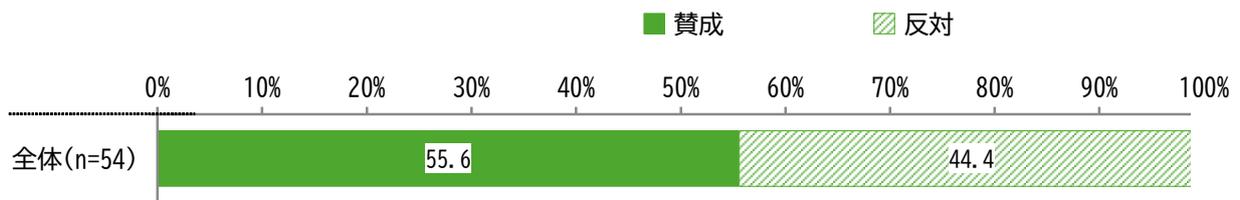


- 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生(津島東高校))では、「15~18 時」が 72.7%で最も多く、次いで「19~20 時」が 27.3%となっている。
- 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人の帰宅する時間帯は、「15~18 時」が 100.0%となっている。

問 2-8 市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することは賛成ですか、反対ですか。

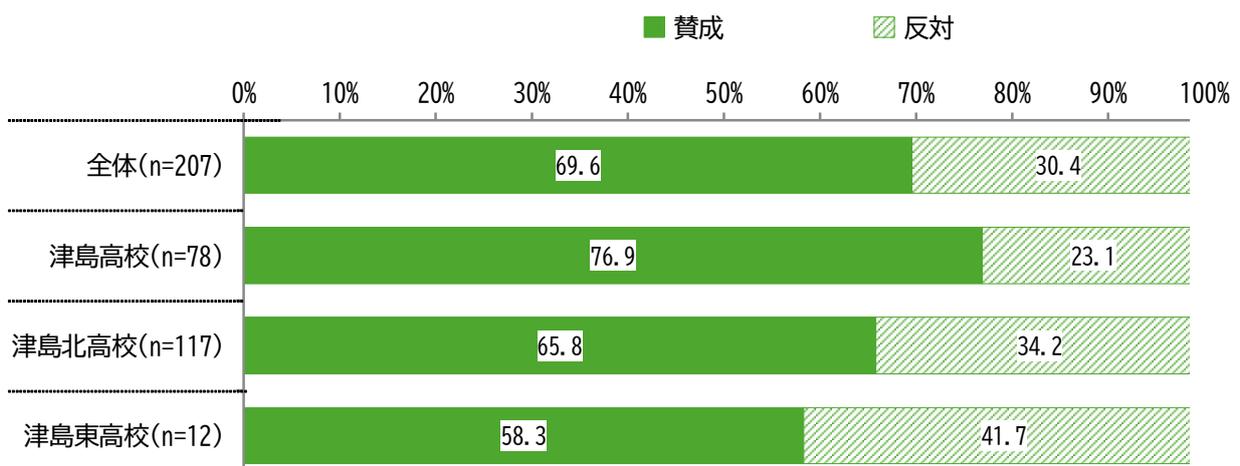
◆市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応するへの賛成が半数以上。津島高校が最も高い。

図 「通勤・通学」への対応(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「賛成」が55.6%、「反対」が44.4%となっている。

図 「通勤・通学」への対応(高校生)



➤ 高校生全体では、「賛成」が69.6%、「反対」が30.4%となっている。

➤ 津島高校では「賛成」が76.9%、「反対」が23.1%となっている。

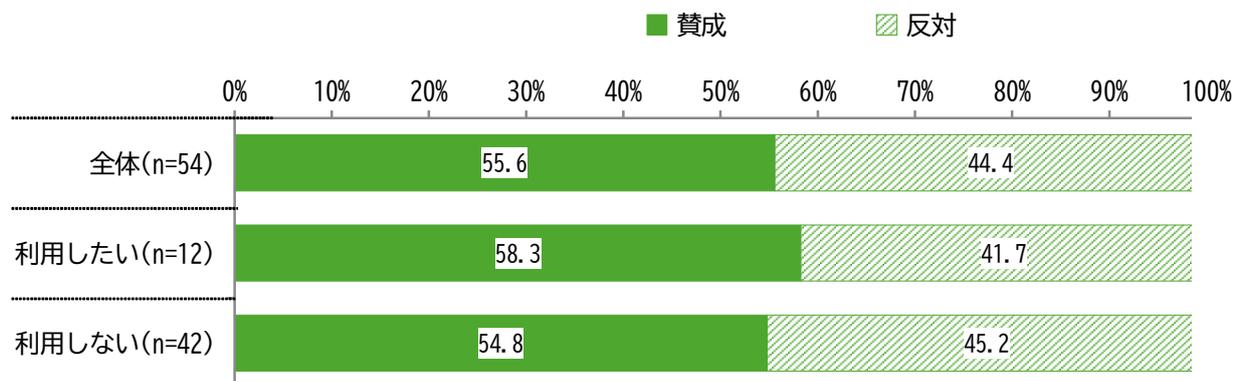
➤ 津島北高校では「賛成」が65.8%、「反対」が34.2%となっている。

➤ 津島東高校では「賛成」が58.3%、「反対」が41.7%となっている。

利用意向×問 2-8 市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することは賛成ですか、反対ですか。

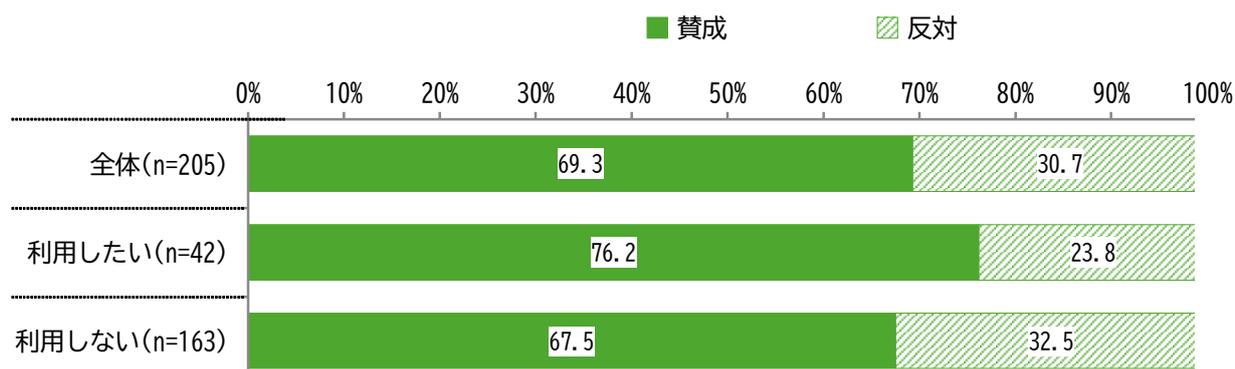
◆利用したい人は利用しない人よりも、市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することへの賛成が多い。

図 利用意向×「通勤・通学」への対応(市内企業)



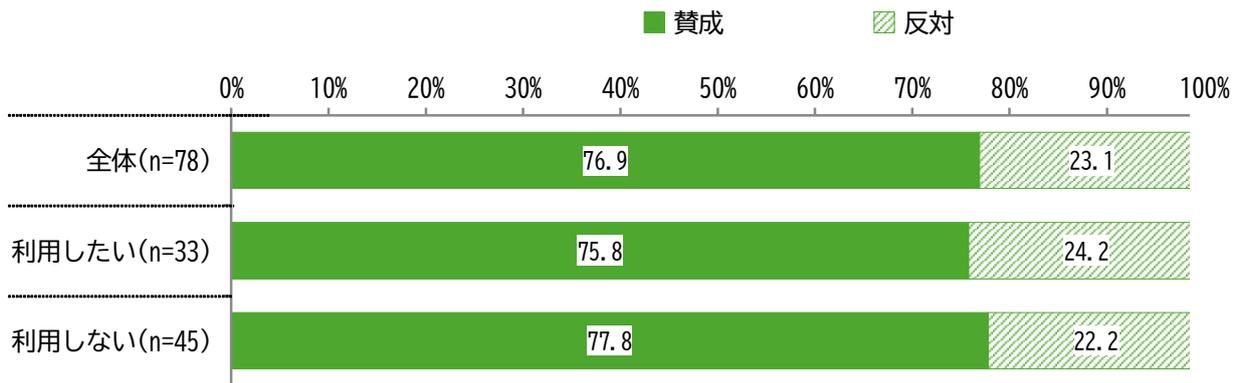
- ▶ 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した人(市内企業))では、「賛成」が55.6%、「反対」が44.4%となっている。
- ▶ 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人では、「賛成」が58.3%、「反対」が41.7%となっている。
- ▶ 「利用しない」と回答した人では、「賛成」が54.8%、「反対」が45.2%となっている。

図 利用意向×「通勤・通学」への対応(高校生)



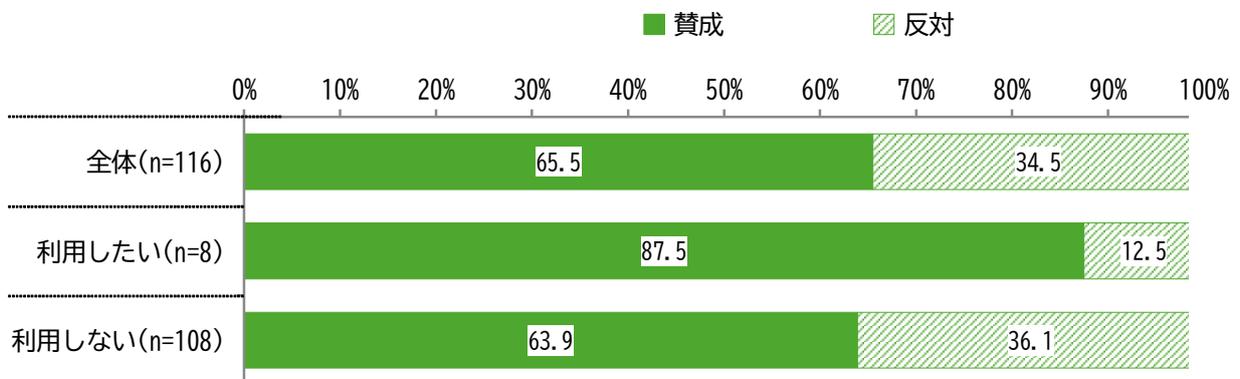
- ▶ 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生)では、「賛成」が69.3%、「反対」が30.7%となっている。
- ▶ 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人では、「賛成」が76.2%、「反対」が23.8%となっている。
- ▶ 「利用しない」と回答した人では、「賛成」が67.5%、「反対」が32.5%となっている。

図 利用意向×「通勤・通学」への対応(津島高校)



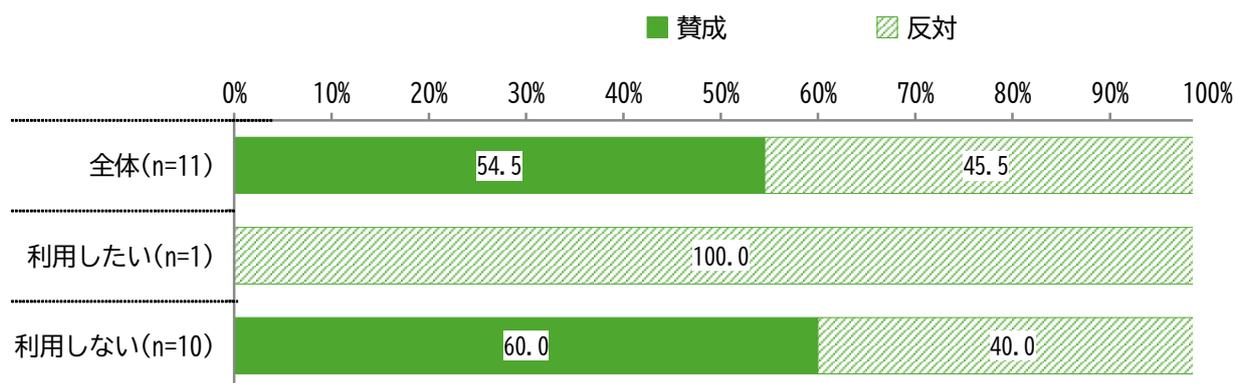
- 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生(津島高校))では、「賛成」が76.9%、「反対」が23.1%となっている。
- 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人では、「賛成」が75.8%、「反対」が24.2%となっている。
- 「利用しない」と回答した人では、「賛成」が77.8%、「反対」が22.2%となっている。

図 利用意向×「通勤・通学」への対応(津島北高校)



- 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生(津島北高校))では、「賛成」が65.5%、「反対」が34.5%となっている。
- 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人では、「賛成」が87.5%、「反対」が12.5%となっている。
- 「利用しない」と回答した人では、「賛成」が63.9%、「反対」が36.1%となっている。

図 利用意向×「通勤・通学」への対応(津島東高校)

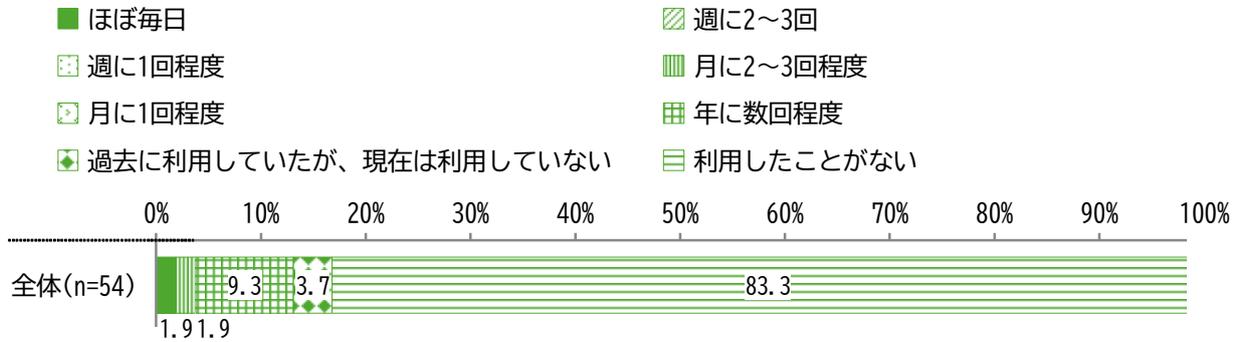


- 全体(問 2-5「現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。」の質問に「利用していない」と回答した高校生(津島東高校))では、「賛成」が54.5%、「反対」が45.5%となっている。
- 問 2-6「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯または帰宅する時間帯にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人では、「反対」が100.0%となっている。
- 「利用しない」と回答した人では、「賛成」が60.0%、「反対」が40.0%となっている。

問 2-9 「通勤・通学」以外でのふれあいバスの利用頻度を教えてください。(1つ選択)

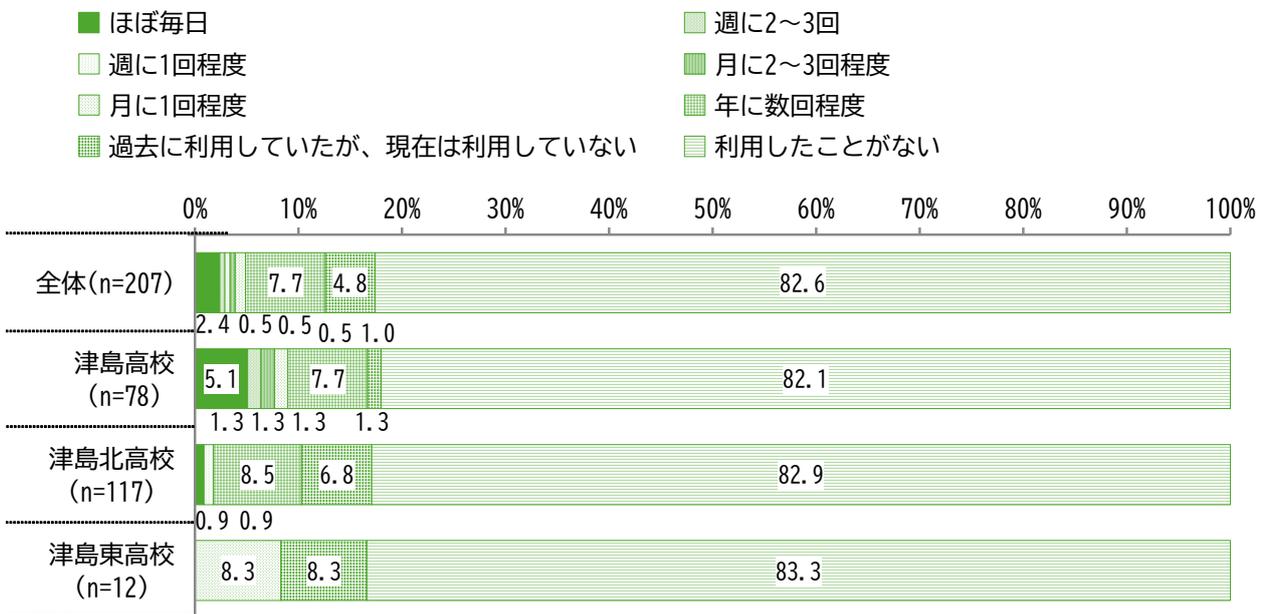
◆ 「通勤・通学」以外で、ふれあいバスを利用したことがある人は約2割。

図 「通勤・通学」以外での利用頻度(市内企業)



➤ 市内企業全体では、「利用したことがない」が 83.3%で最も多く、次いで「年に数回程度」が 9.3%、「過去に利用していたが、現在は利用していない」が 3.7%となっている。

図 「通勤・通学」以外での利用頻度(高校生)

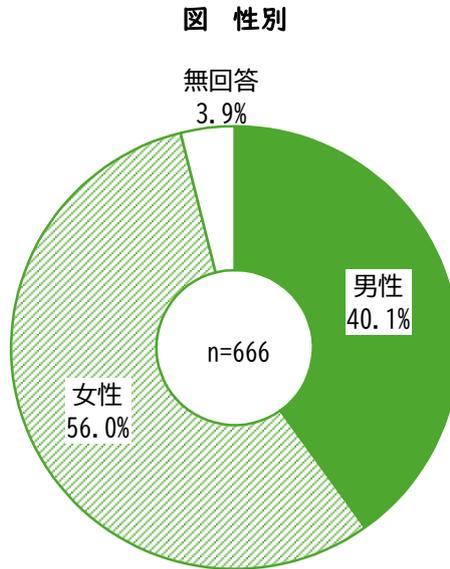


➤ 高校生全体では、「利用したことがない」が 82.6%で最も多く、次いで「年に数回程度」が 7.7%、「過去に利用していたが、現在は利用していない」が 4.8%となっている。

3. 市民向けアンケート調査結果

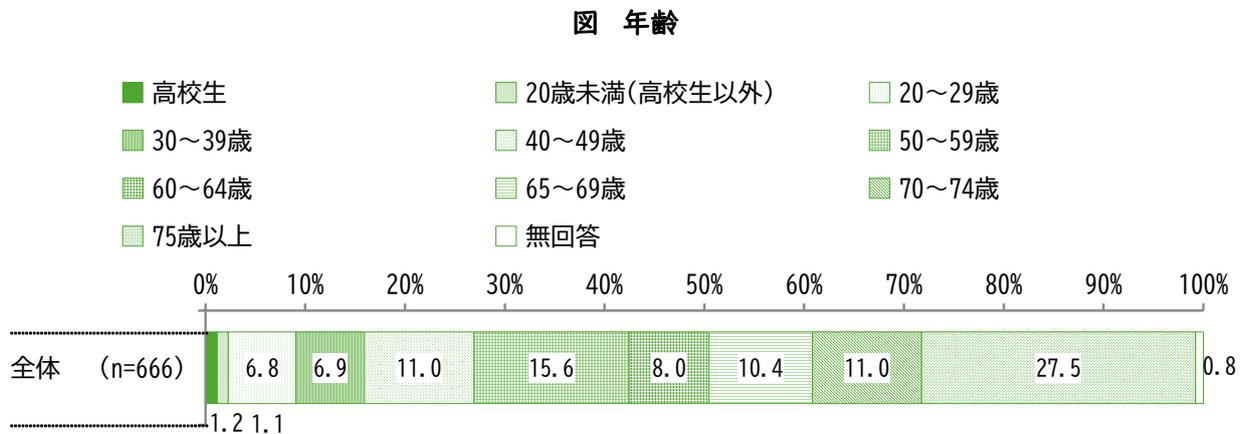
1. あなた自身についてお聞きします。

問 | ①性別



➤ 全体では、「男性」が40.1%、「女性」が56.0%となっている。

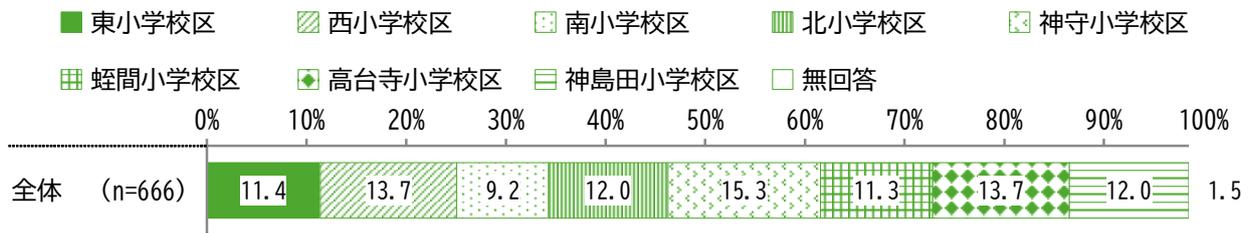
問 | ②年齢



➤ 全体では、「75歳以上」が27.5%で最も多く、次いで「50~59歳」が15.6%、「40~49歳」「70~74歳」が11.0%となっている。

問1 ③お住まい

図 小学校区

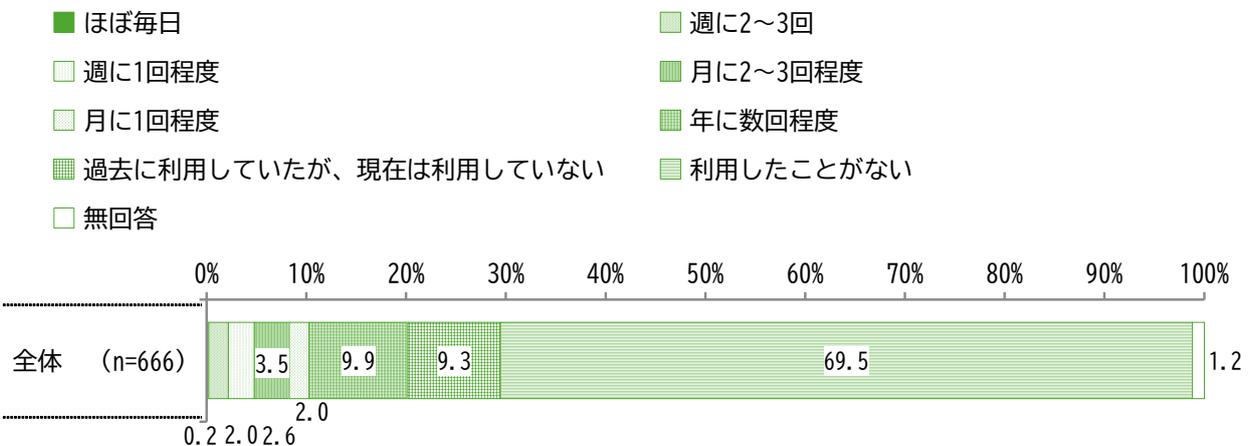


➤ 全体では、「神守小学校区」が 15.3%で最も多く、次いで「西小学校区」「高台寺小学校区」が 13.7%、「北小学校区」「神島田小学校区」が 12.0%となっている。

2. ふれあいバス全般についてお聞きします。

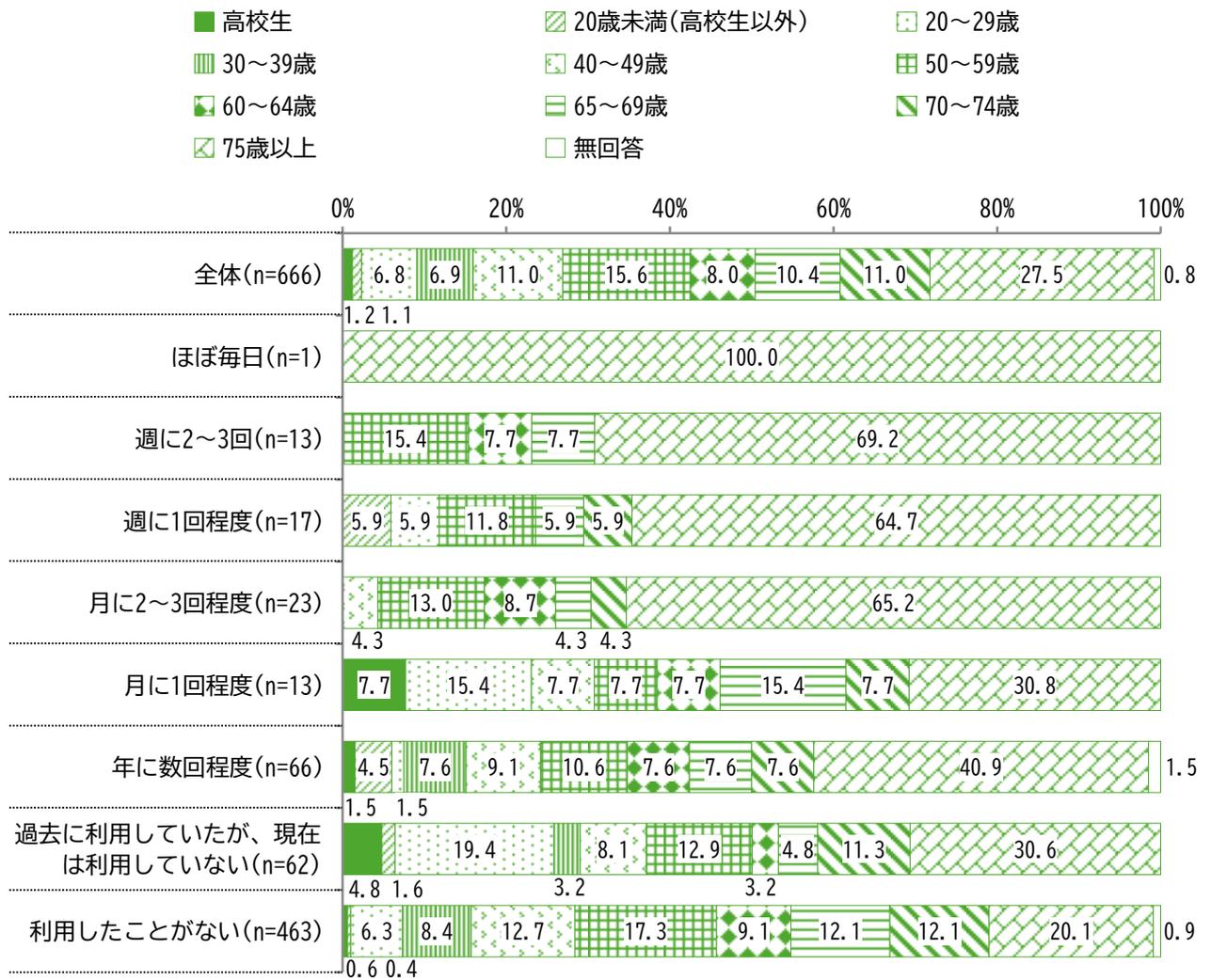
問2-1 ふれあいバスの利用頻度を教えてください。(1つ選択)

図 利用頻度



➤ 全体では、「利用したことがない」が 69.5%で最も多く、次いで「年に数回程度」が 9.9%、「過去に利用していたが、現在は利用していない」が 9.3%となっている。

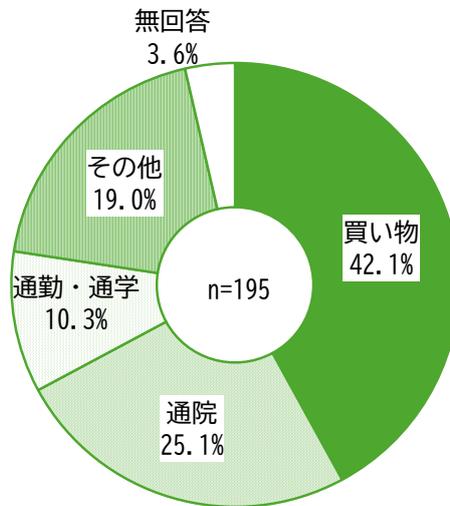
図 利用頻度×年齢



➤ 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「75歳以上」が20.1%で最も多く、次いで「50~59歳」が17.3%、「40~49歳」が12.7%となっている。

問 2-2 ふれあいバスの主な利用目的を教えてください。(1つ選択)

図 利用目的

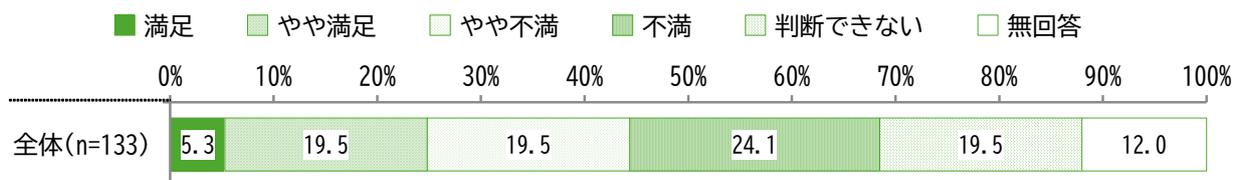


➤ 全体では、「買い物」が 42.1%で最も多く、次いで「通院」が 25.1%、「通勤・通学」が 10.3%となっている。

問 2-3 満足度（運行全体）

満足度については、問 2-1にて「現在利用している」と回答した 133 件にて集計を実施した。

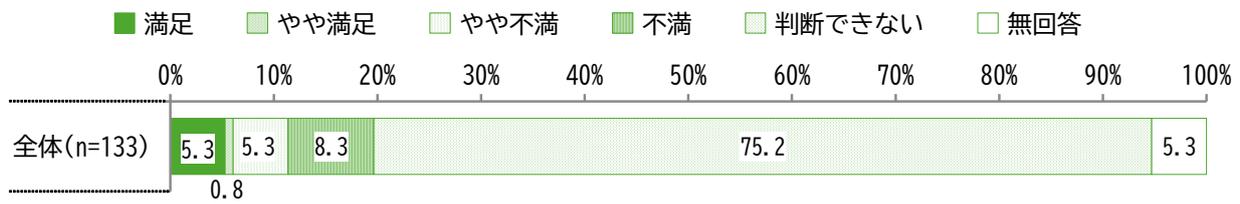
図 満足度（運行全体）



➤ 全体では、「不満」が 24.1%で最も多く、次いで「やや満足」と「やや不満」と「判断できない」がそれぞれ 19.5%、「満足」が 5.3%となっている。

問 2-3 満足度 (バスの運賃)

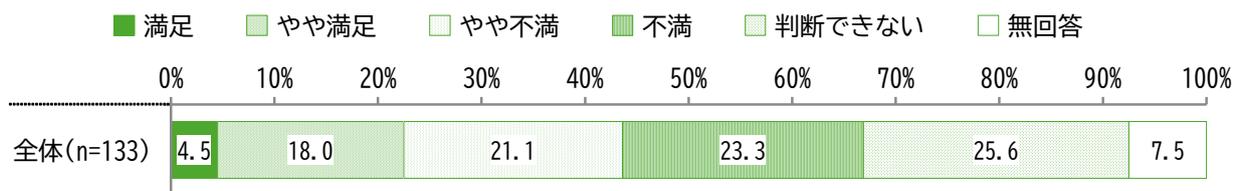
図 満足度 (バスの運賃)



▶ 全体では、「判断できない」が 75.2%で最も多く、次いで「不満」が 8.3%、「満足」と「やや不満」がそれぞれ 5.3%となっている。

問 2-3 満足度 (バスの運行ルート)

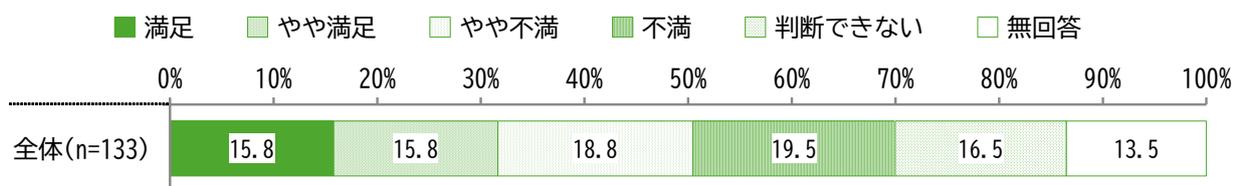
図 満足度 (バスの運行ルート)



▶ 全体では、「判断できない」が 25.6%で最も多く、次いで「不満」が 23.3%、「やや不満」が 21.1%となっている。

問 2-3 満足度 (鉄道や他のバスへの乗り継ぎ)

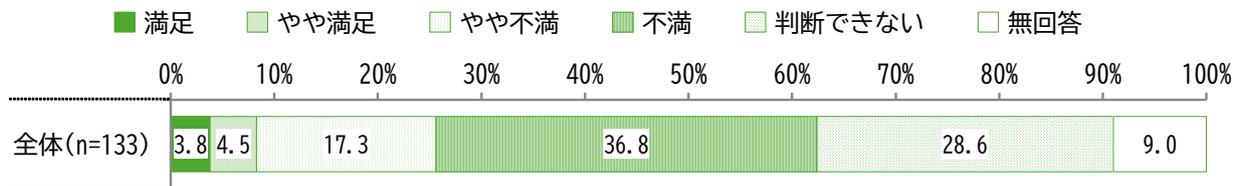
図 満足度 (鉄道や他のバスへの乗り継ぎ)



▶ 全体では、「不満」が 19.5%で最も多く、次いで「やや不満」が 18.8%、「判断できない」が 16.5%となっている。

問 2-3 満足度 (バスの運行ダイヤの正確さ)

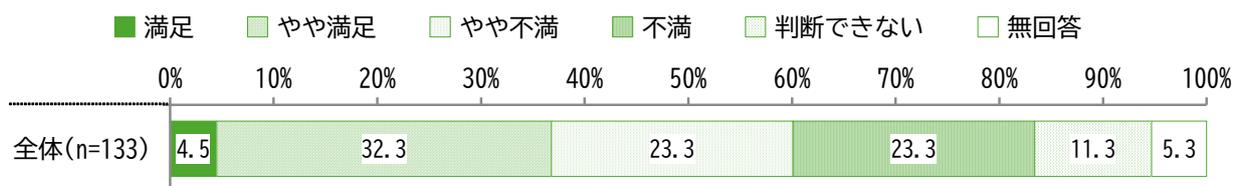
図 満足度 (バスの運行ダイヤの正確さ)



➤ 全体では、「不満」が 36.8%で最も多く、次いで「判断できない」が 28.6%、「やや不満」が 17.3%となっている。

問 2-3 満足度 (バスの運行時間帯)

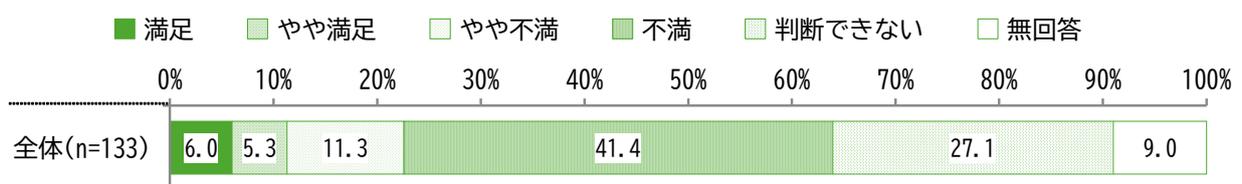
図 満足度 (バスの運行時間帯)



➤ 全体では、「やや満足」が 32.3%で最も多く、次いで「やや不満」と「不満」がそれぞれ 23.3%、「判断できない」が 11.3%となっている。

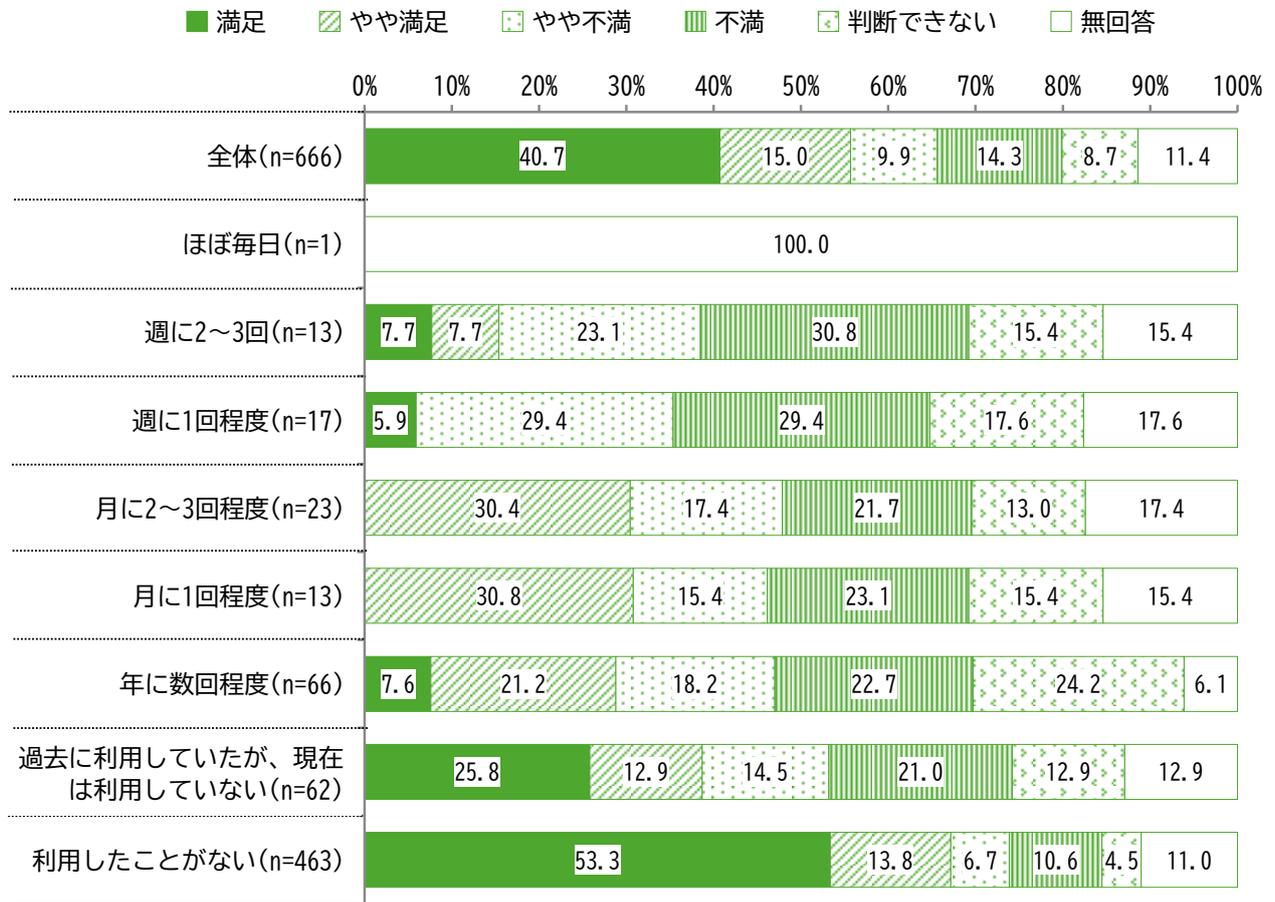
問 2-3 満足度 (バス利用時のわかりやすさ(運行案内など))

図 満足度 (バス利用時のわかりやすさ)



➤ 全体では、「不満」が 41.4%で最も多く、次いで「判断できない」が 27.1%、「やや不満」が 11.3%となっている。

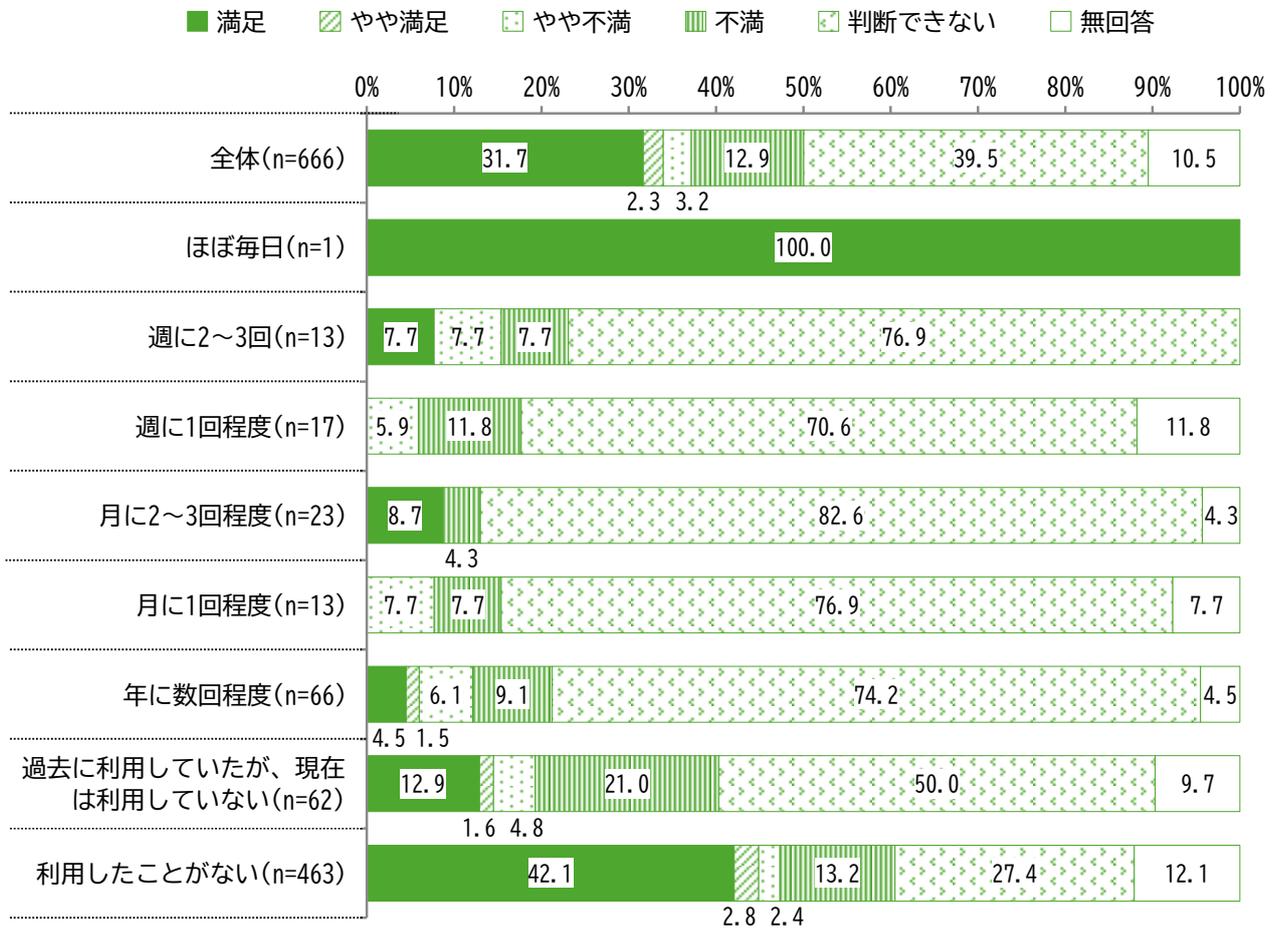
図 利用頻度×満足度（運行全体）



- 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「満足」が53.3%で最も多く、次いで「やや満足」が13.8%、「不満」が10.6%となっている。
- 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「現在利用している」と回答した人では、利用頻度が多くなるにつれて不満度が高くなる傾向にある。

利用頻度×問 2-3 満足度（バスの運賃）

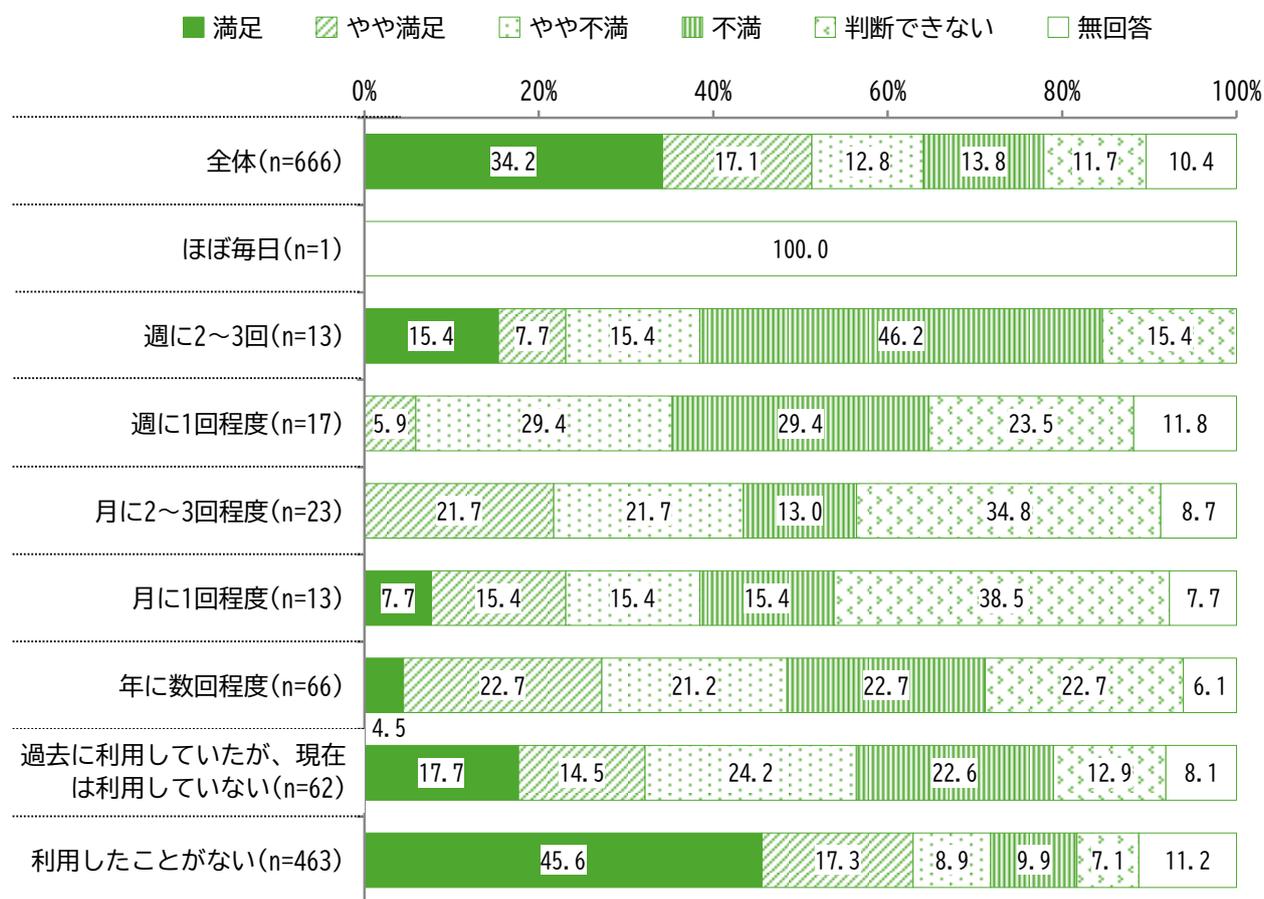
図 利用頻度×満足度（バスの運賃）



➤ 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「満足」が42.1%で最も多く、次いで「判断できない」が27.4%、「不満」が13.2%となっている。

利用頻度×問 2-3 満足度 (バスの運行ルート)

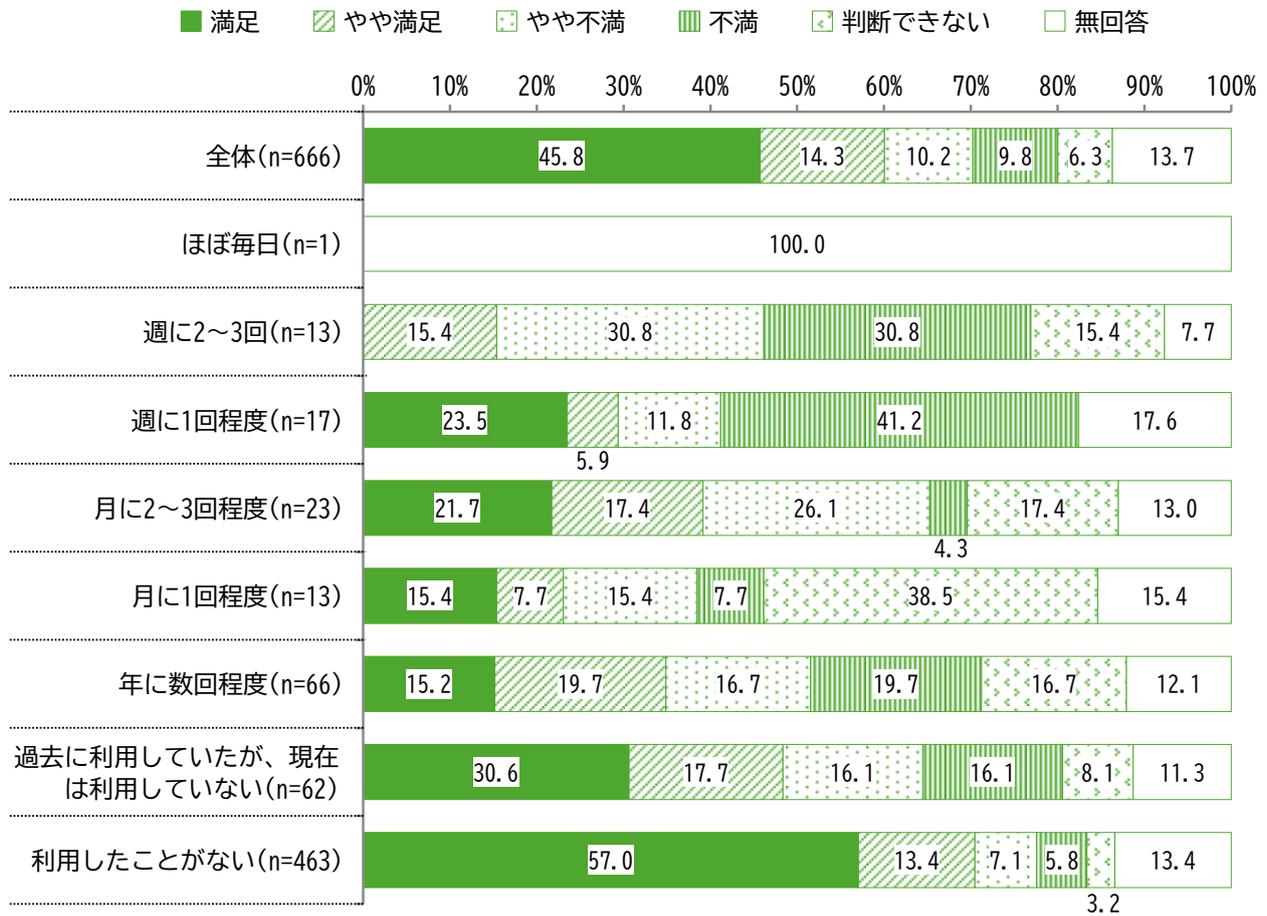
図 利用頻度×満足度(バスの運行ルート)



- 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「満足」が45.6%で最も多く、次いで「やや満足」が17.3%、「不満」が9.9%となっている。
- 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「現在利用している」と回答した人では、利用頻度が多くなるにつれて不満度が高くなる傾向にある。

利用頻度×問 2-3 満足度（鉄道や他のバスへの乗り継ぎ）

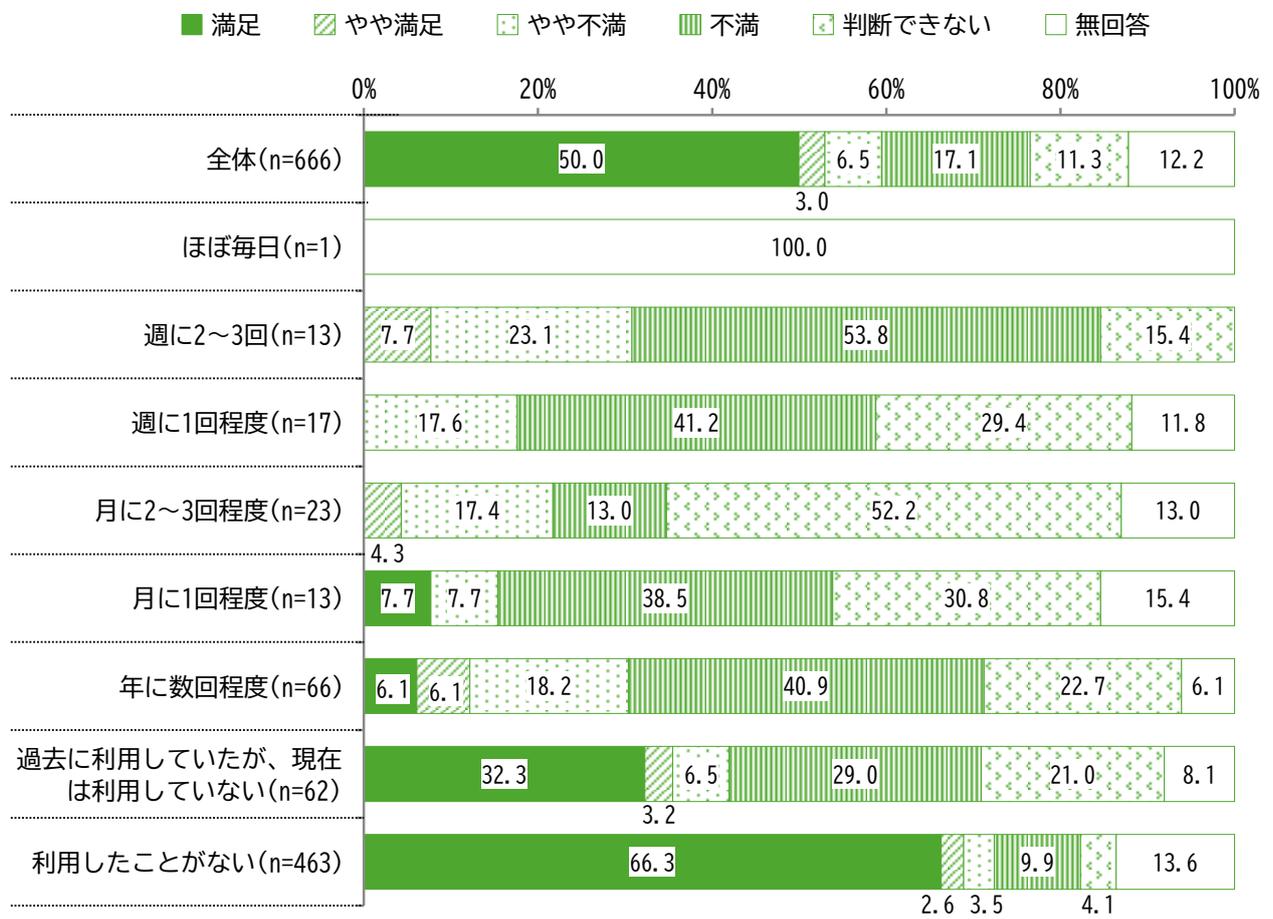
図 利用頻度×満足度（鉄道や他のバスへの乗り継ぎ）



➤ 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「満足」が57.0%で最も多く、次いで「やや満足」が13.4%、「やや不満」が7.1%となっている。

利用頻度×問 2-3 満足度（バスの運行ダイヤの正確さ）

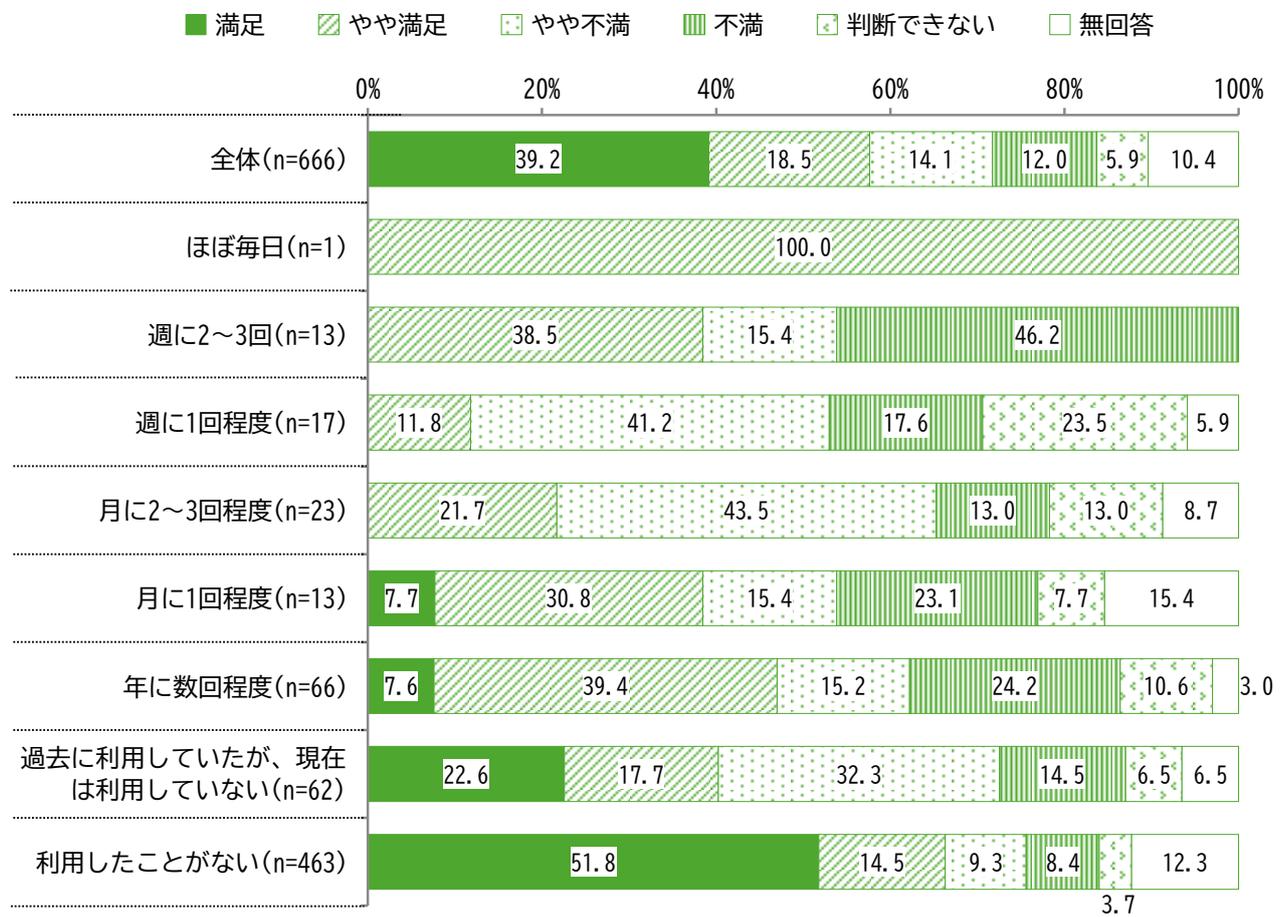
図 利用頻度×満足度（バスの運行ダイヤの正確さ）



➤ 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「満足」が66.3%で最も多く、次いで「不満」が9.9%、「判断できない」が4.1%となっている。

利用頻度×問 2-3 満足度（バスの運行時間帯）

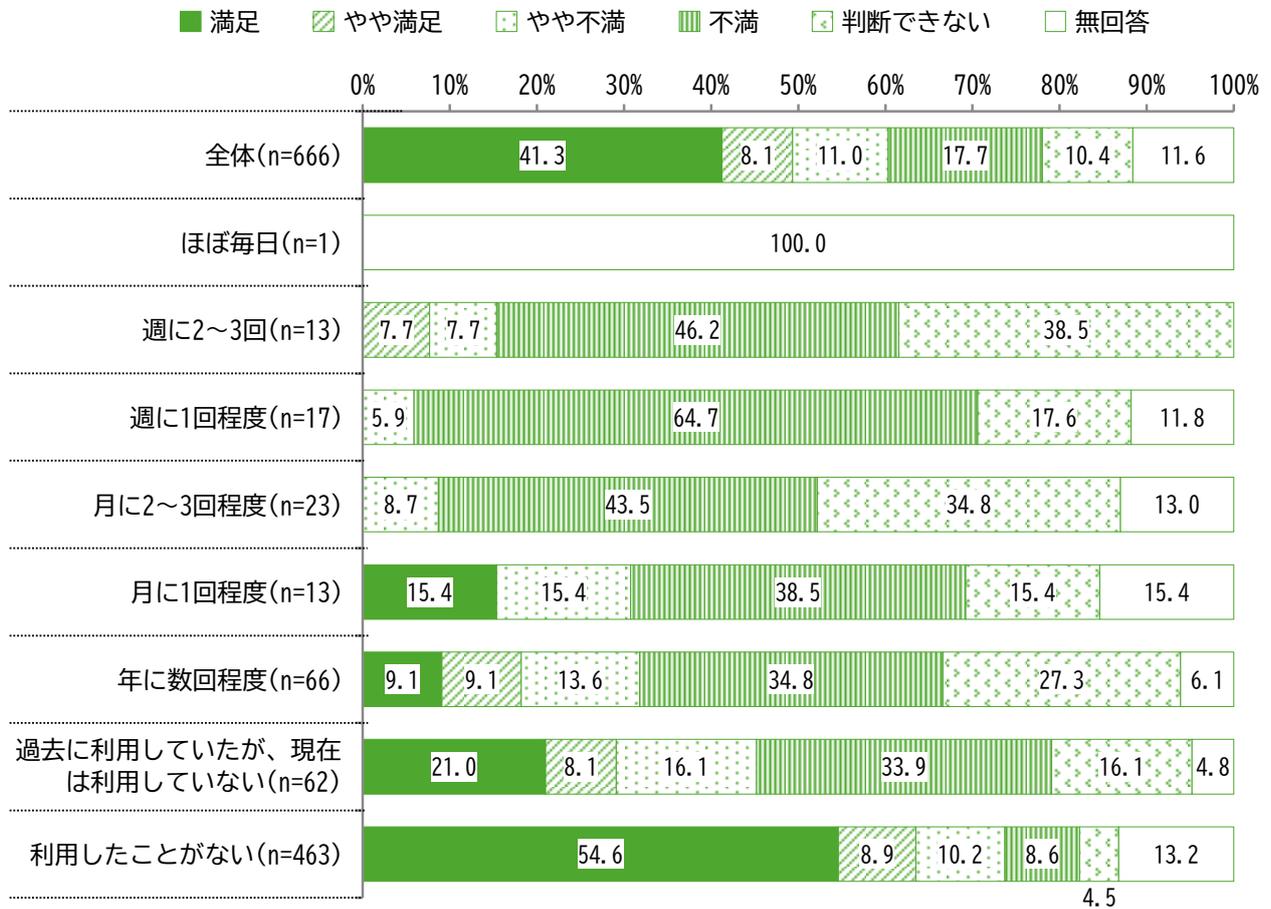
図 利用頻度×満足度（バスの運行時間帯）



➤ 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「満足」が51.8%で最も多く、次いで「やや満足」が14.5%、「やや不満」が9.3%となっている。

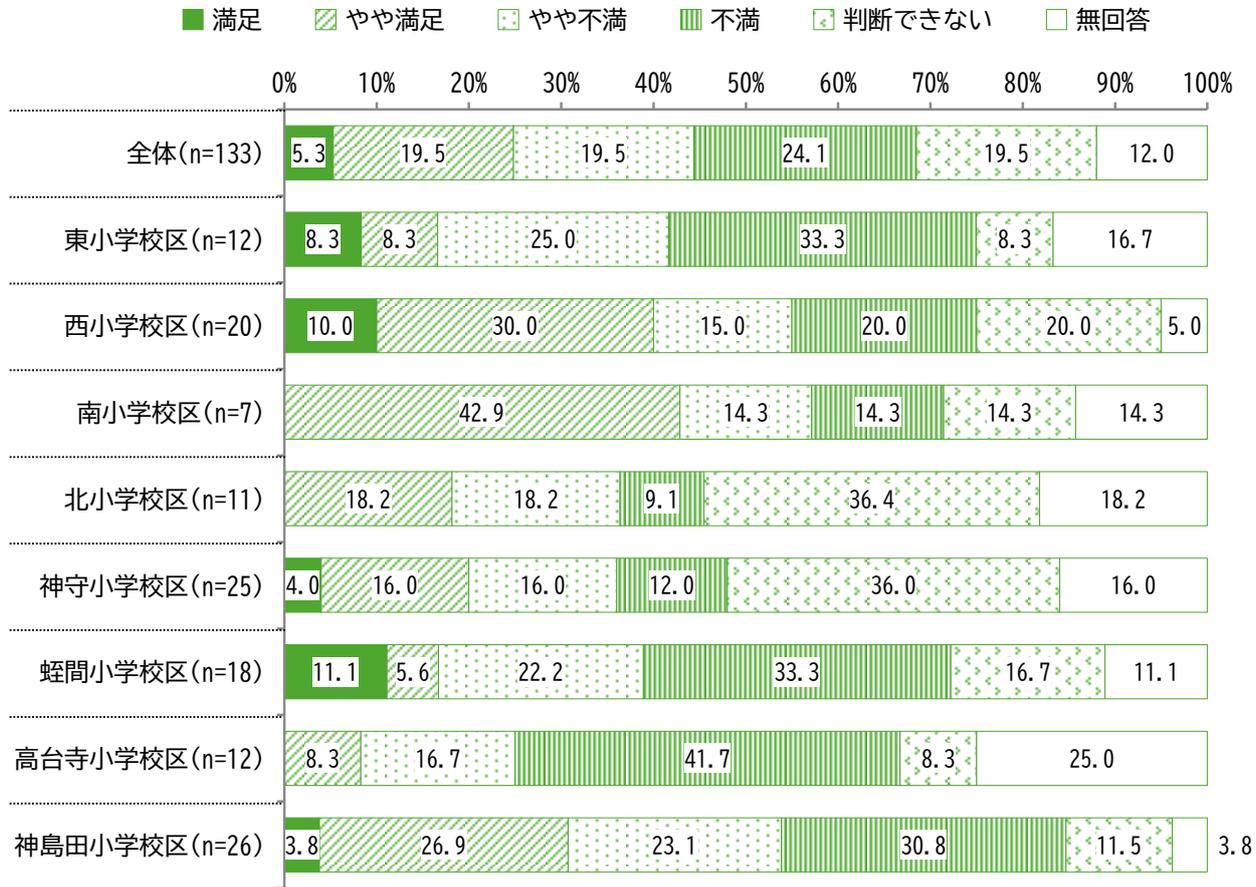
利用頻度×問 2-3 満足度（バス利用時のわかりやすさ(運行案内など)）

図 利用頻度×満足度（バス利用時のわかりやすさ）



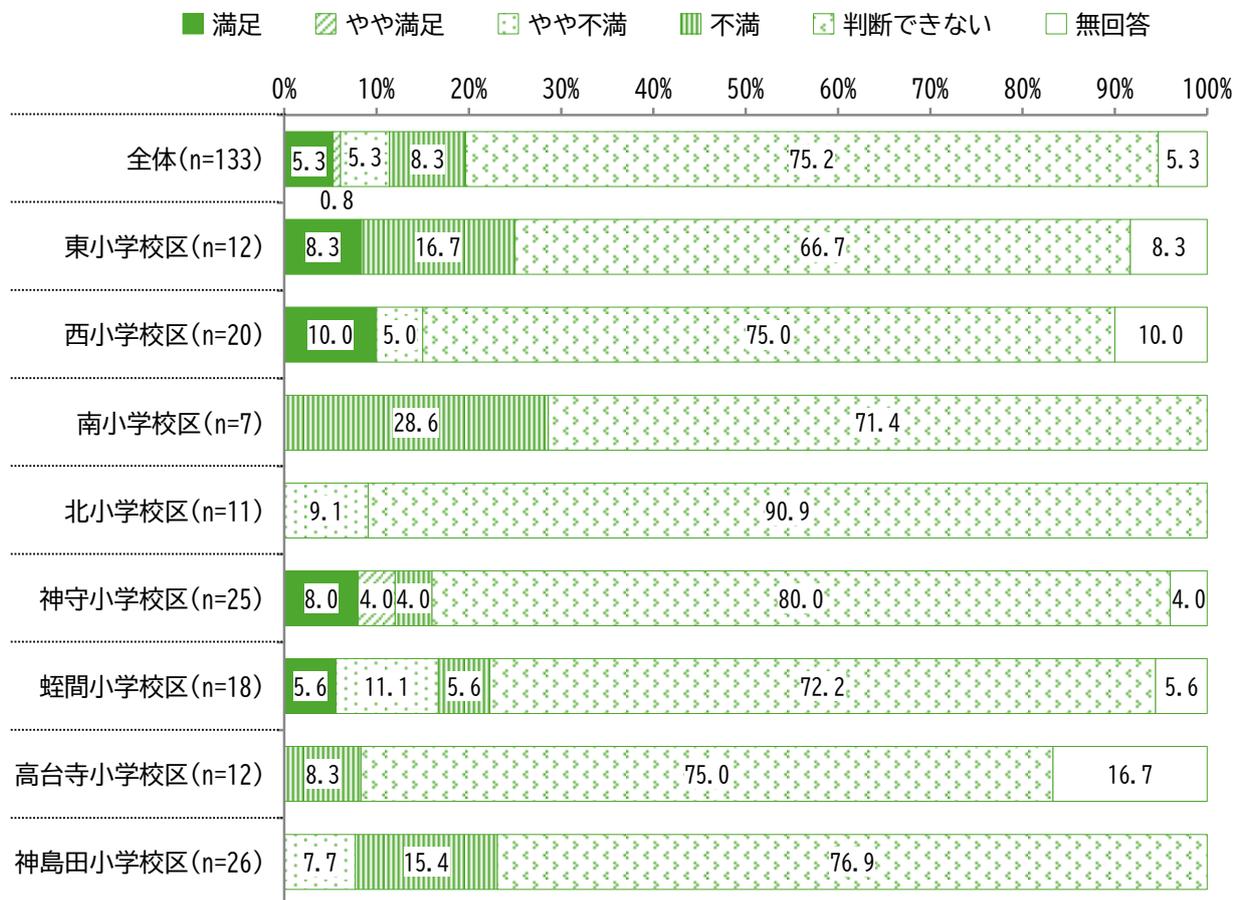
➤ 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「満足」が54.6%で最も多く、次いで「やや不満」が10.2%、「やや満足」が8.9%となっている。

図 小学校区×満足度（運行全体）



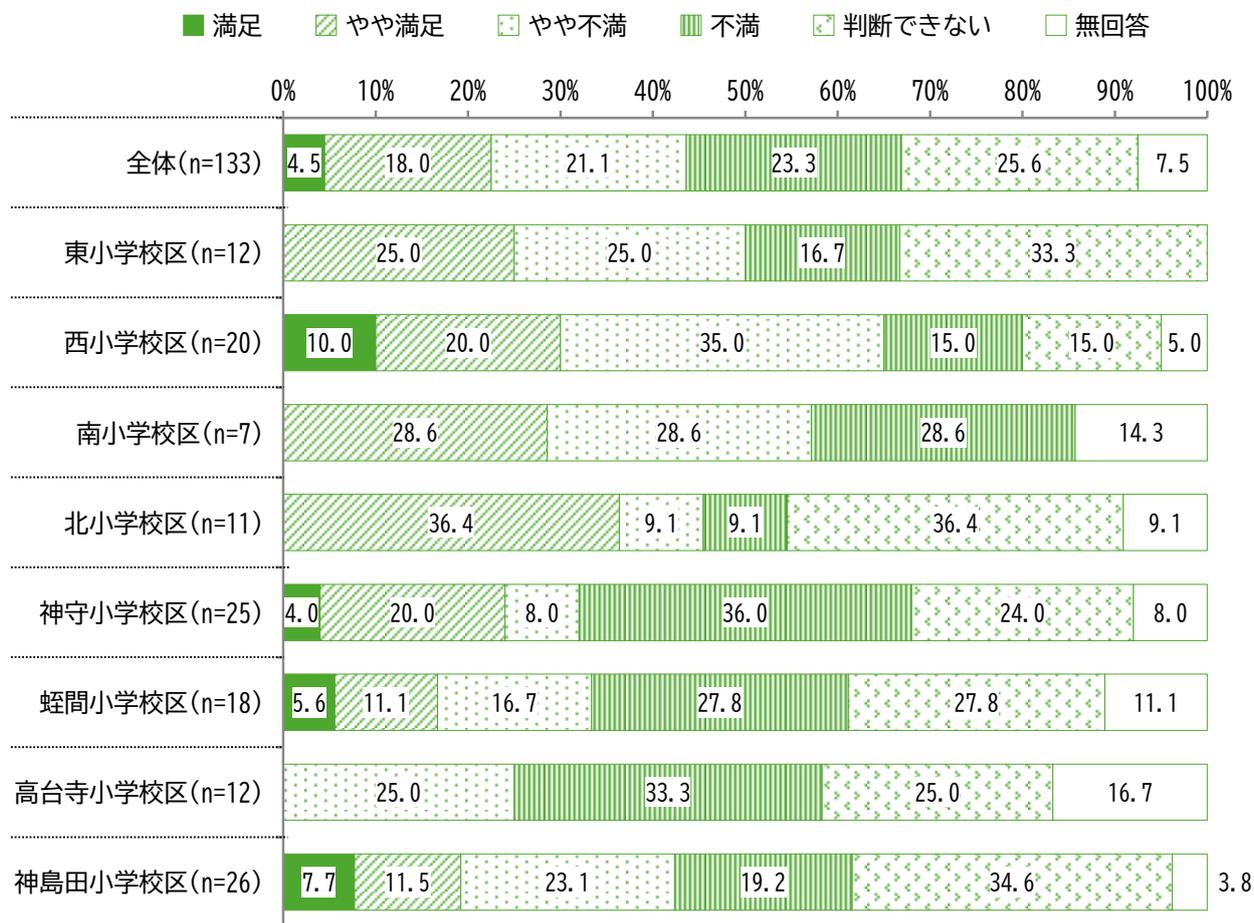
➤ 「不満」を小学校別で見ると、高台寺小学校区が 41.7%と最も高く、次いで東小学区・蛭間小学校区が 33.3%、神島田小学校区が 30.8%となっている。

図 小学校区×満足度（バスの運賃）



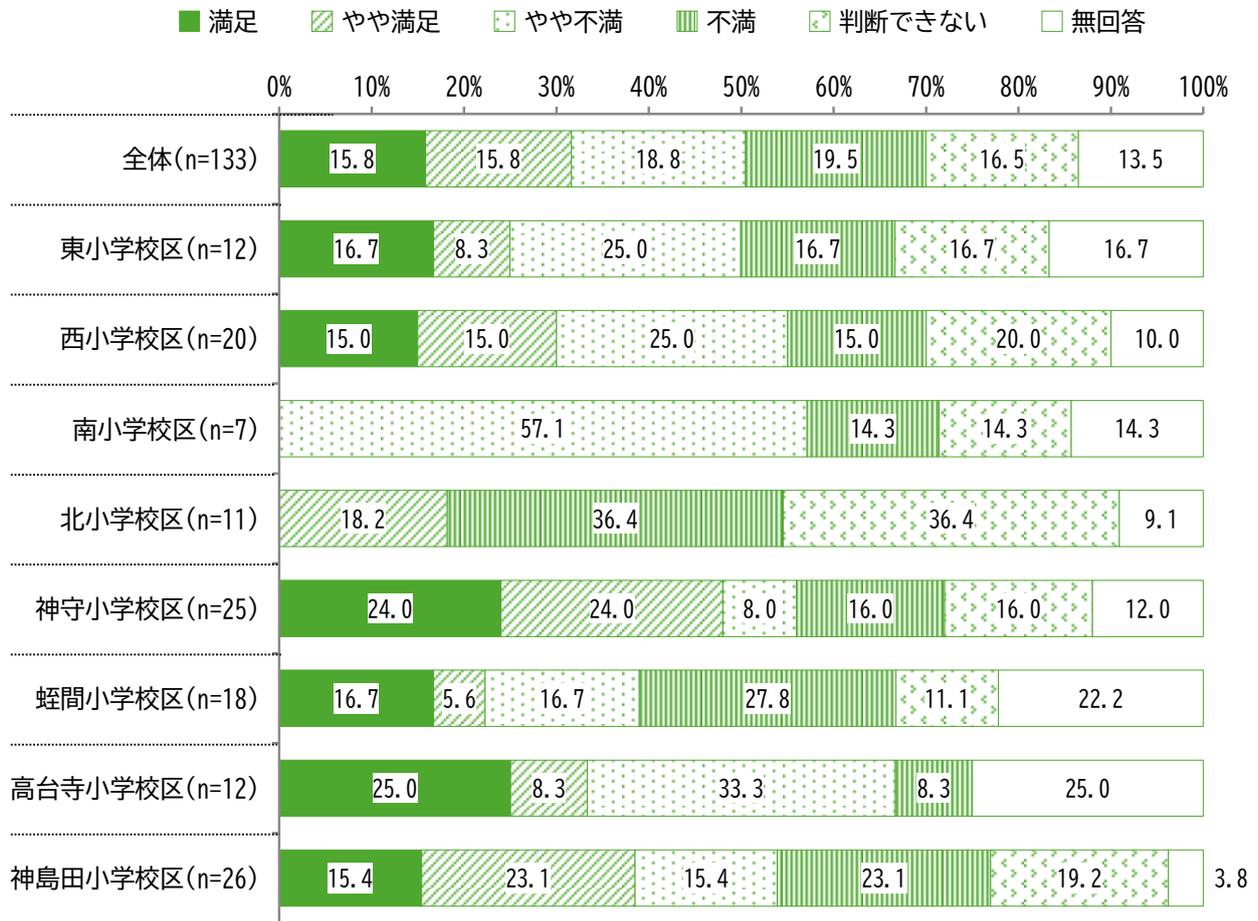
➤ 「不満」を小学校区別で見ると、南小学校区が 28.6%と最も高く、次いで東小学区が 16.7%、神島田小学校区が 15.4%となっている。

図 小学校区×満足度 (バスの運行ルート)



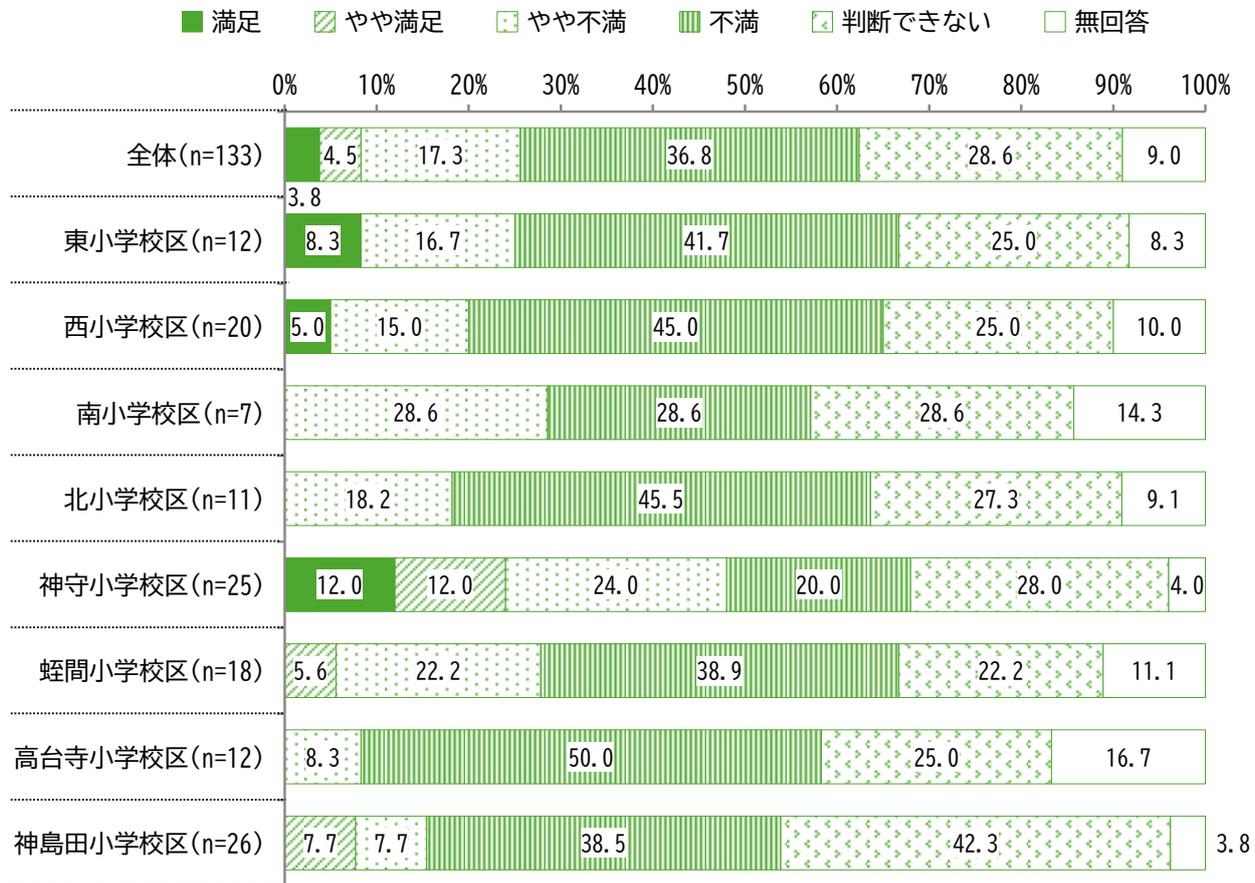
➤ 「不満」を小学校区別で見ると、神守小学校区で 36.0%と最も高く、次いで高台寺小学校区が 33.3%、南小学校区が 28.6%となっている。

図 小学校区×満足度（鉄道や他のバスへの乗り継ぎ）



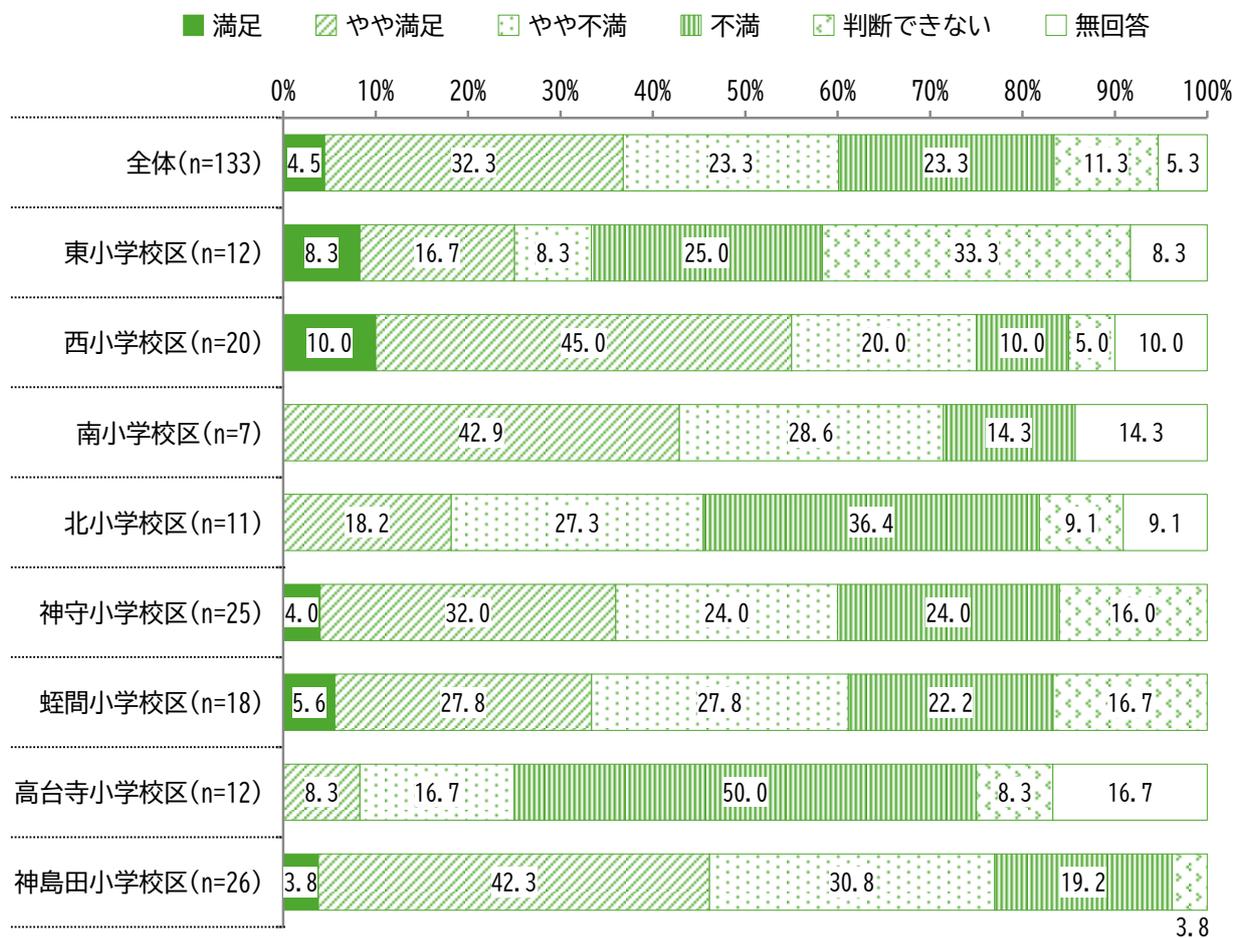
➤ 「不満」を小学校区別で見ると、北小学校区が 36.4%と最も高く、次いで蛭間小学校区が 27.8%、神島田小学校区が 23.1%となっている。

図 小学校区×満足度（バスの運行ダイヤの正確さ）



➤ 「不満」を小学校区別で見ると、高台寺小学校区が 50.0%と最も高く、次いで北小学校区が 45.2%、西小学校区が 45.0%となっている。

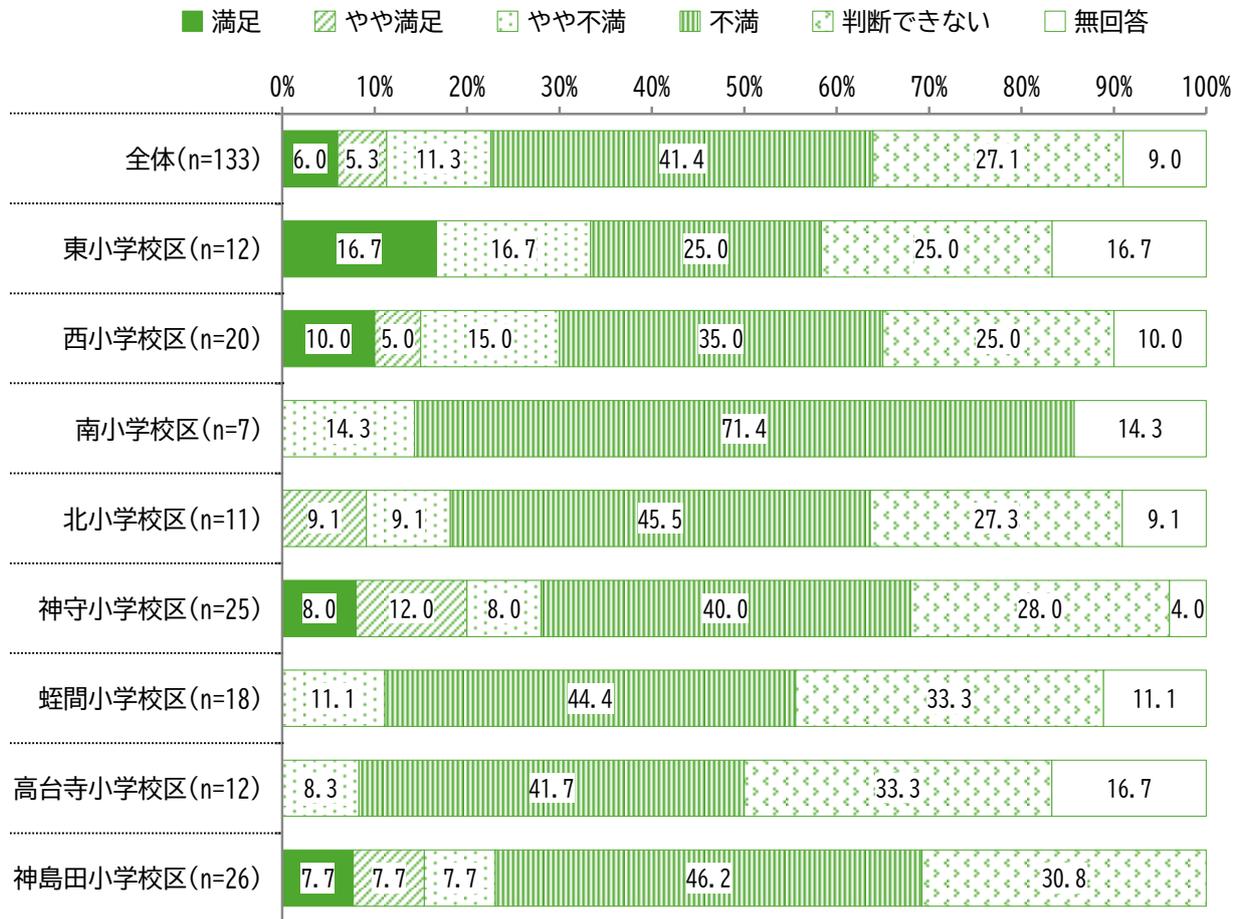
図 小学校区×満足度（バスの運行時間帯）



➤ 「不満」を小学校区別で見ると、高台寺小学校区が 50.0%と最も高く、次いで北小学校区が 36.4%、東小学区が 25.0%となっている。

小学校区×問 2-3 満足度（バス利用時のわかりやすさ(運行案内など)）

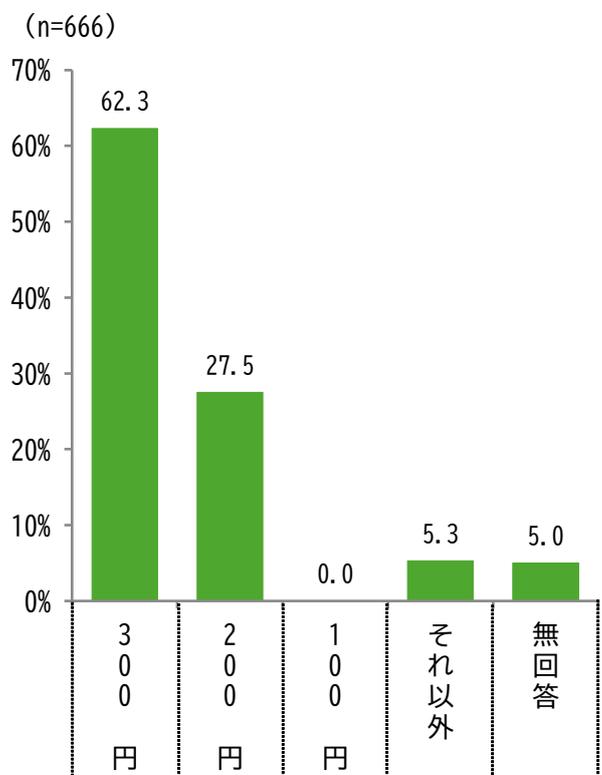
図 小学校区×満足度（バス利用時のわかりやすさ）



➤ 「不満」を小学校区別で見ると、南小学校区が 71.4%と最も高く、次いで神島田小学校区が 46.2%、北小学校区が 45.5%となっている。

問 2-4 ふれあいバスの運賃（大人）は、いくらまでなら乗ろうと思いますか。

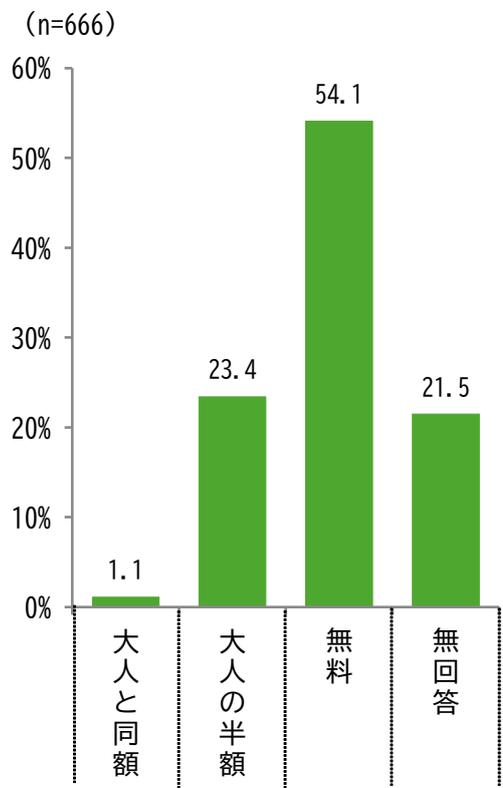
図 ふれあいバスの運賃(大人)



➤ 全体では、「300円」が62.3%で最も多く、次いで「200円」が27.5%、「その他」が5.3%となっている。

問 2-4 ふれあいバスの運賃（小学生以下）は、いくらまでなら乗ろうと思いますか。

図 ふれあいバスの運賃(小学生以下)

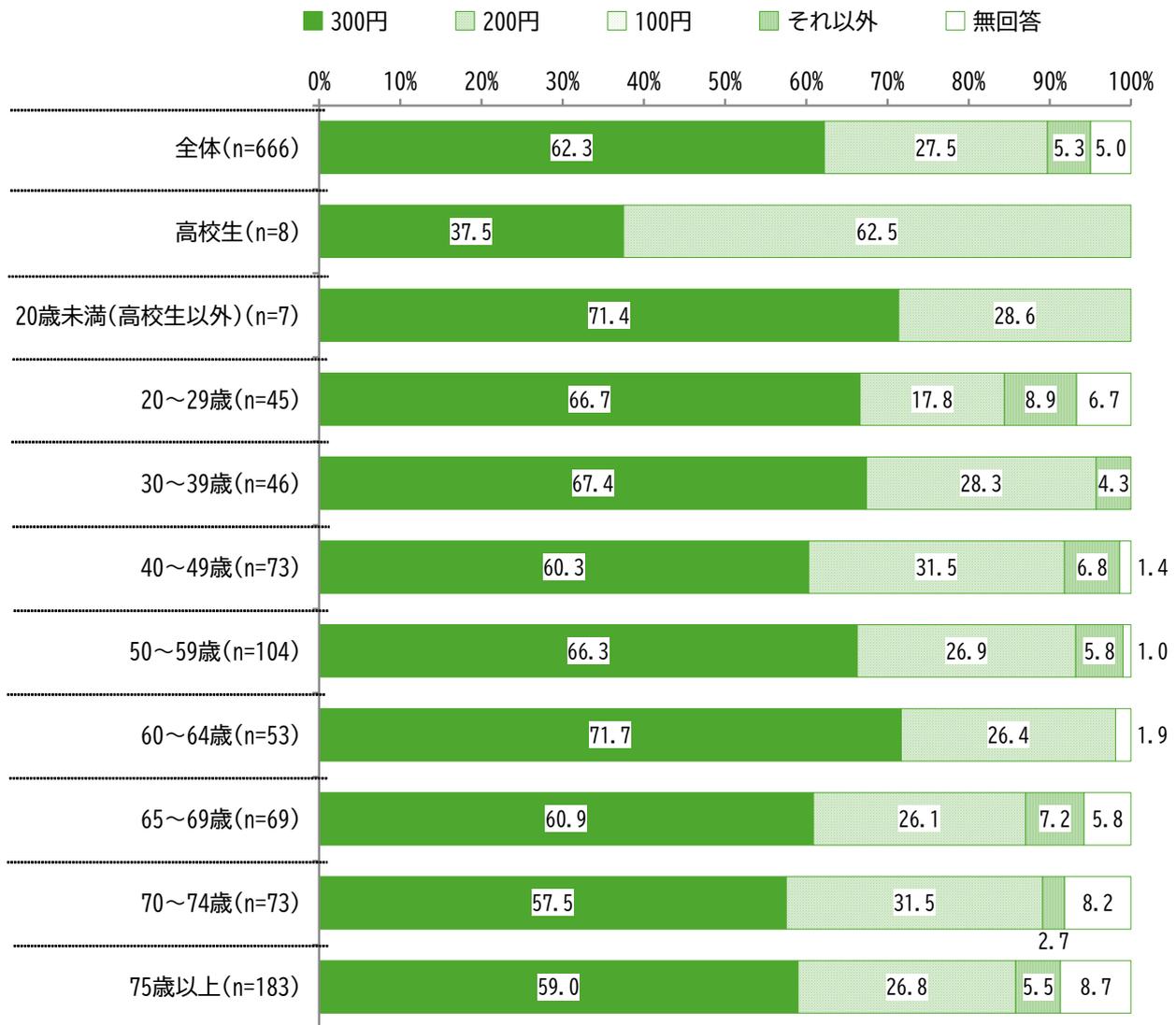


➤ 全体では、「無料」が 54.1%で最も多く、次いで「大人の半額」が 23.4%、「大人と同額」が 1.1%となっている。

年齢×問 2-4 ふれあいバスの運賃（大人）は、いくらまでなら乗ろうと思いますか。

◆全体としては 300 円が多いものの、高校生は 200 円が多い。

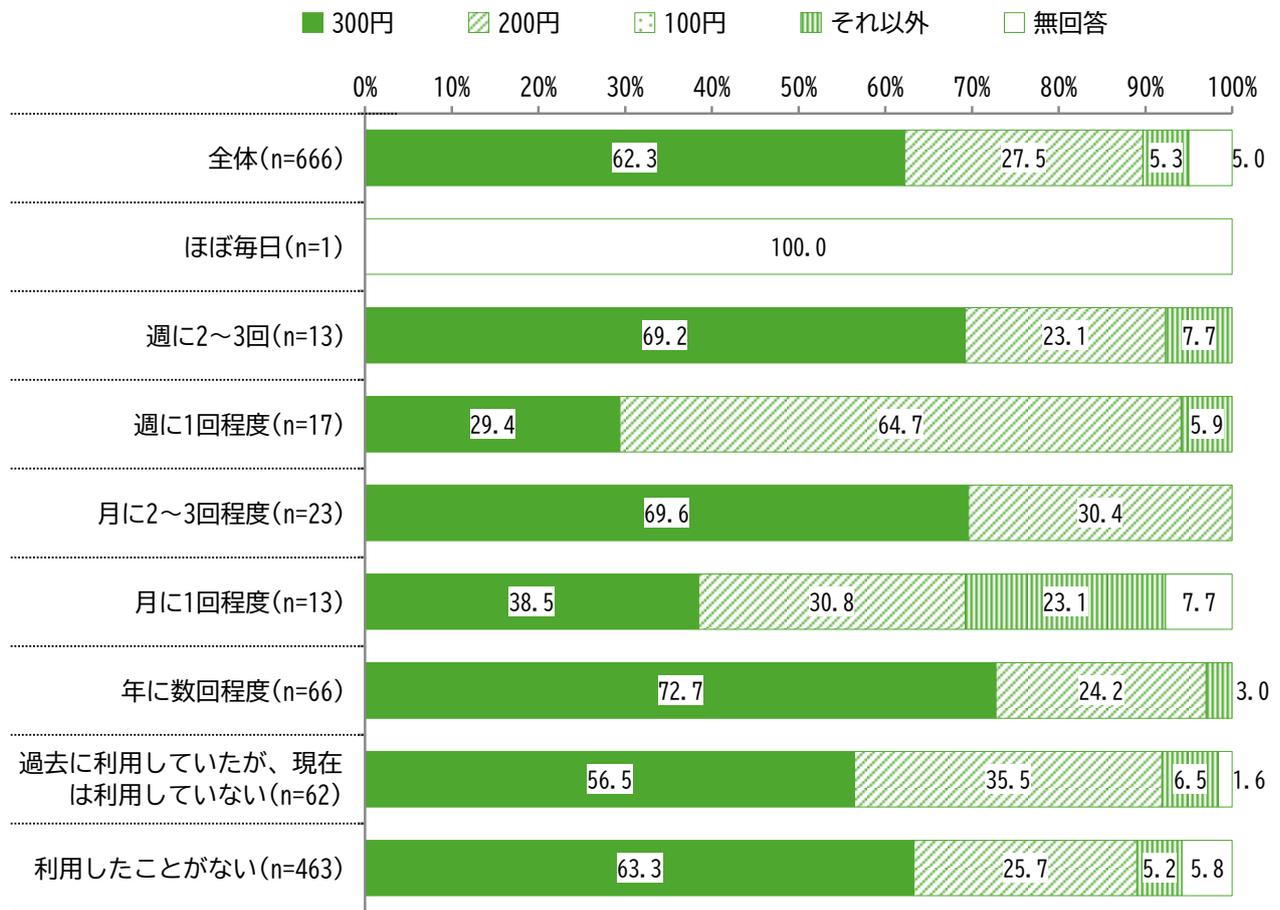
図 年齢×ふれあいバスの運賃(大人)



- 年齢別で見ると、20歳未満(高校生以外)では「300円」が71.4%、「200円」が28.6%となっている。
- 20～29歳では「300円」が66.7%、「200円」が17.8%となっている。
- 30～39歳では「300円」が67.4%、「200円」が28.3%となっている。
- 40～49歳では「300円」が60.3%、「200円」が31.5%となっている。
- 50～59歳では「300円」が66.3%、「200円」が26.9%となっている。
- 60～64歳では「300円」が71.7%、「200円」が26.4%となっている。
- 65～69歳では「300円」が60.9%、「200円」が26.1%となっている。
- 70～74歳では「300円」が57.5%、「200円」が31.5%となっている。
- 75歳以上では「300円」が59.0%、「200円」が26.8%となっている。

利用頻度×問 2-4 ふれあいバスの運賃（大人）は、いくらまでなら乗ろうと思いますか。

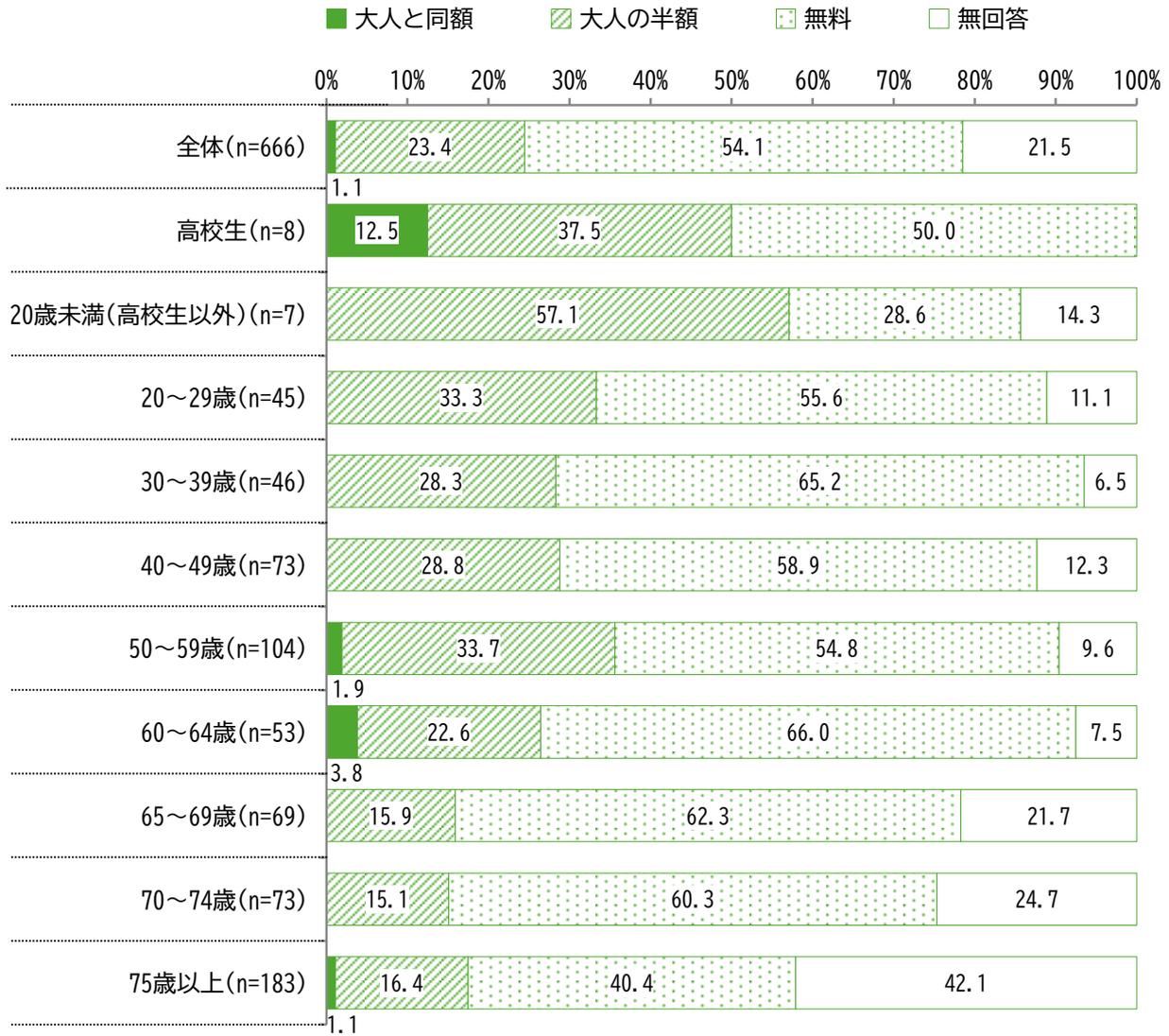
図 利用頻度×ふれあい運賃(大人)



- 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「300円」が63.3%、「200円」が25.7%となっている。
- 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「現在利用している」と回答した人では、「300円」が62.4%、「200円」が30.8%となっている。
- ふれあいバスを利用している、利用したことがないにかかわらず、運賃の許容範囲としては300円が多い。

年齢×問2-4 ふれあいバスの運賃（小学生以下）は、いくらまでなら乗ろうと思いますか。

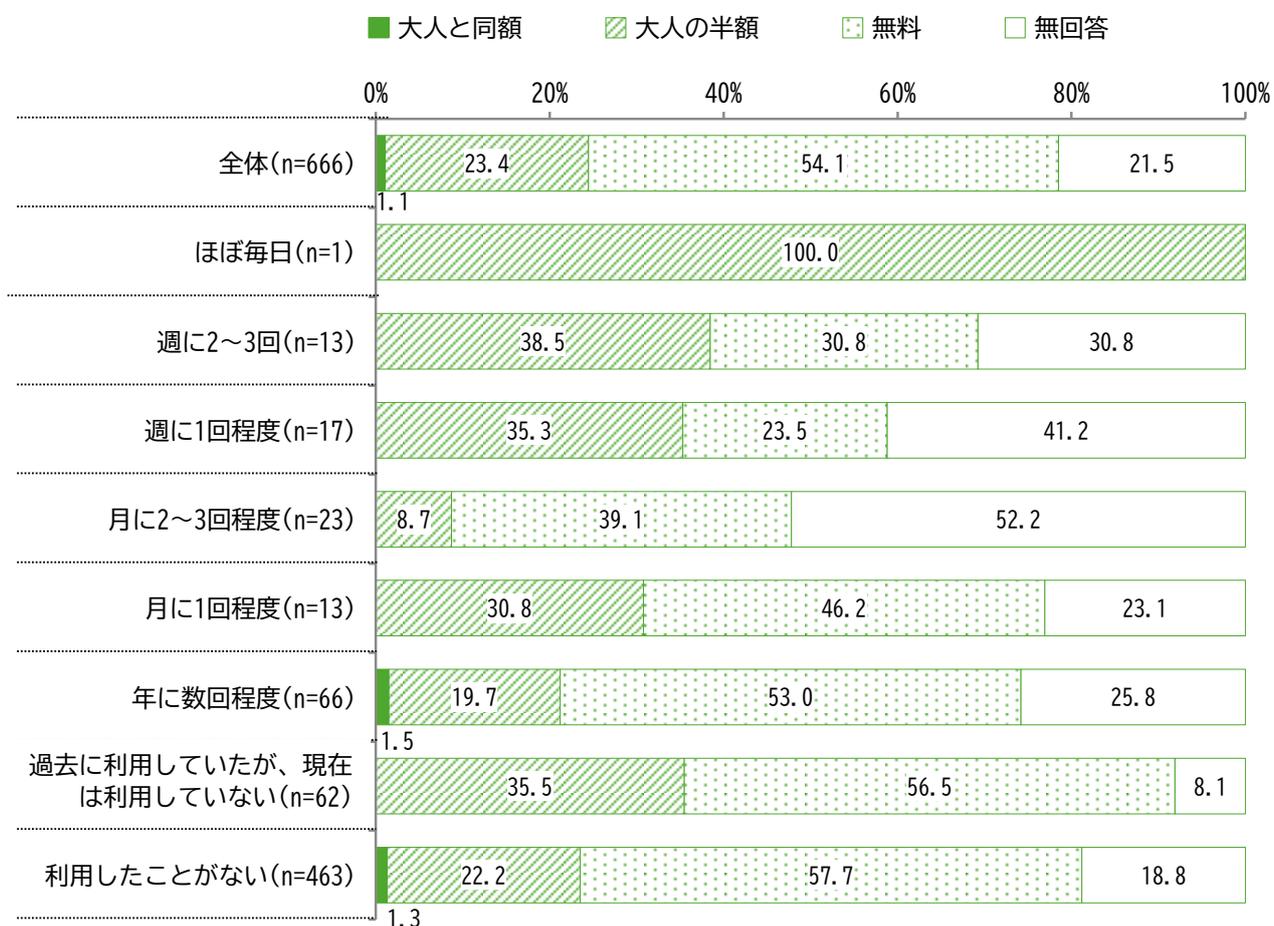
図 年齢×ふれあいバスの運賃(小学生以下)



- 年齢別で見ると、20歳未満(高校生以外)では「大人の半額」が57.1%、「無料」が28.6%となっている。
- 20～29歳では「無料」が55.6%、「大人の半額」が33.3%となっている。
- 30～39歳では「無料」が65.2%、「大人の半額」が28.3%となっている。
- 40～49歳では「無料」が58.9%、「大人の半額」が28.8%となっている。
- 50～59歳では「無料」が54.8%、「大人の半額」が33.7%となっている。
- 60～64歳では「無料」が66.0%、「大人の半額」が22.6%となっている。
- 65～69歳では「無料」が62.3%、「大人の半額」が15.9%となっている。
- 70～74歳では「無料」が60.3%、「大人の半額」が15.1%となっている。
- 75歳以上では「無料」が40.4%、「大人の半額」が16.4%となっている。

利用頻度×問 2-4 ふれあいバスの運賃（小学生以下）は、いくらまでなら乗ろうと思いますか。

図 利用頻度×ふれあいバスの運賃(小学生以下)

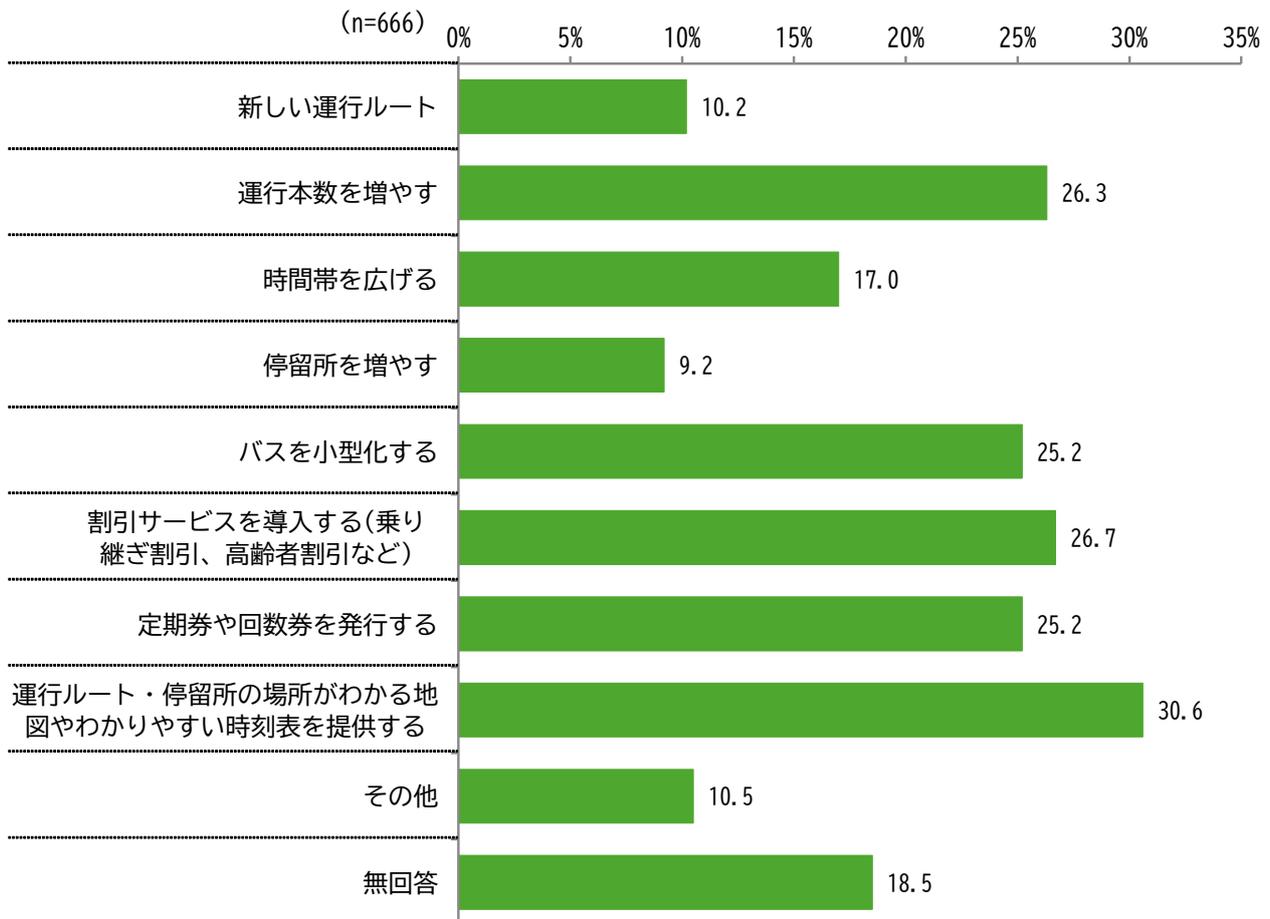


- 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「無料」が57.7%、「大人の半額」が22.2%となっている。
- 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがある」と回答した人では、「無料」が43.6%、「大人の半額」が23.3%となっている。

問 2-5 あなた自身がふれあいバスを利用するために効果的だと思う取り組みを 3 つまで選んでください。

◆「運行ルート・停留所の場所がわかる地図やわかりやすい時刻表を提供する」が最も多い。

図 効果的だと思う取り組み



➤ 全体では、「運行ルート・停留所の場所がわかる地図やわかりやすい時刻表を提供する」が 30.6%で最も多く、次いで「割引サービスを導入する(乗り継ぎ割引、高齢者割引など)」が 26.7%、「運行本数を増やす」が 26.3%となっている。

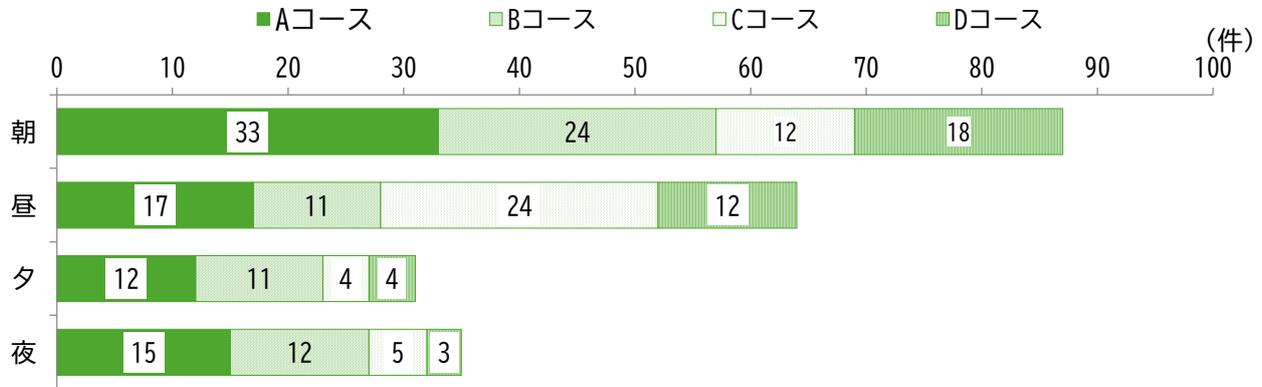
◆津島駅や青塚駅からの出発、蟹江駅などJRや近鉄の駅への移動といった意見が多くみられた。

JR永和駅から近鉄富吉駅まで	青塚駅から蟹江駅まで
カネスエ津島店から津島駅まで	青塚駅から津島駅まで
カネスエ津島店から愛西市役所まで	青塚駅からJR蟹江駅まで
みどり台から永和駅	青塚駅から大坪まで
ヨシヅヤ本店からJR蟹江駅まで	青塚駅から天王川公園
愛宕6・7・8・9から津島駅まで	青塚駅からヨシヅヤ本店まで
愛宕町3丁目からヨシヅヤ本店・津島駅	青塚団地から津島駅まで
愛宕町5丁目から愛宕町6丁目	青塚町から名古屋駅まで
愛宕町から元寺町まで	大縄町3丁目から津島駅まで
永和駅から富吉駅まで	津島から名古屋まで
永和駅から文化会館まで	津島駅からカネスエ方面
駅から病院(大・小)、個人病院まで	津島駅からの海南病院まで
海南病院まで	津島駅から愛西市役所まで
各コース(市役所)から海南病院	津島駅から安藤病院まで
喜楽住宅から	津島駅から永楽町廻まで
喜楽町から	津島駅から近鉄富吉駅まで
橘町4丁目から永和駅まで	津島駅から市民病院まで
橘町から津島駅まで	津島駅から神社まで
個人病院付近から個人病院付近まで	津島駅から大坪まで
江東町マックスバリュに近いルート	津島駅から津島神社
高台寺町から蟹江駅・青塚駅まで	津島駅から津島神社前・天王川公園前まで
市役所からカネスエまで	津島駅から天王川公園まで
昭和町からヨシヅヤ本店まで	津島駅から天王川公園・津島神社まで
神守・白浜から青塚駅まで	津島駅から富吉駅まで
神守・高台寺小学校区からJR・近鉄蟹江まで	津島駅から名鉄の次の駅まで
神守町から青塚駅まで	津島駅から弥富駅あるいは永和駅まで
神守町から図書館まで	津島市市役所から津島駅裏まで
神島田から永和駅経由富吉駅まで	津島東高校から青塚駅南口まで
百町バス停からJR蟹江駅まで	天王通から市民病院まで
百島からカネスエ愛宕店まで	唐臼住宅前から永和駅まで
文化会館からヨシヅヤ本店まで	唐臼町辺りから富吉駅まで
文化会館から喜楽町へ入る橋まで	南本町から寺前町まで
名鉄バスセンターからJR蟹江駅まで	南本町からカネスエまで
名鉄バスのバス停付近を増やして欲しい	日光から青塚駅
葉苧町北町から奥村医院まで	白浜町から蟹江駅まで
錬成館から駅まで	老松町から市民病院(直行)まで

運行本数を増やす

◆運行本数の増加希望としては、Aコースの朝が最も多く、次いでBコースの朝、Cコースの昼となっている。

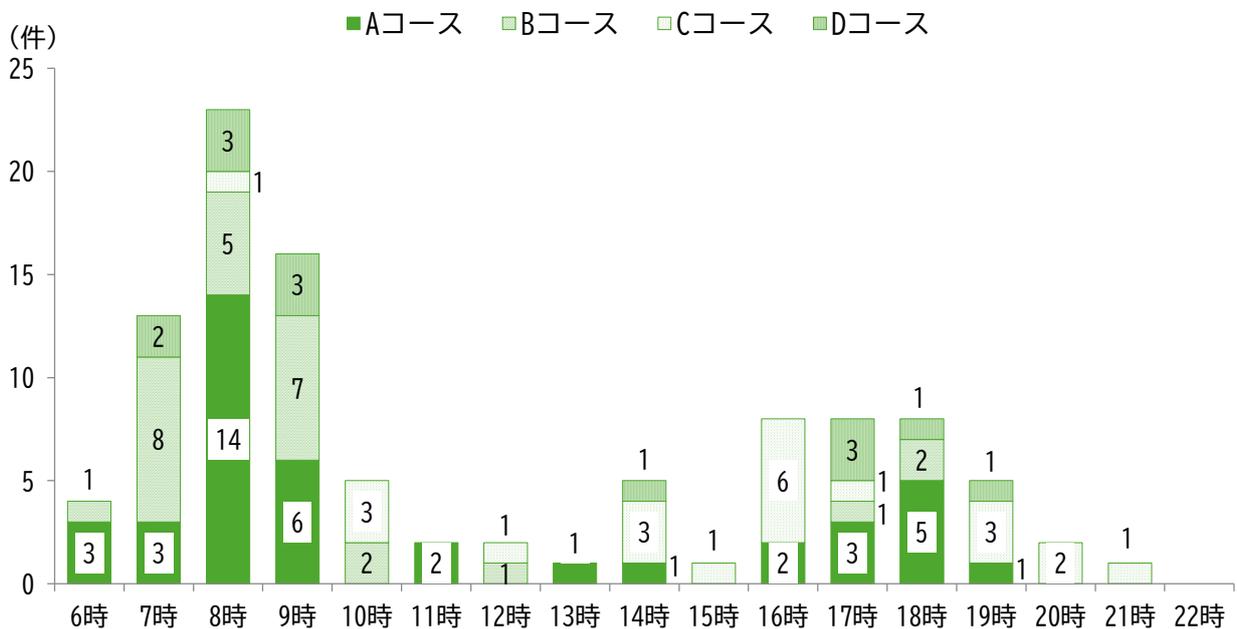
図 運行本数を増やす



時間帯を広げる (運行開始時間帯)

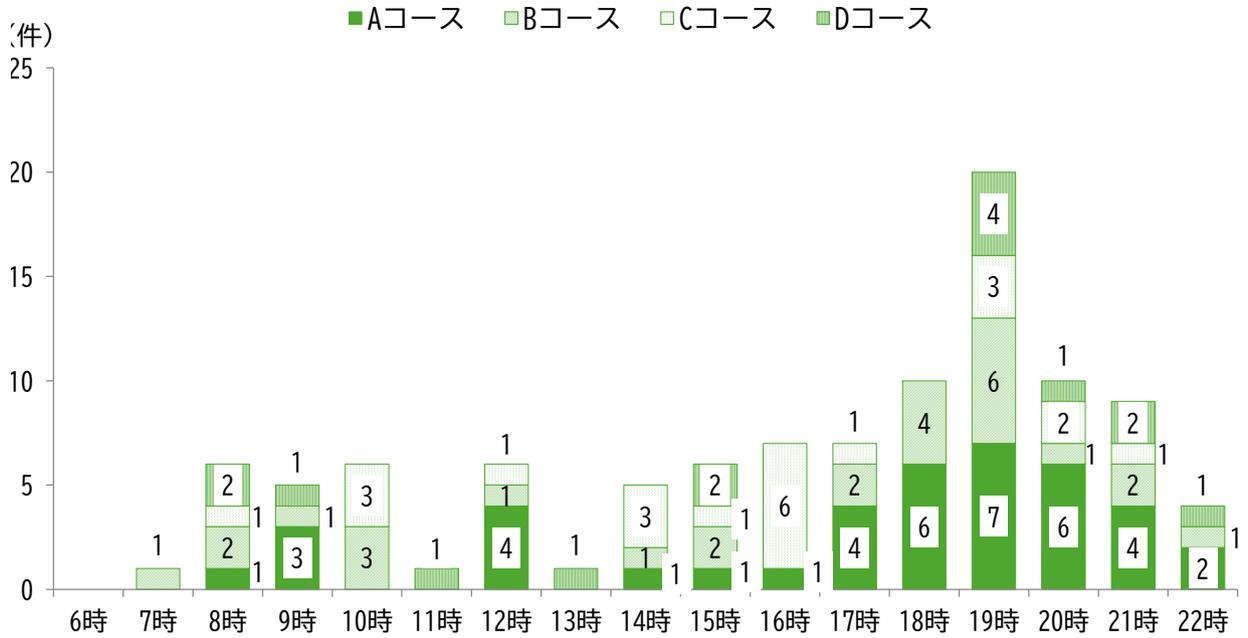
◆運行開始時間帯の拡大は、Aコースの8時が最も多い。

図 時間帯を広げる (運行開始時間帯)



◆運行終了時間帯の拡大は、Aコースの19時が最も多い。

図 時間帯を広げる（運行終了時間帯）



停留所を増やす

◆カネスエや愛宕町内、市民病院などの意見がみられた。

名称	件数	名称	件数
カネスエ	4	喜楽橋	1
愛宕町内	3	橋町1丁目	1
市民病院	3	近鉄蟹江駅	1
天王川公園	3	県営唐臼住宅前	1
葉苺町	3	古川町内	1
ヨシヅヤ本店	2	寿町	1
生涯学習センター	2	寿町の教会	1
東公園	2	神守	1
JR蟹江駅	1	西愛宕町内	1
かつや	1	大縄町中野理容店	1
コスモス	1	大木町	1
セブンイレブン	1	津島高校	1
マックスバリュ津島江西店	1	津島神社	1
ヤマナカ(蛭間)	1	天王通1丁目1番地	1
ライオンズマンション	1	天王道り5丁目内	1
らく楽菓子舗	1	唐臼住宅前	1
ワークマン愛宕	1	祢宜町	1
宇治町	1	半頭町	1
永楽町	1	富吉	1

その他

◆容易な乗り継ぎや反対周りのルートの設定、運行本数の増加などの意見が
みられた。

155号より西への運行。
155号線より西側、大縄町上新田下新田町までバス路線を増やす。
Cコース1本目の時間帯が津島東高校の生徒が利用できる時間なら問題ない。
乗ってから30分以内に駅に着くようにする。
コースの反対回りの運行があるとよい。
往復運行。
逆方向ルートも作ってほしい。
バスの車体にスポンサー広告をつける。
もっと本数も増やしてほしい。愛宕町3丁目～4丁目も走ってほしい。
ルートを短くして本数を増やす。
各町内から市民病院までの本数を増やす。
青塚駅へ徒歩や自転車で行くことがあります。荷物が大きいときに、雨天のときに、バスに乗れるとありがたい。青塚駅行きを増便してください。
全体の運行本数を増やす。
名鉄バス11時～14時まで1時間に1本だから本数増やして欲しいと思います。
運行ルートのみ決めて、バス停は特に決めない(自由に乗降)。
駅を中心に、短距離、短時間で利用できるようにする。コースを増やし、バスではなく8人乗りのワンボックスカーにして、小回りのきくようにする。
各コースの乗り継ぎを短縮させる。
乗り継ぎしやすいダイヤ。
乗り継ぎなく、主要な所(図書館、病院、市役所等)に行けるようにする。
交通系ICカードが使用できるようになれば便利。
manaが利用できるとよい。
定額の年間パスを発行する。
あと何分で着くのか到着時間がわかるようなもの。
新幹線の座席のような、荷物が置けるスペースがあると、買い物に利用しやすいのでは。
足の不自由な人や歩行困難者に対する配慮。
代替タクシーがあるとよい。
台数を増やす。
大型スーパー、モール等に駅から運行。週に1回でも。
津島駅から天王通を通過、池須を通り、又吉の交差点を曲がって津島郵便局の前を通過、津島駅に戻る。
津島神社→津島観光交流センター→津島駅→津島市民病院ルートが欲しいです。
日曜日運行していると思う。
JRや近鉄の駅に回るルートが必要
あま市もJR蟹江駅に乗り入れている。高台寺校区はJR蟹江駅利用者が多い。ヨシヅヤ本店のバス停はヨシヅヤ敷地内通路に乗り入れできないか。
愛西市、あま市等との提携(相互乗入)。
隣接市町等とのバス形成。メーカー統一等でコスト低減協力。

利用頻度×問 2-5 あなた自身がふれあいバスを利用するために効果的だと思う取り組みを 3 つまで選んでください。

◆利用したことがない人が考える効果的だと思う取り組みは、「運行ルート・停留所の場所がわかる地図やわかりやすい時刻表を提供する」が最も多い。

図 利用頻度×効果的だと思う取り組み

		全体	新しい運行ルート	運行本数を増やす	時間帯を広げる	停留所を増やす	バスを小型化する	割引サービスを導入する(乗り継ぎ割引、高齢者割引など)	定期券や回数券を発行する	運行ルート・停留所の場所がわかる地図やわかりやすい時刻表を提供する	その他	無回答
全体		666	68	175	113	61	168	178	168	204	70	123
		100.0	10.2	26.3	17.0	9.2	25.2	26.7	25.2	30.6	10.5	18.5
問 2-1 教えてください。ふれあいバスの利用頻度を(1つ選択)	ほぼ毎日	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-
		100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
	週に2~3回	13	1	11	9	1	-	2	2	3	2	-
		100.0	7.7	84.6	69.2	7.7	-	15.4	15.4	23.1	15.4	-
	週に1回程度	17	4	14	10	1	3	5	2	1	3	1
		100.0	23.5	82.4	58.8	5.9	17.6	29.4	11.8	5.9	17.6	5.9
	月に2~3回程度	23	5	14	12	4	3	3	2	3	3	2
		100.0	21.7	60.9	52.2	17.4	13.0	13.0	8.7	13.0	13.0	8.7
	月に1回程度	13	2	5	5	1	3	1	2	4	3	3
		100.0	15.4	38.5	38.5	7.7	23.1	7.7	15.4	30.8	23.1	23.1
年に数回程度	66	11	27	20	5	16	16	7	12	5	14	
	100.0	16.7	40.9	30.3	7.6	24.2	24.2	10.6	18.2	7.6	21.2	
過去に利用していたが、現在は利用していない	62	7	18	10	7	17	20	18	16	4	10	
	100.0	11.3	29.0	16.1	11.3	27.4	32.3	29.0	25.8	6.5	16.1	
利用したことがない	463	37	82	44	42	124	130	134	164	47	92	
	100.0	8.0	17.7	9.5	9.1	26.8	28.1	28.9	35.4	10.2	19.9	

➤ 問 2-1「ふれあいバスの利用頻度を教えてください。」の質問に「利用したことがない」と回答した人では、「運行ルート・停留所の場所がわかる地図やわかりやすい時刻表を提供する」が 35.4%で最も多く、次いで「定期券や回数券を発行する」が 28.9%、「割引サービスを導入する(乗り継ぎ割引、高齢者割引など)」が 28.1%となっている。

年齢×問 2-5 あなた自身がふれあいバスを利用するために効果的だと思う取り組みを3つまで選んでください。

図 年齢×効果的だと思う取り組み

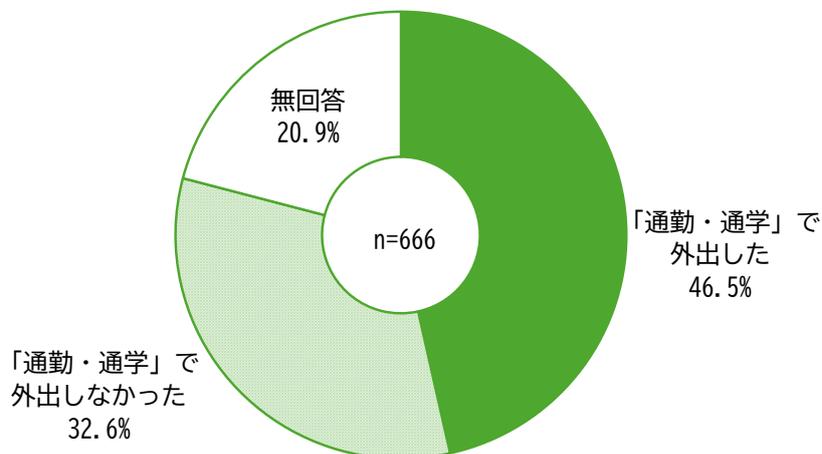
		全体	新しい運行ルート	運行本数を増やす	時間帯を広げる	停留所を増やす	バスを小型化する	割引サービスを導入する (乗り継ぎ割引、高齢者割引など)	定期券や回数券を発行する	運行ルート・停留所の場所がわかる地図やわかりやすい時刻表を提供する	その他	無回答
全体		666 100.0	68 10.2	175 26.3	113 17.0	61 9.2	168 25.2	178 26.7	168 25.2	204 30.6	70 10.5	123 18.5
問1 ② 年齢	高校生	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	-	2 25.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	3 37.5
	20歳未満(高校生以外)	7 100.0	1 14.3	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3
	20～29歳	45 100.0	3 6.7	10 22.2	8 17.8	1 2.2	7 15.6	13 28.9	16 35.6	10 22.2	-	10 22.2
	30～39歳	46 100.0	3 6.5	9 19.6	6 13.0	4 8.7	8 17.4	5 10.9	14 30.4	18 39.1	1 2.2	10 21.7
	40～49歳	73 100.0	9 12.3	16 21.9	10 13.7	4 5.5	9 12.3	11 15.1	17 23.3	27 37.0	7 9.6	19 26.0
	50～59歳	104 100.0	6 5.8	24 23.1	18 17.3	9 8.7	24 23.1	27 26.0	27 26.0	31 29.8	15 14.4	19 18.3
	60～64歳	53 100.0	5 9.4	12 22.6	11 20.8	5 9.4	15 28.3	18 34.0	18 34.0	18 34.0	8 15.1	5 9.4
	65～69歳	69 100.0	8 11.6	19 27.5	9 13.0	10 14.5	21 30.4	24 34.8	19 27.5	25 36.2	6 8.7	8 11.6
	70～74歳	73 100.0	8 11.0	16 21.9	8 11.0	5 6.8	24 32.9	22 30.1	19 26.0	19 26.0	9 12.3	12 16.4
	75歳以上	183 100.0	24 13.1	64 35.0	41 22.4	22 12.0	59 32.2	56 30.6	34 18.6	50 27.3	21 11.5	32 17.5

➤ 概ねどの年齢層も、「運行ルート・停留所の場所がわかる地図やわかりやすい時刻表を提供する」と回答した人が多い。

3. あなたの通勤・通学状況等についてお聞きします。

問 3-1 最近1か月に、「通勤・通学」で外出しましたか。

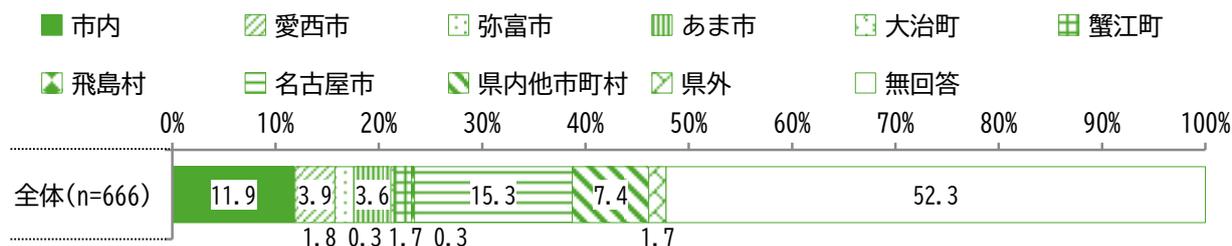
図 「通勤・通学」による外出



- 全体では、「通勤・通学」で外出した」が 46.5%、「通勤・通学」で外出しなかった」が 32.6%となっている。

問 3-2 「通勤・通学」でよく行く方面はどこですか。(1つ選択)

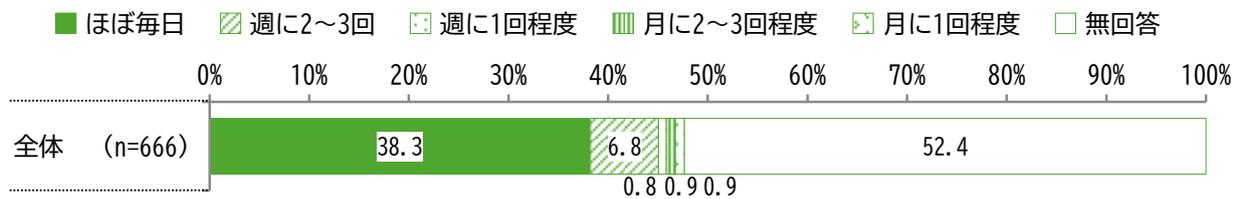
図表 「通勤・通学」でよく行く方面



- 全体では、「名古屋市」が 15.3%で最も多く、次いで「市内」が 11.9%、「県内他市町村」が 7.4%となっている。

問 3-3 「通勤・通学」で外出する頻度を教えてください。(1つ選択)

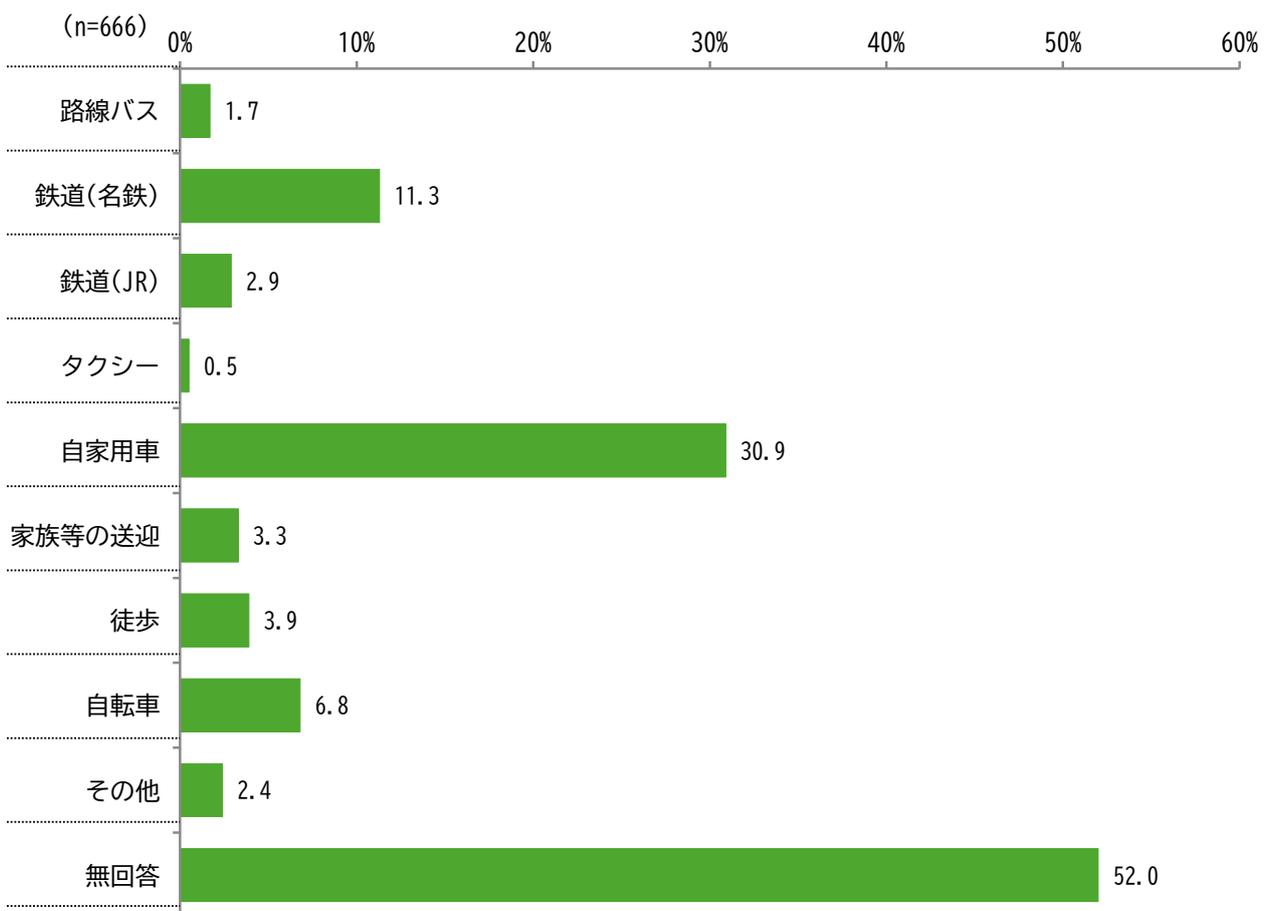
図 「通勤・通学」での外出頻度



➤ 全体では、「ほぼ毎日」が 38.3%で最も多く、次いで「週に 2~3 回」が 6.8%、「月に 2~3 回程度」「月に 1 回程度」が 0.9%となっている。

問 3-4 現在、「通勤・通学」で利用している移動手段は何ですか。(複数選択可)

図 「通勤・通学」での移動手段



➤ 全体では、「自家用車」が 30.9%で最も多く、次いで「鉄道(名鉄)」が 11.3%、「自転車」が 6.8%となっている。

J R 蟹江駅及び津島駅へのニーズ分析

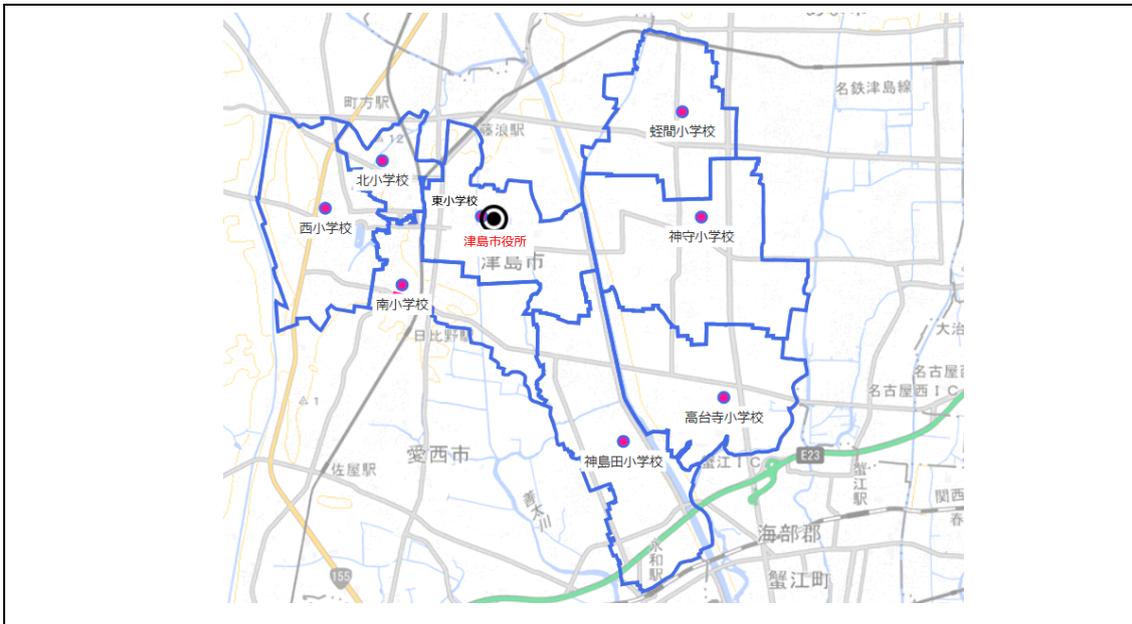
問 3-2 (移動方面) × 問 3-4 (移動手段) × 問 1③ (お住まい)

J R 蟹江駅及び津島駅へのニーズ分析には、移動方面が名古屋市と回答している人を対象に、移動手段とお住まいのクロス集計を実施。

◆津島市の南エリアの居住者は、現在自家用車を利用している人が多い。

図 移動手段×お住まい(通勤・通学で行く方面が名古屋市の人)

通勤・通学で行く方面が名古屋市	全 体	東小学校区	西小学校区	南小学校区	北小学校区	神守小学校区	蛭間小学校区	高台寺小学校区	神島田小学校区
全 体	97 100.0	13 13.4	13 13.4	11 11.3	15 15.5	11 11.3	9 9.3	9 9.3	16 16.5
問 3-4 移動手段は現在、 「通勤・通学」で 利用している か。(複数選択可)	路線バス	6 100.0	1 16.7	- -	- -	- -	3 50.0	1 16.7	1 16.7
	鉄道(名鉄)	51 100.0	8 15.7	8 15.7	8 15.7	13 25.5	6 11.8	6 11.8	2 3.9
	鉄道(JR)	13 100.0	1 7.7	- -	1 7.7	1 7.7	- -	- -	2 53.8
	タクシー	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	自家用車	38 100.0	3 7.9	6 15.8	2 5.3	3 7.9	6 15.8	3 7.9	8 21.1
	家族等の送迎	9 100.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2	- -	1 11.1	2 22.2	- -
	徒歩	10 100.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	- -	2 20.0	- -
	自転車	17 100.0	1 5.9	3 17.6	2 11.8	4 23.5	- -	1 5.9	1 29.4
	その他	10 100.0	3 30.0	- -	- -	1 10.0	1 10.0	- -	- -

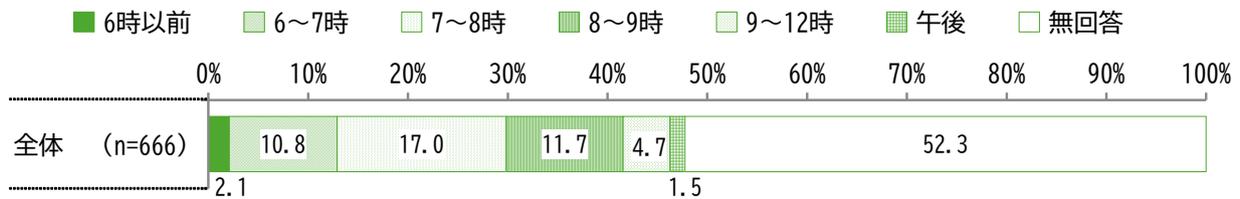


- 現在名鉄を利用している人は、北小学校区が多く、他の小学校区に住んでいる人もややみられた。
- 現在 JR を利用している人は、神島田小学校区でややみられた。

問 3-5 現在、「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。(1つ選択)

◆出発する時間帯は、7～8時が最も多い。

図 出発時間帯

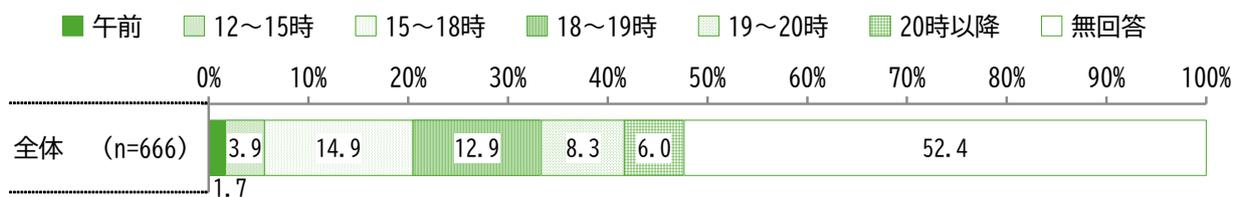


▶ 全体では、「7～8時」が17.0%で最も多く、次いで「8～9時」が11.7%、「6～7時」が10.8%となっている。

問 3-6 現在、「通勤・通学」で帰宅する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。(1つ選択)

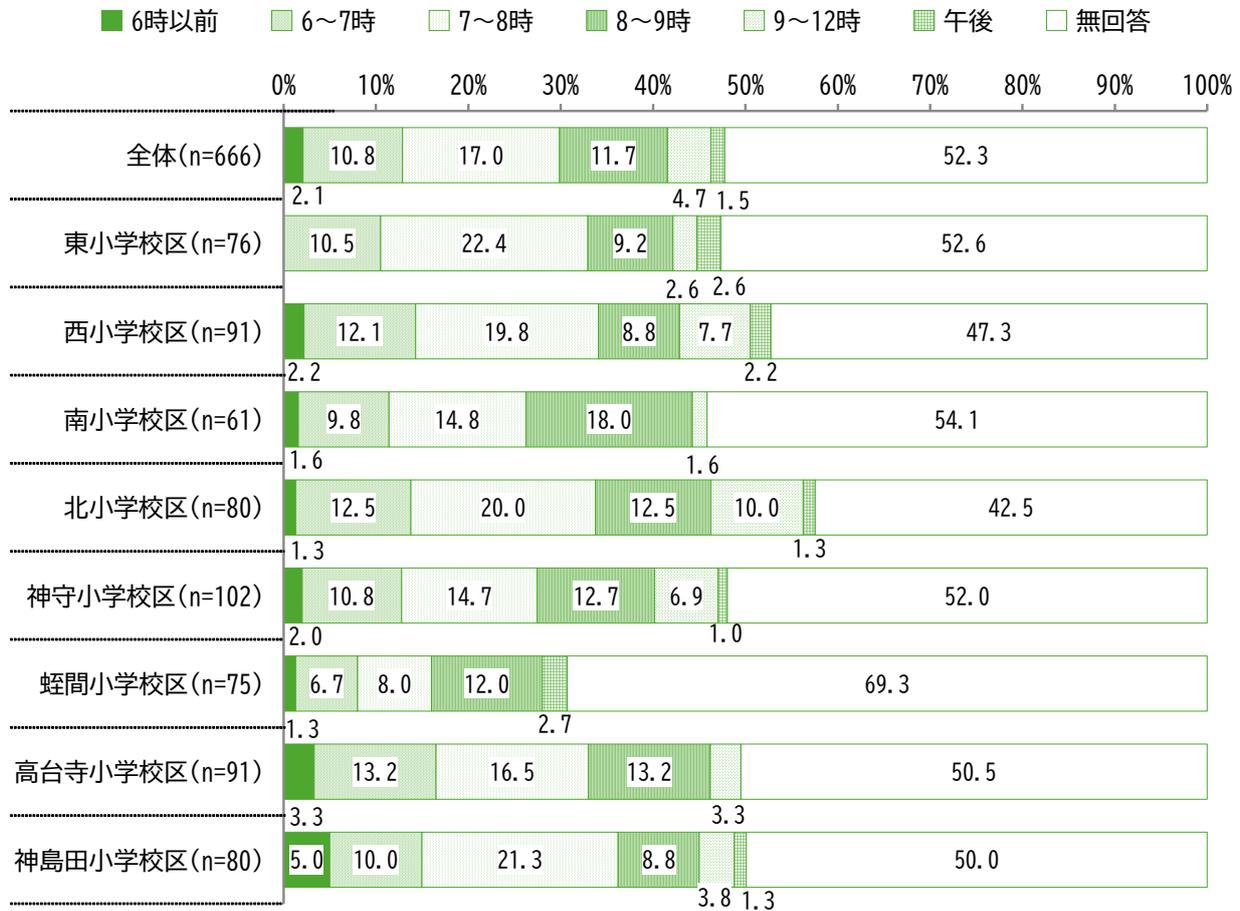
◆帰宅する時間帯は15～18時が最も多く、次いで18～19時となっている。

図 帰宅時間帯



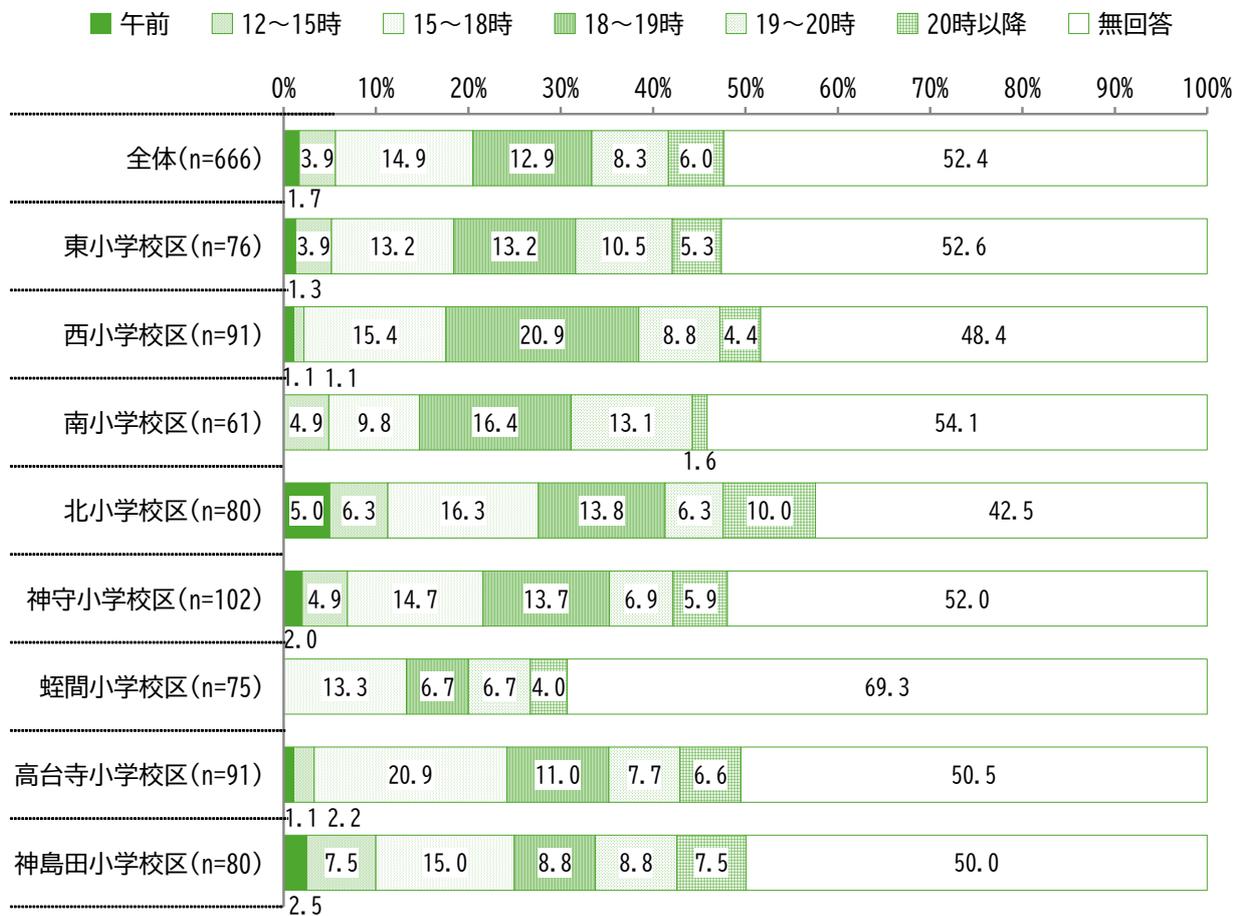
▶ 全体では、「15～18時」が14.9%で最も多く、次いで「18～19時」が12.9%、「19～20時」が8.3%となっている。

図 小学校区×出発時間帯



- ▶ 小学校区別で見ると、東小学校区では「7~8時」が22.4%で最も多く、次いで「6~7時」が10.5%、「8~9時」が9.2%となっている。
- ▶ 西小学校区では「7~8時」が19.8%で最も多く、次いで「6~7時」が12.1%、「8~9時」が8.8%となっている。
- ▶ 南小学校区では「8~9時」が18.0%で最も多く、次いで「7~8時」が14.8%、「6~7時」が9.8%となっている。
- ▶ 北小学校区では「7~8時」が20.0%で最も多く、次いで「6~7時」「8~9時」が12.5%、「9~12時」が10.0%となっている。
- ▶ 神守小学校区では「7~8時」が14.7%で最も多く、次いで「8~9時」が12.7%、「6~7時」が10.8%となっている。
- ▶ 蛭間小学校区では「8~9時」が12.0%で最も多く、次いで「7~8時」が8.0%、「6~7時」が6.7%となっている。
- ▶ 高台寺小学校区では「7~8時」が16.5%で最も多く、次いで「6~7時」「8~9時」が13.2%、「6時以前」「9~12時」が3.3%となっている。
- ▶ 神島田小学校区では「7~8時」が21.3%で最も多く、次いで「6~7時」が10.0%、「8~9時」が8.8%となっている。

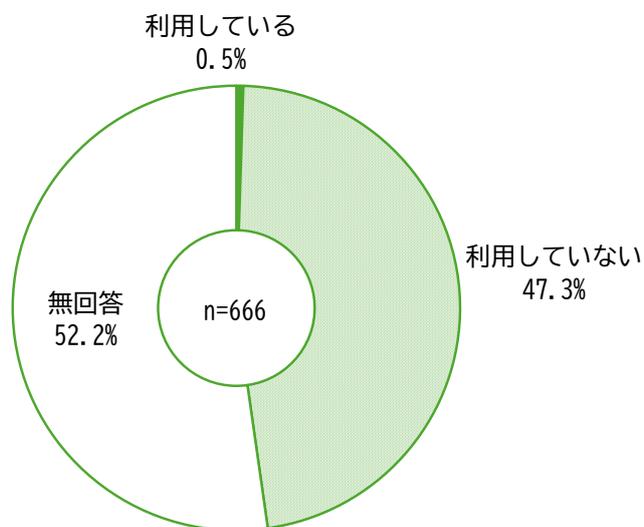
図 小学校区×帰宅時間帯



- ▶ 小学校区別で見ると、東小学校区では「15~18時」「18~19時」が13.2%で最も多く、次いで「19~20時」が10.5%、「20時以降」が5.3%となっている。
- ▶ 西小学校区では「18~19時」が20.9%で最も多く、次いで「15~18時」が15.4%、「19~20時」が8.8%となっている。
- ▶ 南小学校区では「18~19時」が16.4%で最も多く、次いで「19~20時」が13.1%、「15~18時」が9.8%となっている。
- ▶ 北小学校区では「15~18時」が16.3%で最も多く、次いで「18~19時」が13.8%、「20時以降」が10.0%となっている。
- ▶ 神守小学校区では「15~18時」が14.7%で最も多く、次いで「18~19時」が13.7%、「19~20時」が6.9%となっている。
- ▶ 蛭間小学校区では「15~18時」が13.3%で最も多く、次いで「18~19時」「19~20時」が6.7%となっている。
- ▶ 高台寺小学校区では「15~18時」が20.9%で最も多く、次いで「18~19時」が11.0%、「19~20時」が7.7%となっている。
- ▶ 神島田小学校区では「15~18時」が15.0%で最も多く、次いで「18~19時」「19~20時」が8.8%、「12~15時」「20時以降」が7.5%となっている。

問 3-7 現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。(1つ選択)

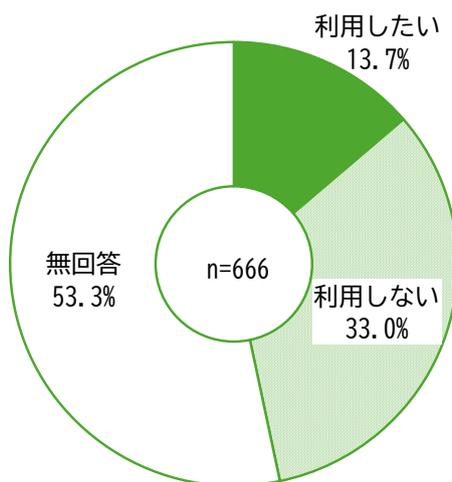
図 「通勤・通学」によるふれあいバスの利用



➤ 全体では、「利用していない」が47.3%、「利用している」が0.5%となっている。

問 3-8 「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(問 3-5)または帰宅する時間帯(問 3-6)にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。(1つ選択)

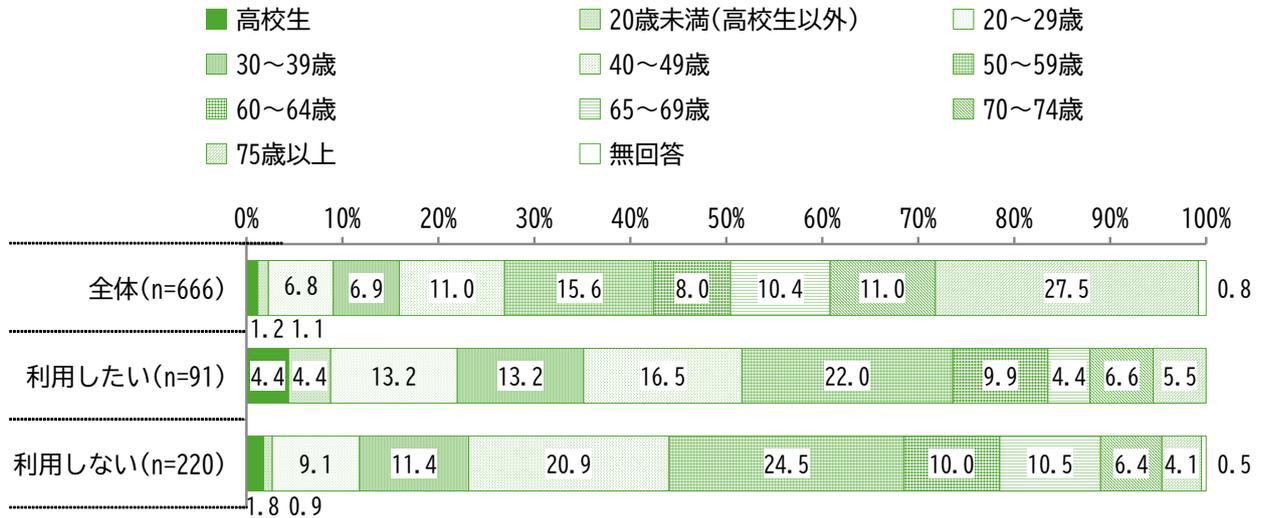
図 現在利用していないが「通勤・通学」時間帯での運行についての利用意向



➤ 全体では、「利用しない」が33.0%、「利用したい」が13.7%となっている。

◆「通勤・通学」でふれあいバスを利用したい人の年齢は、「50～59歳」が最も多く、次いで「40～49歳」となっている。

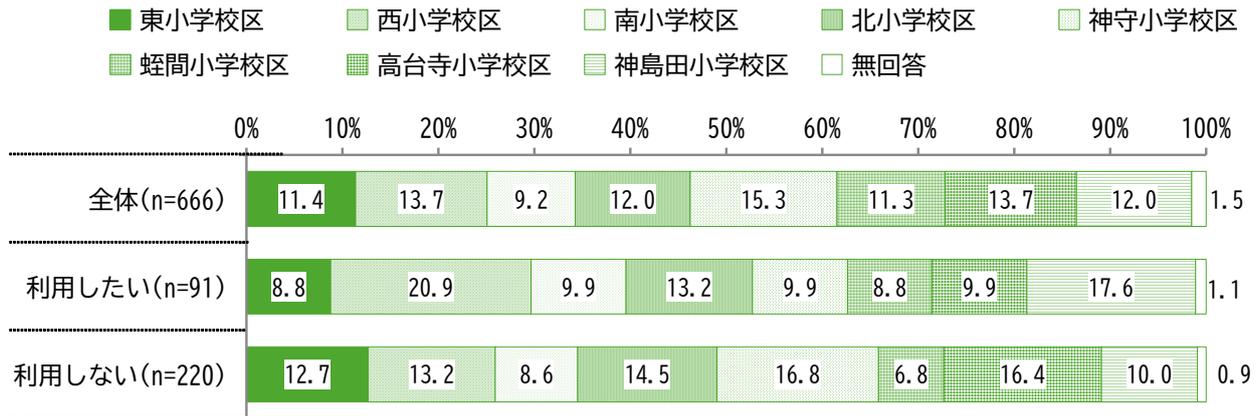
図 利用意向×年齢



➤ 問3-8「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(問3-5)または帰宅する時間帯(問3-6)にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人では、「50～59歳」が22.0%で最も多く、次いで「40～49歳」が16.5%、「20～29歳」「30～39歳」が13.2%となっている。

◆「通勤・通学」でふれあいバスを利用したい人の小学校区は、「西小学校区」が最も多く、次いで「神島田小学校区」となっており、市郊外部にて需要がある。

図 利用意向×小学校区

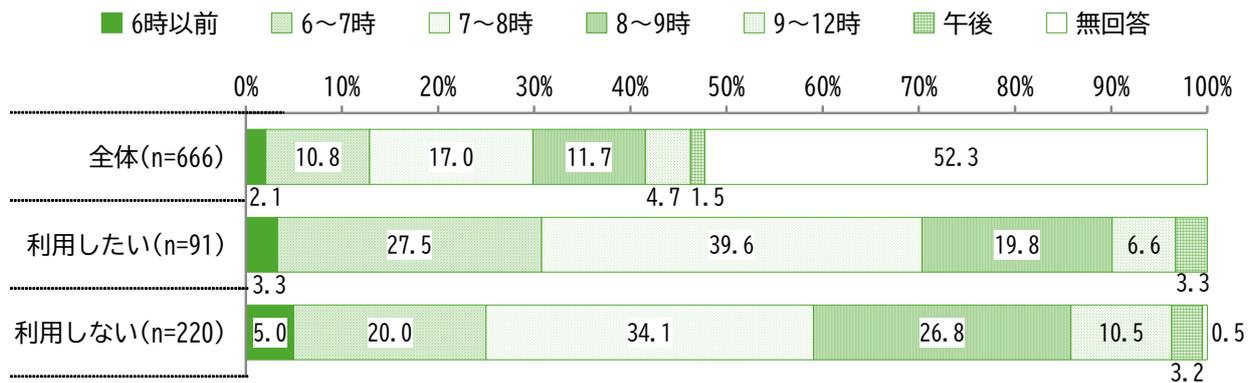


➤ 問3-8「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(問3-5)または帰宅する時間帯(問3-6)にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人では、「西小学校区」が20.9%で最も多く、次いで「神島田小学校区」が17.6%、「北小学校区」が13.2%となっている。

利用意向×問 3-5 現在、「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。(1つ選択)

◆「通勤・通学」でふれあいバスを利用したい人の自宅を出発する時間帯は、7～8時が最も多い。

図 利用意向×出発時間帯

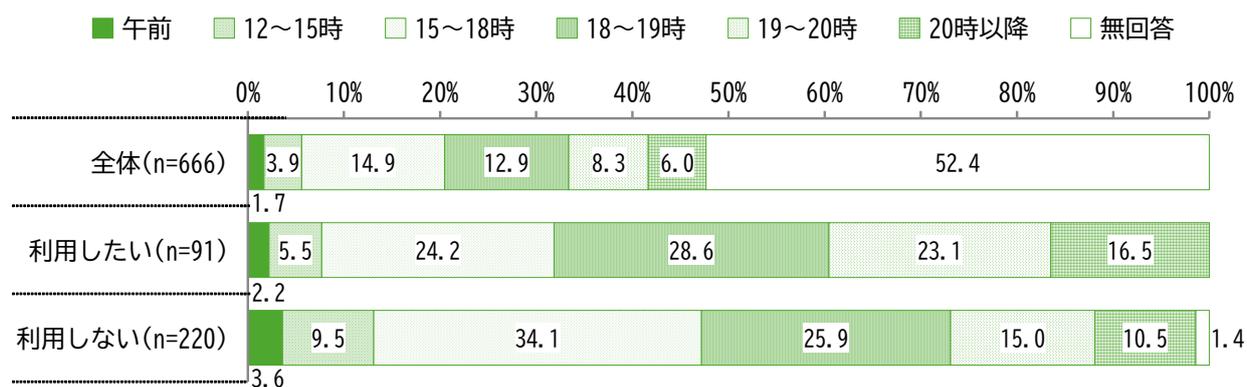


➤ 問 3-8「「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(問 3-5)または帰宅する時間帯(問 3-6)にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人では、「7～8時」が39.6%で最も多く、次いで「6～7時」が27.5%、「8～9時」が19.8%となっている。

利用意向×問 3-6 現在、「通勤・通学」で帰宅する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。
(1つ選択)

◆「通勤・通学」でふれあいバスを利用したい人の帰宅する時間帯は、18～19時が最も多い。

図 利用意向×帰宅時間帯



➤ 問 3-8「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(問 3-5)または帰宅する時間帯(問 3-6)にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。」の質問に「利用したい」と回答した人では、「18～19時」が28.6%で最も多く、次いで「15～18時」が24.2%、「19～20時」が23.1%となっている。

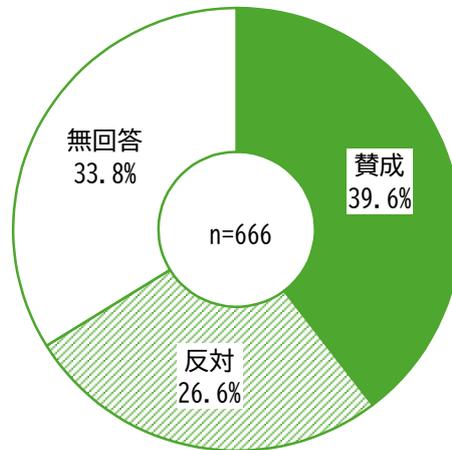
問 3-10 「通勤・通学」でふれあいバスを利用する場合、どこへ行きたいですか。(自由記述)

津島駅	23件
永和駅	8件
青塚駅	6件
津島市民病院	5件
名古屋駅	4件
蟹江駅	3件
津島郵便局	3件
ヨシヅヤ津島本店	3件
会社	2件
七宝病院	2件
勝幡駅	2件
津島市役所	2件
富吉駅	2件
藤浪駅	2件
JA愛知 海部永和	1件
JRの駅	1件
愛西市役所	1件
一宮駅	1件
稲沢市役所	1件
カネスエ	1件
神守支所北	1件
神守中	1件
木田駅	1件
七宝金型工業株式会社	1件
市内の各高校	1件
甚目寺駅	1件
土橋駅	1件
図書館	1件
豊田市駅	1件
日比野駅	1件
双葉幼稚園	1件
名工電業株式会社	1件
名鉄バス大坪	1件
ワークマン愛宕	1件

-
- 津島駅や永和駅、青塚駅といった回答が多く、次いで津島市民病院といった回答がみられた。
 - 近隣施設としては、愛西市役所や稲沢市役所、名古屋駅といった回答がみられた。
-

問 3-11 市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することは賛成ですか、反対ですか。

図 「通勤・通学」への対応

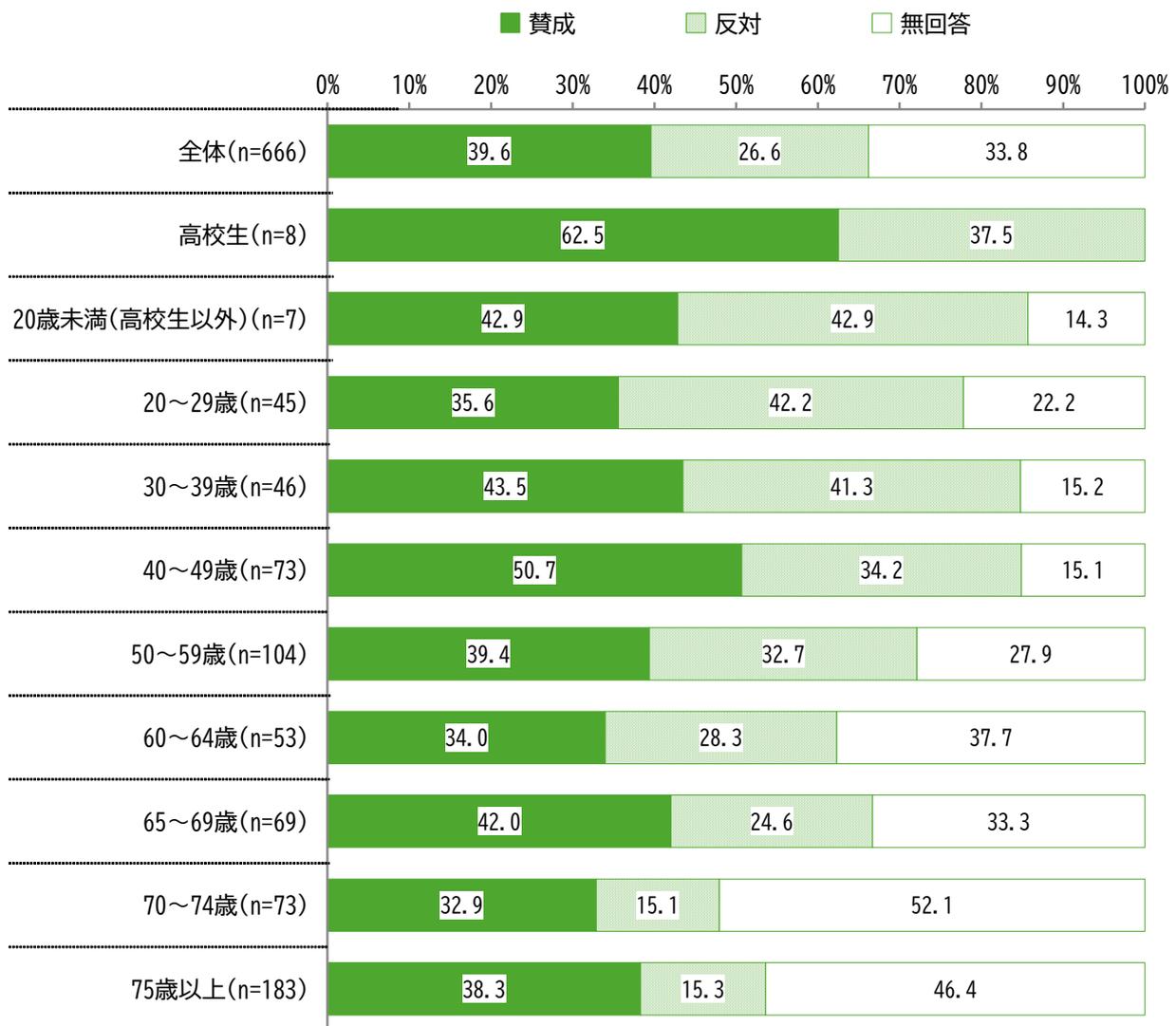


➤ 全体では、「賛成」が39.6%で最も多く、次いで「反対」が26.6%となっている。

年齢×問 3-11 市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することは賛成ですか、反対ですか。

◆市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することへの賛成が約4割。賛成は、高校生が最も高く、次いで30～49歳が高くなる傾向。

図 年齢×「通勤・通学」への対応

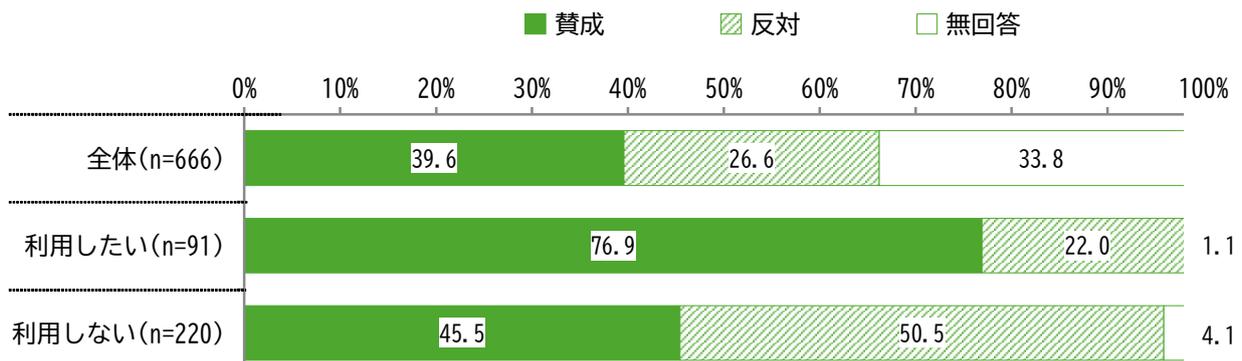


- 全体では、「賛成」が39.6%、「反対」が26.6%となっている。
- 年齢別で見ると、20歳未満(高校生以外)では「賛成」「反対」がともに42.9%となっている。
- 30～39歳では「賛成」が43.5%、「反対」が41.3%となっている。
- 40～49歳では「賛成」が50.7%、「反対」が34.2%となっている。

利用意向×問 3-11 市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することは賛成ですか、反対ですか。

◆市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することについて、「通勤・通学」でふれあいバスを利用したい人は賛成が約8割となっている。

図 利用意向×負担額増加の賛否



➤ 利用したいでは「賛成」が76.9%、「反対」が22.0%となっている。

4. ふれあいバスの見直しにあたり検討すべき課題及び対策

調査結果まとめ

◆企業・高校生

- ・市内企業の従業者、市内の高校への通学者の住所は「津島市以外」が半数を超える。
- ・「通勤・通学」手段について、企業全体では、「自家用車」が 77.8%で最も多く、次いで「自転車」が 7.4%、「路線バス」「鉄道(名鉄)」が 5.6%となっている。高校生全体では、「自転車」が 78.3%で最も多く、次いで「鉄道(名鉄)」が 40.1%となっている。
- ・「通勤・通学」先付近で運行していたらふれあいバスを利用したい割合は、企業、高校生ともに、全体の約2割。津島高校は約4割が「利用したい」となっている。
- ・「通勤・通学」でふれあいバスを利用したい人の自宅を出発する時間帯は、7～8 時が最も多い。利用したい人の帰宅する時間帯は、18～19 時が最も多い。
- ・「通勤・通学」以外でふれあいバスを利用したことがある人は約2割。

◆市民

現在の主な利用目的

- ・現在のふれあいバスの主な利用目的は、「買い物」が 42.1%で最も多く、次いで「通院」が 25.1%、「通勤・通学」が 10.3%となっている。

市民による効果的と考えられている取り組み

- ・ふれあいバスを利用したことがない人が考える効果的だと思う取り組みは、「運行ルート・停留所の場所がわかる地図やわかりやすい時刻表を提供する」が最も多い。
- ・運行本数の増加希望は、A コースの朝が最も多く、次いで B コースの朝、C コースの昼となっている。
- ・運行開始時間帯の拡大は、A コースの 8 時が最も多く、運行終了時間帯の拡大は、A コースの 19 時が最も多い。

運賃

- ・運賃の許容範囲としては、全体としては 300 円が多いものの、高校生は 200 円が多い。小学生以下の運賃は無料が最も多い。

時間帯

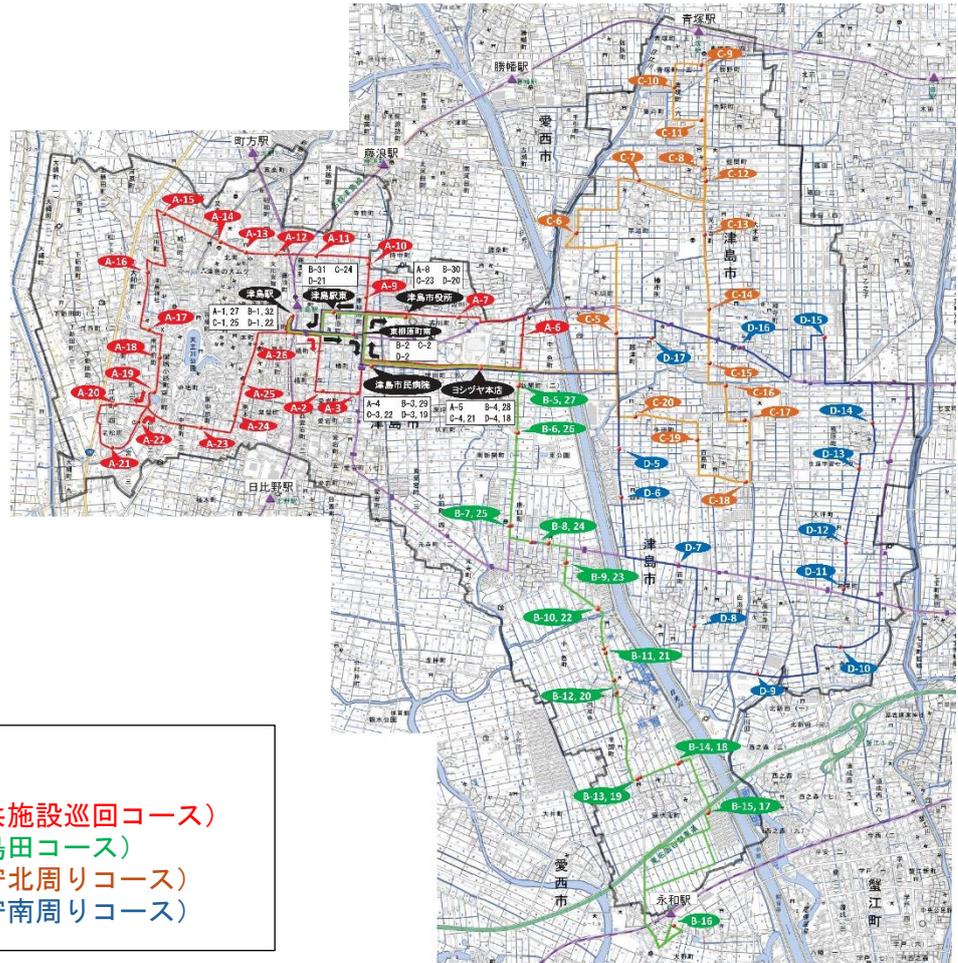
- ・現在、「通勤・通学」で出発する時間帯は、7～8 時が最も多い。帰宅する時間帯は 15～18 時が最も多く、次いで 18～19 時となっている。
- ・「通勤・通学」でふれあいバスを利用したい人の自宅を出発する時間帯は、7～8 時が最も多く、帰宅する時間帯は、18～19 時が最も多い。

年齢

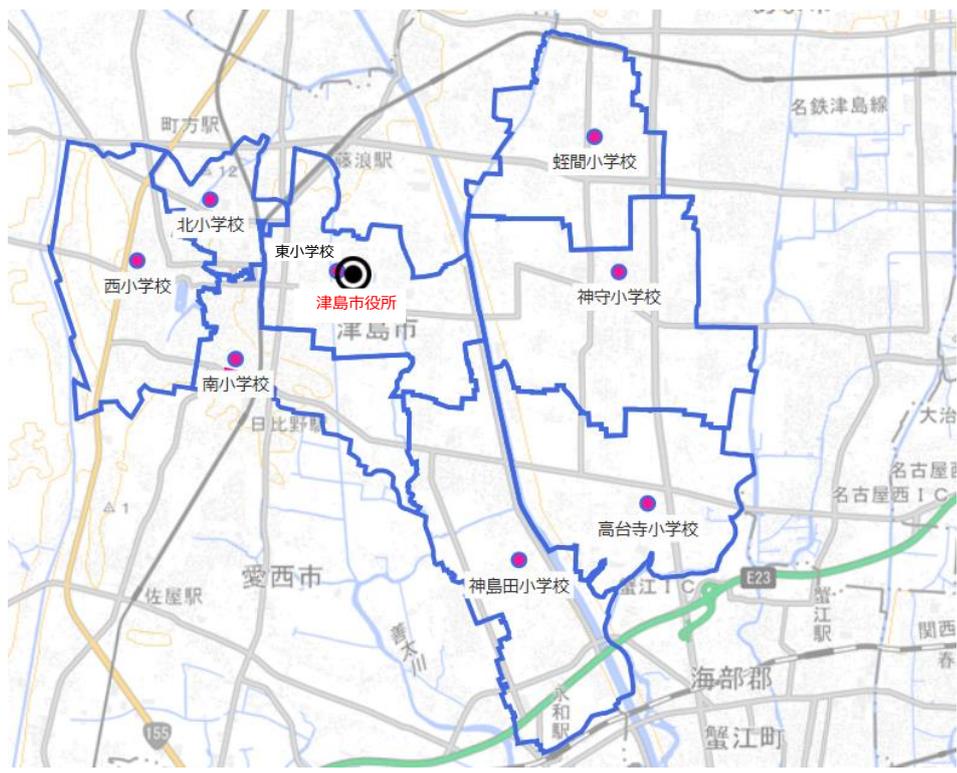
- ・「通勤・通学」でふれあいバスを利用したい人の年齢は、「50～59 歳」が最も多く、次いで「40～49 歳」となっている。

エリア

- ・「通勤・通学」でよく行く方面は「名古屋市」が 15.3%と最も多い。
- ・「通勤・通学」でふれあいバスを利用したい人の小学校区は、「西小学校区」が最も多く、次いで「神島田小学校区」となっており、市郊外部にて需要がある。
- ・JR蟹江駅への移動ニーズがみられたが、JR蟹江駅に近い高台寺小学校区では、「通勤・通学」で自家用車を利用する人が多い。



- 凡例
- Aコース (公共施設巡回コース)
 - Bコース (神島田コース)
 - Cコース (神守北周リコース)
 - Dコース (神守南周リコース)



調査結果から導かれた課題

◆ルート・ダイヤのミスマッチ

- ・主要利用者は高齢者であり、ルートが商業施設や医療機関中心になっていることから、通勤・通学者のニーズに合っていない。
- ・朝の A コース、B コース、昼の C コースで増便希望が多いことから、ピーク時間帯の増便が望まれる。
- ・運行開始時間(7時から)、運行終了時間(19 時まで)の拡大が望まれる。

◆運賃の受容度と費用負担

- ・大人の運賃について、全体では 300 円が多いが、高校生は 200 円を希望。小学生以下の運賃は無料希望が多い。
- ・市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することには、企業の6割弱、高校生の約7割が賛成し、津島高校では約8割が賛成となっているものの、市外からの通勤・通学者が半数を超えている。一方、市民としては、賛成が反対を上回っているものの、賛成は約4割にとどまっていることから、十分な検討が望まれる。

◆わかりやすい情報提供

- ・運行ルートや停留所の案内が不十分と考えられる。



対応策(案)

(1) 通勤・通学対応の強化

◆通勤・通学者向けのダイヤ・ルート最適化

- ・津島高校や西小学校区などAコースでの利用ニーズが多いことから、Aコースにおいて 7～8 時、18～19 時の時間帯に通勤・通学専用便を導入する。
- ・津島市外からの通勤・通学者が多く、また名古屋市へ通勤・通学する市民が多いため、乗り継ぎしやすい時間設定とする。

(2) ルート・ダイヤの最適化

◆増便・運行時間拡大

- ・A コースの朝、B コースの朝、C コースの昼の時間帯に増便する。
- ・運行開始時間を 7 時台へ前倒し、終了時間を 19 時頃まで延長する。

(3) 利用促進策

◆運賃

- ・現行運賃からの値上げを検討する。また、小学生以下の運賃無料を継続し、家族利用を促進する。
- ・企業・学校と協力し、通勤・通学者向け定期券割引制度を導入する。

◆情報提供の強化

- ・バス停・ルート案内について、分かりやすい地図にブラッシュアップする。
- ・40～50歳代に向けて、時間の有効活用や健康維持を強調したバス利用のメリットを PR する。

(4) 財政負担と持続可能性

◆官民連携・収益向上策

- ・現行運賃からの値上げを検討する。
- ・バス車両への企業広告の掲載や、停留所等へのスポンサー企業の募集による収益確保を引き続き実施していく。
- ・小型バスの導入で、維持費を削減する。

5. ふれあいバスにおける通勤・通学対応の必要性の検証

ふれあいバスの現在の主な利用目的としては、「買い物」と「通院」となっている。このような中で、今回の調査結果を踏まえると、通勤・通学対応に向けては、以下の検討が必要と考えられる。

◆運賃の受容度と費用負担

- ・市の負担額が増加したとしても、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することには、企業の6割弱、高校生の約7割が賛成し、津島高校では約8割が賛成となっているものの、市外からの通勤・通学者が半数を超えている。
- ・一方、市民としては、賛成39.6%、反対26.6%と賛成が反対を上回っているものの、賛成は約4割にとどまっている。
- ・以上のことから、実証実験を行った上で本格導入するか判断するなど、十分な検討が望まれる。
- ・大人の運賃について、全体では300円が多いが、高校生は200円を希望している。ふれあいバスで通勤・通学対応を行う場合は、定期券制度の導入が望まれる(モバイル定期券等)。

◆通勤・通学者向けのダイヤ・ルート最適化

- ・津島高校や西小学校区、神島田小学校区における利用ニーズが多い。
- ・津島高校や西小学校区は共にAコースがカバーするエリアであることから、Aコースにおいて7～8時、18～19時の時間帯に通勤・通学専用便を運行することの検討が必要と考えられる。
- ・なお、津島市外からの通勤・通学者が多く、また名古屋市へ通勤・通学する市民が多いため、津島駅で乗り継ぎしやすい時間設定とすることが望ましい。

【参考】アンケート調査票

市内企業・高校生向けアンケート

問1. あなた自身についてお聞きします。

①性別	1. 男性	2. 女性	
②年齢	1. 高校生	2. 20歳未満（高校生以外）	3. 20～29歳
	4. 30～39歳	5. 40～49歳	6. 50～59歳
	7. 60歳～64歳	8. 65歳～69歳	9. 70歳～74歳
	10. 75歳以上		
③お住まい ※小学校区がわからない場合は、お住まいの町丁目を記載してください。	ア. 東小学校区 エ. 北小学校区 キ. 高台寺小学校区	イ. 西小学校区 オ. 神守小学校区 ク. 神島田小学校区	ウ. 南小学校区 カ. 蛭間小学校区
	※お住まいの町丁目（記入例）立込町2丁目 〔 _____ 〕		
	ケ. 津島市外 ※お住まいの市町村名（記入例）名古屋市 〔 _____ 〕		
④勤務先 （高校名）	（記入例）□□株式会社（××市◇◇町）／○○高校 〔 _____ 〕		

問2. あなたの通勤・通学状況等についてお聞きします。

問2-1. 「通勤・通学」で外出する頻度を教えてください。（1つ選択）

- ①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③週に1回程度 ④月に2～3回程度 ⑤月に1回程度

問2-2. 現在、「通勤・通学」で利用している移動手段は何ですか。（複数選択可）

- ①路線バス ②鉄道（名鉄） ③鉄道（JR） ④タクシー ⑤自家用車
⑥家族等の送迎 ⑦徒歩 ⑧自転車 ⑨その他（ _____ ）

問2-3. 現在、「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯（最も頻度が高い時間帯）を教えてください。（1つ選択）

- ①6時以前 ②6～7時 ③7～8時 ④8～9時 ⑤9～12時 ⑥午後（ _____ 時台）

問2-4. 現在、「通勤・通学」で帰宅する時間帯（最も頻度が高い時間帯）を教えてください。

（1つ選択）

- ①午前（ 時台） ②12～15時 ③15～18時 ④18～19時 ⑤19～20時 ⑥20時以降

問2-5. 現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。（1つ選択）

- ①利用している（問2-7へ） ②利用していない（問2-6へ）

問2-6. 「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯（問2-3）または帰宅する時間帯（問2-4）にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。（1つ選択）

- ①利用したい（問2-7へ） ②利用しない（問2-8へ）

問2-7. 「通勤・通学」でふれあいバスを利用する際、どの停留所からどの停留所まで利用していますか（利用したいですか）。（自由記載）

例：A-1 津島駅からA-22津島市立図書館まで／B-4 ヨシヅヤ本店からB-16永和駅まで

※停留所番号は、別添の「停留所位置図」や「時刻表」を参照してください。

問2-8. ふれあいバスの運行に係る市負担額は約3,450万円(R5)、市民一人あたり負担額は約580円です。ふれあいバスが「通勤・通学」に対応する（早朝や夜間便を増やす）場合、負担額の増加が見込まれますが、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することは賛成ですか、反対ですか。

- ①賛成 ②反対

問2-9. 「通勤・通学」以外でのふれあいバスの利用頻度を教えてください。（1つ選択）

- ①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③週に1回程度 ④月に2～3回程度
⑤月に1回程度 ⑥年に数回程度 ⑦過去に利用していたが、現在は利用していない
⑧利用したことがない

ご協力ありがとうございました。アンケート結果は、市公式ホームページで公表するほか、津島市地域公共交通会議等の資料として活用いたします。

問 1. あなた自身についてお聞きします。

①性別	1. 男性	2. 女性	
②年齢	1. 高校生 4. 30～39歳 7. 60歳～64歳 10. 75歳以上	2. 20歳未満（高校生以外） 5. 40～49歳 8. 65歳～69歳	3. 20～29歳 6. 50～59歳 9. 70歳～74歳
③お住まい ※小学校区がわからない場合は、お住まいの町丁目を記載してください。	ア. 東小学校区 エ. 北小学校区 キ. 高台寺小学校区	イ. 西小学校区 オ. 神守小学校区 ク. 神島田小学校区	ウ. 南小学校区 カ. 蛭間小学校区 ※お住まいの町丁目（記入例）立込町2丁目 〔 _____ 〕

問 2. ふれあいバス全般についてお聞きします。

問2-1. ふれあいバスの利用頻度を教えてください。（1つ選択）

- ①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③週に1回程度 ④月に2～3回程度
⑤月に1回程度 ⑥年に数回程度 ⑦過去に利用していたが、現在は利用していない
（①～⑦を選択した場合は問2-2へ）
⑧利用したことがない（問2-3へ）

問2-2. ふれあいバスの主な利用目的を教えてください。（1つ選択）

- ①買い物 ②通院 ③通勤・通学 ④その他（ _____ ）

問2-3. 現在のふれあいバスの運行内容に満足していますか。（それぞれ1つあてはまる番号に○）

	満足	やや満足	やや不満	不満	判断できない
①運行全体	5	4	3	2	1
②バスの運賃	5	4	3	2	1
③バスの運行ルート	5	4	3	2	1
④鉄道や他のバスへの乗り継ぎ	5	4	3	2	1
⑤バスの運行ダイヤの正確さ	5	4	3	2	1
⑥バスの運行時間帯	5	4	3	2	1
⑦バス利用時のわかりやすさ（運行案内など）	5	4	3	2	1

問2-4. ふれあいバスの運賃は、いくらまでなら乗ろうと思いますか。
 (現在は大人100円、小学生以下無料です。)

区分	料金			
大人	①300円	②200円	③100円	④()円
小学生以下	①大人と同額	②大人の半額	③無料	

問2-5. あなた自身がふれあいバスを利用するために効果的だと思う取り組みを3つまで選んでください。

①新しい運行ルート…どこ：_____からどこ：_____まで ②運行本数を増やす… <u>A・B・C・D</u> コース (選択) の <u>朝・昼・夕・夜</u> (選択) の本数 ③時間帯を広げる… <u>A・B・C・D</u> (選択) コースの____時から____時の間運行する ④停留所を増やす…どこ：_____ 例：○町内、△スーパー ⑤バスを小型化する ⑥割引サービスを導入する (乗り継ぎ割引、高齢者割引など) ⑦定期券や回数券を発行する ⑧運行ルート・停留所の場所がわかる地図やわかりやすい時刻表を提供する ⑨その他 (_____)
--

問3. あなたの通勤・通学状況等についてお聞きします。

問3-1. 最近1か月に、「通勤・通学」で外出しましたか。

- ①「通勤・通学」で外出した。(問3-2へ)
- ②「通勤・通学」で外出しなかった(以上で設問は終了です。ご協力ありがとうございました。)

問3-2. 「通勤・通学」でよく行く方面はどこですか。(1つ選択)

- ①市内(町名： _____)
- ②愛西市
- ③弥富市
- ④あま市
- ⑤大治町
- ⑥蟹江町
- ⑦飛島村
- ⑧名古屋市
- ⑨県内他市町村
- ⑩県外

問3-3. 「通勤・通学」で外出する頻度を教えてください。(1つ選択)

- ①ほぼ毎日
- ②週に2～3回
- ③週に1回程度
- ④月に2～3回程度
- ⑤月に1回程度

(次のページへ続きます)

問3-4. 現在、「通勤・通学」で利用している移動手段は何ですか。(複数選択可)

- ①路線バス ②鉄道(名鉄) ③鉄道(JR) ④タクシー ⑤自家用車
⑥家族等の送迎 ⑦徒歩 ⑧自転車 ⑨その他()

問3-5. 現在、「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。(1つ選択)

- ①6時以前 ②6～7時 ③7～8時 ④8～9時 ⑤9～12時 ⑥午後()時台)

問3-6. 現在、「通勤・通学」で帰宅する時間帯(最も頻度が高い時間帯)を教えてください。(1つ選択)

- ①午前()時台) ②12～15時 ③15～18時 ④18～19時 ⑤19～20時 ⑥20時以降

問3-7. 現在、「通勤・通学」でふれあいバスを利用していますか。(1つ選択)

- ①利用している(問3-9へ) ②利用していない(問3-8へ)

問3-8. 「通勤・通学」で自宅を出発する時間帯(問3-5)または帰宅する時間帯(問3-6)にふれあいバスが「通勤・通学」先付近で運行していたら、利用したいですか。(1つ選択)

- ①利用したい(問3-9へ) ②利用しない(問3-11へ)

問3-9. 「通勤・通学」でふれあいバスを利用する際、どの停留所からどの停留所まで利用していますか(利用したいですか)。(自由記載)

例: A-1津島駅からA-22津島市立図書館まで/ B-4ヨシヅヤ本店からB-16永和駅まで

※停留所番号は、別添の「停留所位置図」や「時刻表」を参照してください。

問3-10. 「通勤・通学」でふれあいバスを利用する場合、どこへ行きたいですか。(自由記載)

例: ○○駅、△△学校、□□株式会社(××市◇◇町)

問3-11. ふれあいバスの運行に係る市負担額は約3,450万円(R5)、市民一人あたり負担額は約580円です。ふれあいバスが「通勤・通学」に対応する(早朝や夜間便を増やす)場合、負担額の増加が見込まれますが、ふれあいバスが「通勤・通学」に対応することは賛成ですか、反対ですか。

- ①賛成 ②反対

ご協力ありがとうございました。アンケート結果は、市公式ホームページで公表するほか、津島市地域公共交通会議等の資料として活用いたします。